

Oracle® Universal Content Management

Site Studio チュートリアル

10g リリース 3 (10.1.3.3.3)

部品番号 : B51309-01

2008 年 11 月

Oracle Universal Content Management Site Studio チュートリアル, 10g リリース 3 (10.1.3.3.3)

部品番号 : B51309-01

原本名 : Oracle Universal Content Management Site Studio Tutorial, 10g Release 3 (10.1.3.3.3)

原本著者 : Sean Cearley

原本協力者 : Brian Cheyne

Copyright © 1996, 2007, Oracle. All rights reserved.

制限付権利の説明

このプログラム（ソフトウェアおよびドキュメントを含む）には、オラクル社およびその関連会社に所有権のある情報が含まれています。このプログラムの使用または開示は、オラクル社およびその関連会社との契約に記された制約条件に従うものとし、著作権、特許権およびその他の知的財産権と工業所有権に関する法律により保護されています。

独立して作成された他のソフトウェアとの互換性を得るために必要な場合、もしくは法律によって規定される場合を除き、このプログラムのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等は禁止されています。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更される場合があります。オラクル社およびその関連会社は、このドキュメントに誤りが無いことの保証は致し兼ねます。これらのプログラムのライセンス契約で許諾されている場合を除き、プログラムを形式、手段（電子的または機械的）、目的に関係なく、複製または転用することはできません。

このプログラムが米国政府機関、もしくは米国政府機関に代わってこのプログラムをライセンスまたは使用する者に提供される場合は、次の注意が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software--Restricted Rights (June 1987). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このプログラムは、核、航空、大量輸送、医療あるいはその他の本質的に危険を伴うアプリケーションで使用されることを意図しておりません。このプログラムをかかるとして使用する際、上述のアプリケーションを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（**redundancy**）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。万一かかるプログラムの使用に起因して損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

Oracle, JD Edwards, PeopleSoft, Siebel は米国 Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称は、他社の商標の可能性があり、あります。

このプログラムは、第三者の Web サイトへリンクし、第三者のコンテンツ、製品、サービスへアクセスすることがあります。オラクル社およびその関連会社は第三者の Web サイトで提供されるコンテンツについては、一切の責任を負いかねます。当該コンテンツの利用は、お客様の責任になります。第三者の製品またはサービスを購入する場合は、第三者と直接の取引となります。オラクル社およびその関連会社は、第三者の製品およびサービスの品質、契約の履行（製品またはサービスの提供、保証義務を含む）に関しては責任を負いかねます。また、第三者との取引により損失や損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

目次

はじめに	v
対象読者	vi
ドキュメント・アクセシビリティについて	vi
関連ドキュメント	vi
表記規則	vii
サポートおよびサービス	vii
1 Site Studio チュートリアルへようこそ	
1.1 Ravenna Hosting Web サイトの概要	1-2
1.2 Site Studio チュートリアルの概要	1-2
2 Ravenna Hosting のアーキテクチャ	
2.1 サイトの階層	2-2
2.2 非表示およびコントリビュータ専用のセクション	2-3
2.2.1 非表示のセクション	2-4
2.2.2 コントリビュータ専用のセクション	2-4
2.3 レイアウト・ページ	2-5
2.3.1 プライマリ・ページおよびセカンダリ・ページ	2-5
2.3.2 レイアウト・ページの再利用	2-5
2.3.3 レイアウト・ページのネーミング規則	2-6
2.4 フラグメント・ライブラリ	2-8
2.5 コンテンツ・サーバーでの Web サイトの実行	2-9
2.5.1 Ravenna Hosting で使用される特別なメタデータ	2-10
2.6 スクリプト言語	2-10
2.7 コントリビューション・モデル	2-11
2.8 メタデータ・モデル	2-11
3 Ravenna レイアウト・ページの設計	
3.1 最初のレイアウト・ページ	3-2
3.1.1 レイアウト・ページに直接追加されたコンテンツ	3-2
3.1.2 フラグメントおよびコントリビューション・リージョン	3-3
3.1.2.1 フラグメントの概要	3-4
3.1.2.2 Snippet	3-4
3.1.2.3 アセット	3-5
3.1.2.4 要素	3-5
3.1.2.5 パラメータ	3-5

4 Ravenna Hosting のフラグメント

4.1	Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション	4-2
4.1.1	Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション : Snippet	4-3
4.1.1.1	組込み (ヘッド Snippet)	4-3
4.1.1.2	表示 (ドロップポイント Snippet)	4-3
4.1.2	Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション : アセット	4-3
4.1.2.1	rvh_mainnavigation.js	4-3
4.1.2.2	rvh_mainnavigation.css	4-6
4.1.2.3	メニューの開閉を示すグラフィック	4-12
4.2	Ravenna Hosting の最上部ナビゲーション	4-13
4.2.1	Ravenna Hosting の最上部ナビゲーション : Snippet	4-13
4.2.1.1	組込み (ヘッド Snippet)	4-13
4.2.1.2	表示 (ドロップポイント Snippet)	4-14
4.2.2	Ravenna Hosting の最上部ナビゲーション : アセット	4-15
4.2.2.1	rvh_topnavigation.css	4-15
4.3	Ravenna Hosting のブレッドクラム	4-16
4.3.1	Ravenna Hosting のブレッドクラム : Snippet	4-16
4.3.1.1	組込み (ヘッド Snippet)	4-17
4.3.1.2	表示 (ドロップポイント Snippet)	4-17
4.3.2	Ravenna Hosting のブレッドクラム : アセット	4-17
4.3.2.1	rvh_breadcrumb.js	4-17
4.3.2.2	rvh_breadcrumb.css	4-18
4.4	Ravenna Hosting のサイト・マップ	4-19
4.4.1	Ravenna Hosting のサイト・マップ : Snippet	4-20
4.4.1.1	組込み (ヘッド Snippet)	4-20
4.4.1.2	表示 (ドロップポイント Snippet)	4-20
4.4.2	Ravenna Hosting のサイト・マップ : アセット	4-21
4.4.2.1	rvh_sitemap.css	4-21
4.5	Ravenna Hosting のフッター	4-24
4.5.1	Ravenna Hosting のフッター : Snippet	4-26
4.5.1.1	組込み (ヘッド Snippet)	4-26
4.5.1.2	表示 (ドロップポイント Snippet)	4-26
4.5.2	Ravenna Hosting のフッター : アセット	4-27
4.5.2.1	rvh_footer.css	4-27
4.6	Ravenna Hosting の検索ボックス	4-28
4.6.1	Ravenna Hosting の検索ボックス : Snippet	4-28
4.6.1.1	1 (ヘッド Snippet)	4-28
4.6.1.2	2 (ドロップポイント Snippet)	4-29
4.6.2	Ravenna Hosting の検索ボックス : アセット	4-29
4.6.2.1	rvh_searchbox.css	4-29
4.6.3	Ravenna Hosting の検索ボックス : パラメータ	4-30
4.7	Ravenna Hosting の検索結果	4-30
4.7.1	Ravenna Hosting の検索結果 : Snippet	4-31
4.7.1.1	0 (ヘッド Snippet)	4-31
4.7.1.2	1 (ドロップポイント Snippet)	4-31
4.7.2	Ravenna Hosting の検索結果 : アセット	4-34
4.7.2.1	rvh_searchresults.css	4-34
4.7.3	Ravenna Hosting の検索結果 : パラメータ	4-35
4.8	Ravenna Hosting の質問 1	4-36

4.8.1	Ravenna Hosting の質問 1: Snippet	4-37
4.8.1.1	1 (ドロップポイント Snippet)	4-37
4.9	Ravenna Hosting の質問 2	4-37
4.9.1	Ravenna Hosting の質問 2: Snippet	4-38
4.9.1.1	1 (ドロップポイント Snippet)	4-38
4.10	Ravenna Hosting のページ・タイトル	4-38
4.10.1	Ravenna Hosting のページ・タイトル: Snippet	4-39
4.10.1.1	表示 (ドロップポイント Snippet)	4-39
4.10.2	Ravenna Hosting のページ・タイトル: パラメータ	4-40
4.11	Ravenna Hosting のエラー・ハンドラ・メッセージ	4-40
4.11.1	Ravenna Hosting のエラー・ハンドラ・メッセージ: Snippet	4-41
4.11.1.1	表示 (ドロップポイント Snippet)	4-41

5 Ravenna Hosting のコントリビューション

5.1	コントリビューション・リージョン	5-2
5.2	WYSIWYG 要素を使用したコントリビューション・リージョン	5-3
5.3	カスタム要素を使用したコントリビューション・リージョン	5-5
5.4	Ravenna Hosting の製品リスト	5-6
5.4.1	Ravenna Hosting の製品リスト: Snippet	5-7
5.4.1.1	組込み (ヘッド Snippet)	5-7
5.4.1.2	表示 (ドロップポイント Snippet)	5-7
5.4.2	Ravenna Hosting の製品リスト: アセット	5-9
5.4.2.1	rvh_productslist.css	5-9
5.4.3	Ravenna Hosting の製品リスト: パラメータ	5-9
5.5	Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト	5-10
5.5.1	Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト: Snippet	5-11
5.5.1.1	組込み (ヘッド Snippet)	5-11
5.5.1.2	表示 (ドロップポイント Snippet)	5-11
5.5.2	Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト: アセット	5-13
5.5.2.1	rvh_miniproductslist.css	5-13
5.5.2.2	rvh_banner_webservers.gif	5-13
5.5.2.3	rvh_banner_databaseservers.gif	5-13
5.5.2.4	rvh_banner_loadbalancers.gif	5-14
5.5.2.5	rvh_banner_networkequipment.gif	5-14
5.5.2.6	rvh_banner_firewalls.gif	5-14
5.5.2.7	rvh_banner_fileservers.gif	5-14
5.5.2.8	rvh_banner_mailservers.gif	5-14
5.5.2.9	rvh_banner_applicationservers.gif	5-14
5.5.2.10	rvh_banner_opticalstorage.gif	5-15
5.5.3	Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト: パラメータ	5-15
5.6	Ravenna Hosting の KB リスト	5-16
5.6.1	Ravenna Hosting の KB リスト: Snippet	5-17
5.6.1.1	組込み (ヘッド Snippet)	5-17
5.6.1.2	表示 (ドロップポイント Snippet)	5-17
5.6.2	Ravenna Hosting の KB リスト: アセット	5-18
5.6.2.1	rvh_kblist.css	5-18
5.6.3	Ravenna Hosting の KB リスト: パラメータ	5-19
5.7	Ravenna Hosting の所在地リスト	5-20
5.7.1	Ravenna Hosting の所在地リスト: Snippet	5-21

5.7.1.1	表示 (ドロップポイント Snippet)	5-21
5.7.2	Ravenna Hosting の所在地リスト:要素	5-22
5.8	Ravenna Hosting のパートナ・リスト	5-22
5.8.1	Ravenna Hosting のパートナ・リスト:Snippet	5-23
5.8.1.1	表示 (ドロップポイント Snippet)	5-23
5.8.2	Ravenna Hosting のパートナ・リスト:要素	5-24
5.9	Ravenna Hosting のニュース・リスト	5-25
5.9.1	Ravenna Hosting のニュース・リスト:Snippet	5-26
5.9.1.1	組込み (ヘッド Snippet)	5-26
5.9.1.2	表示 (ドロップポイント Snippet)	5-26
5.9.2	Ravenna Hosting のニュース・リスト:アセット	5-28
5.9.2.1	rvh_newslst.css	5-28
5.9.3	Ravenna Hosting のニュース・リスト:パラメータ	5-28
5.10	Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース	5-29
5.10.1	Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース:Snippet	5-30
5.10.1.1	組込み (ヘッド Snippet)	5-30
5.10.1.2	表示 (ドロップポイント Snippet)	5-31
5.10.2	Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース:アセット	5-32
5.10.2.1	rvh_sidebarnews.css	5-32
5.10.2.2	rvh_banner_latestnews.gif	5-32
5.10.3	Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース:パラメータ	5-33
5.11	Ravenna Hosting のマネージャ	5-34
5.12	Ravenna Hosting のダウンロード・リスト	5-35
5.12.1	Ravenna Hosting のダウンロード・リスト:Snippet	5-35
5.12.1.1	組込み (ヘッド Snippet)	5-35
5.12.1.2	表示 (ドロップポイント Snippet)	5-36
5.12.2	Ravenna Hosting のダウンロード・リスト:アセット	5-37
5.12.2.1	rvh_downloadslst.css	5-37
5.12.3	Ravenna Hosting のダウンロード・リスト:パラメータ	5-38

A サード・パーティ・ライセンス

A.1	Apache Software License	A-2
A.2	W3C Software Notice and License	A-2
A.3	Zlib License	A-3
A.4	General BSD License	A-3
A.5	General MIT License	A-4
A.6	Unicode License	A-4
A.7	その他の帰属	A-5

索引

はじめに

この『Site Studio チュートリアル』には、Site Studio のすべてのコンポーネントについて Site Studio ユーザーが学習できる、チュートリアルに関する情報が含まれています。このガイドには、Ravenna Hosting の Web サイトの教材を使用する独習も含まれています。

対象読者

このドキュメントは、Site Studio で作成される Web サイトのコンテンツの開発に関わるユーザー、特にデザイナーを使用するユーザーを対象としています。

ドキュメント・アクセシビリティについて

オラクル社は、障害のあるお客様にもオラクル社の製品、サービスおよびサポート・ドキュメントを簡単にご利用いただけることを目標としています。オラクル社のドキュメントには、ユーザーが障害支援技術を使用して情報を利用できる機能が組み込まれています。HTML 形式のドキュメントで用意されており、障害のあるお客様が簡単にアクセスできるようにマークアップされています。標準規格は改善されつつあります。オラクル社はドキュメントをすべてのお客様がご利用できるように、市場をリードする他の技術ベンダーと積極的に連携して技術的な問題に対応しています。オラクル社のアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility Program の Web サイト <http://www.oracle.com/accessibility/> を参照してください。

ドキュメント内のサンプル・コードのアクセシビリティについて

スクリーン・リーダーは、ドキュメント内のサンプル・コードを正確に読めない場合があります。コード表記規則では閉じ括弧だけを行に記述する必要があります。しかし JAWS は括弧だけの行を読まない場合があります。

外部 Web サイトのドキュメントのアクセシビリティについて

このドキュメントにはオラクル社およびその関連会社が所有または管理しない Web サイトへのリンクが含まれている場合があります。オラクル社およびその関連会社は、それらの Web サイトのアクセシビリティに関しての評価や言及は行っておりません。

Oracle サポート・サービスへの TTY アクセス

アメリカ国内では、Oracle サポート・サービスへ 24 時間年中無休でテキスト電話 (TTY) アクセスが提供されています。TTY サポートについては、(800)446-2398 にお電話ください。アメリカ国外からの場合は、+1-407-458-2479 にお電話ください。

関連ドキュメント

詳細は、Oracle Site Studio ドキュメント・セットに含まれる次のドキュメントを参照してください。

- 『Oracle Universal Content Management Site Studio インストレーション・ガイド』
- 『Oracle Site Studio Tutorial Setup Guide』
- 『Oracle Universal Content Management Site Studio コントリビュータ・ガイド』
- 『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』
- 『Oracle Universal Content Management Site Studio マネージャ・ガイド』
- 『Oracle Universal Content Management Site Studio テクニカル・リファレンス・ガイド』
- 『Oracle Site Studio リリース・ノート』

表記規則

このマニュアルでは次の表記規則を使用します。

規則	意味
太字	太字は、操作に関連する Graphical User Interface 要素、または本文中で定義されている用語および用語集に記載されている用語を示します。
イタリック体	イタリックは、ユーザーが特定の値を指定するプレースホルダ変数を示します。
固定幅フォント	固定幅フォントは、段落内のコマンド、URL、サンプル内のコード、画面に表示されるテキスト、または入力するテキストを示します。

サポートおよびサービス

次の各項に、各サービスに接続するための URL を記載します。

Oracle サポート・サービス

オラクル製品サポートの購入方法、および Oracle サポート・サービスへの連絡方法の詳細は、次の URL を参照してください。

<http://www.oracle.com/lang/jp/support/index.html>

製品マニュアル

製品のマニュアルは、次の URL にあります。

<http://www.oracle.com/technology/global/jp/documentation/index.html>

研修およびトレーニング

研修に関する情報とスケジュールは、次の URL で入手できます。

http://education.oracle.com/pls/web_prod-plq-dad/db_pages.getpage?page_id=3

その他の情報

オラクル製品やサービスに関するその他の情報については、次の URL から参照してください。

<http://www.oracle.com/lang/jp/index.html>

<http://www.oracle.com/technology/global/jp/index.html>

注意： ドキュメント内に記載されている URL や参照ドキュメントには、Oracle Corporation が提供する英語の情報も含まれています。日本語版の情報については、前述の URL を参照してください。

Site Studio チュートリアルへようこそ

Site Studio チュートリアルでは、Ravenna Hosting のサンプル・サイトの使用方法およびこのサイトが Site Studio でどのように作成されたかを説明します。このチュートリアルは、オンライン・ヘルプ・システムとして使用でき、コンテキストを区別するヘルプ・アイコンを使用して、Ravenna のサイトから直接アクセスできます。このアイコンは、コントリビュータ・モードでサイトを表示した場合に表示されます。

また、このチュートリアルの PDF ファイルも存在するため、必要に応じて印刷できます。PDF ファイルは、Site Studio ソフトウェア配布パッケージの */Documentation* ディレクトリにあります。別の PDF ファイルには、Ravenna Hosting デモ Web サイトの設定に関する情報が含まれています。このファイルは、Site Studio ソフトウェア配布パッケージの */Documentation/RVH_Tutorial* ディレクトリにあります。

チュートリアルの使用方法は次の 2 通りです。

- とりあえず Ravenna Hosting の Web サイトにアクセスして、サイト内を移動します。調べたい機能が見つかったら、[Ctrl] および [Shift] を押しながら [F5] を押してコントリビュータ・モードを有効にし、その機能の横または下にある「Help」アイコン (図 1-1) をクリックして、その機能に関するチュートリアル情報を表示します。

図 1-1 「Help」アイコン



- チュートリアルを最初から最後まで読み、サイトの使用方法およびどのように作成されているかを学習します。これを行うには、チュートリアルの PDF バージョンを使用できます。

この章では、次の内容について説明します。

- 1-2 ページの「[Ravenna Hosting Web サイトの概要](#)」
- 1-2 ページの「[Site Studio チュートリアルの概要](#)」

注意： このチュートリアルを行うには、製品、主要な機能および Site Studio の用語についての知識が必要です。Site Studio のその他のドキュメントを読んでからチュートリアルを開始してください。

1.1 Ravenna Hosting Web サイトの概要

Ravenna Hosting Web サイトは、コンテンツ・サーバーで設定および実行できるサンプル Web サイトです。この Web サイトは、パッケージ化された zip ファイルとして、Site Studio ソフトウェア配布パッケージの /Documentation/RVH_Tutorial ディレクトリにあります。このサイトは、Site Studio のバックアップおよびリストアの機能を使用して設定できます（『Site Studio Tutorial Setup Guide』を参照）。サイトをインストールすると、Site Studio で作成された、完全に機能する Web サイトの全体を参照できます。

この Web サイト自体は、Ravenna Hosting（図 1-2）という架空の Web ホスティング会社を表し、Web サイトで現在最も一般的に使用されている機能の一部を提供しています。

図 1-2 Ravenna Hosting のサンプル Web サイト



レイアウト・ページ、フラグメント、コントリビューション・リージョンなどの各機能は、Site Studio のテクノロジーを使用して作成されています。

コンテンツ・サーバーにサイトをインストールして実行すると、Web ブラウザで表示したり、Site Studio のコントリビュータ、マネージャおよびデザイナーを使用してプレビューや変更を行います。特定の機能やベスト・プラクティスをコピーして、独自のサイトで実装することも可能です。サンプル・サイトは、ユーザーが Site Studio を最大限に活用できるように用意されています。

1.2 Site Studio チュートリアル概要

Site Studio チュートリアルは、Ravenna Hosting のサンプル・サイトに付随します。このチュートリアルでは、Web サイトの詳細、およびサイトを作成するために行われた様々な決定について説明します。

このチュートリアルは、オンライン・ヘルプ・システムとして使用でき、コンテキストを区別する「Help」アイコン（図 1-3）を使用して、Web サイトから直接アクセスできます。また、PDF ファイルとしても使用できます。

図 1-3 「Help」アイコン



調べたい機能が見つかるまで Web サイト全体を参照して、見つかった時点でブラウザのコントリビュータ・モードを有効にし（[Ctrl] および [Shift] を押しながら [F5] を押す）、該当する機能の「Help」アイコンをクリックして関連する「Help」ページを開きます。または、チュートリアルの PDF を開いて印刷し、最初から最後まで読んでサイトがどのように作成されているかを理解します。

チュートリアルは次の 4 つの部分で構成されています。

- [第 2 章 「Ravenna Hosting のアーキテクチャ」](#)
- [第 3 章 「Ravenna レイアウト・ページ の設計」](#)
- [第 4 章 「Ravenna Hosting のフラグメント」](#)
- [第 5 章 「Ravenna Hosting のコントリビューション」](#)

Ravenna Hosting のアーキテクチャ

Ravenna Hosting Web サイトは、Web 上で一般的に使用されている多数の機能のデモを行います。同時に、安定したアーキテクチャを具体的に示します。この場合のアーキテクチャは、サイトの階層、レイアウト・ページの使用方法、ファイル・ネーミング規則などの、背後の属性を表します。

アーキテクチャは、サイトの目立たない部分ですが、非常に重要です。サイトのアーキテクチャの作成は、サイトの計画段階で鍵となる部分です（『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照）。

Ravenna Hosting サイトは、最初に目的、設計およびコンテンツ（会社のブランドおよび製品ラインから導出されるすべてのもの）に関して概念的に考慮されました。

目的、設計およびコンテンツについて綿密に計画を立ててからでなければ、サイトのアーキテクチャを構成する技術上の詳細を検討することはできません。

Ravenna Hosting サイトの場合は、次のことが考慮されました。

- 2-2 ページの「[サイトの階層](#)」
- 2-3 ページの「[サイト階層の Error Handler アイコンの詳細](#)」
- 2-5 ページの「[レイアウト・ページ](#)」
- 2-9 ページの「[コンテンツ・サーバーでの Web サイトの実行](#)」
- 2-10 ページの「[スクリプト言語](#)」
- 2-11 ページの「[コントリビューション・モデル](#)」
- 2-11 ページの「[メタデータ・モデル](#)」

2.1 サイトの階層

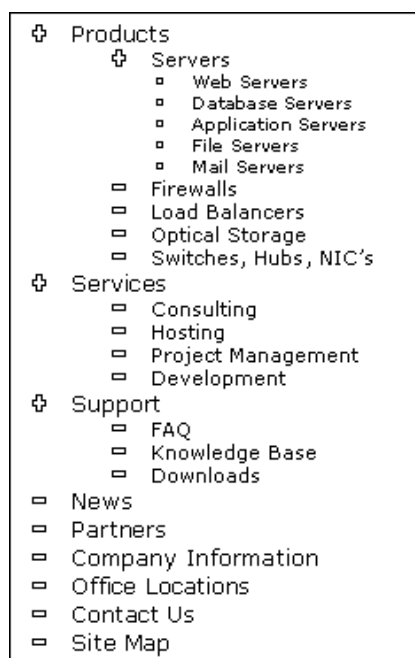
Site Studio で Web サイトの階層を計画することは、別の Web 開発プログラムで Web サイトの階層を計画することと変わりません。ただし、Site Studio によって強力なコントリビューション・モデルが提供されるため、サイトの階層についての考え方は一変します。

Site Studio で提供されるコントリビューション・モデルを使用すると、ユーザーは、いつでも Web サイトに貢献する（コンテンツを追加する）ことができます。どの程度のコントリビューション（貢献）を許可するかを決めるのは、サイトの設計者（デザイナー・アプリケーションで作業する個人）です。マネージャおよびコントリビュータが Web サイト上で行える編集量を制限しますか。それともセクションやページを新規に追加するための権限を付与して、より幅広く管理できるようにしますか。サイト階層の作成は、このような決断を伴います。

Ravenna Hosting サイトの階層については、Site Studio での作業に入る前に、紙の上で計画が立てられました。階層は、Web ホスティング製品およびサービスである、Ravenna Hosting 製品ラインを対象とすることになりました。

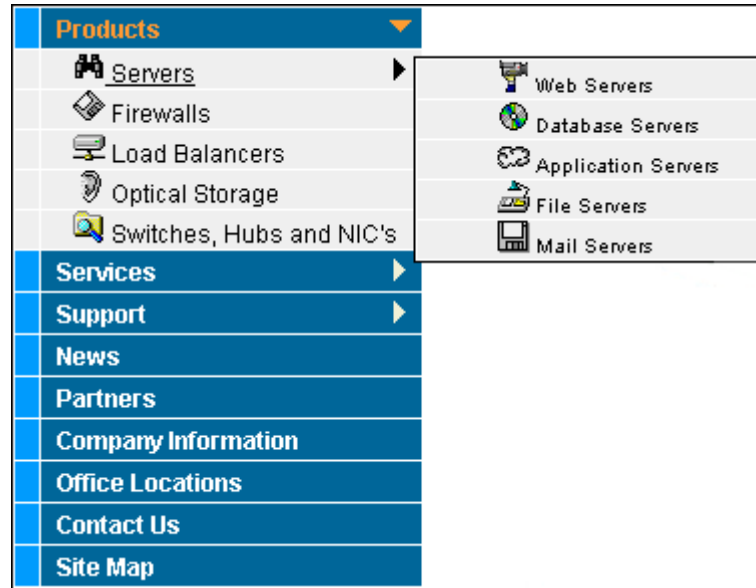
サイトの階層は、いくつかの最上位セクション（Products、Services、Support など）で構成され、場所によっては 3 つのレベル（Products > Servers > Web Servers など）があります。

図 2-1 Ravenna Hosting サイトの階層の概要



デザイナー（図 2-1）で作成したサイトの階層は、Site Studio でもレイアウト・ページやデータファイルなどの構成に使用されます。また、サイト・ナビゲーション（図 2-2）の生成にも使用されます。

図 2-2 サイトの階層



サイトの階層は、Site Studio でナビゲーション・リンクを作成する際に使用されます。そのため、設計者がサイトを構成するのに役立つだけでなく、ビジターがサイトを理解してナビゲートし、探している情報を見つけるのにも役立ちます。

サイト・マネージャは、サイトの階層を変更および拡張できます。また、サイト・コントリビュータはページを追加できます。Web Servers や News などの一部のセクションは、この目的のために設計されており、新しい Web ページがサイト・ナビゲーションの一部として表示されます。(例は第 4 章「Ravenna Hosting のフラグメント」および第 5 章「Ravenna Hosting のコントリビューション」を参照)。

2.2 非表示およびコントリビュータ専用のセクション

Web サイトに表示されるセクション以外にも、サイト上で特別な役割をする非表示のセクションおよびコントリビュータ専用のセクションがあります。

非表示のセクションは、サイト・ナビゲーションに含まれていない、つまりサイトに表示されないセクションです (『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照)。これは、検索結果ページやカスタム・エラー・ページなどの特定の機能に使用されます。サイト階層ペインでは、非表示のセクションに対して、サイト・ナビゲーションに表示されるセクションとは異なるアイコン (図 2-3) が使用されています。

図 2-3 サイト階層の Error Handler アイコンの詳細



コントリビュータ専用セクションは、ページをコントリビュータ・モードで表示しないかぎりサイト・ナビゲーションに表示されないセクションです。このセクションは、主に、コントリビュータ、マネージャおよびサイトへのコントリビューションを担当するユーザーのために使用されます。

Ravenna Hosting サイトでは、これらのタイプのセクションは次のように使用されています。

- 2-4 ページの「非表示のセクション」
- 2-4 ページの「コントリビュータ専用のセクション」

2.2.1 非表示のセクション

Ravenna Hosting サイトの階層では、次の機能に対して非表示のセクションが使用されていません。

- 検索結果ページ
- カスタム・エラー・ページ

検索結果ページ

Web サイトに検索機能を追加する際には、2つの作業を行う必要があります。検索ボックスの追加（第4章「[Ravenna Hosting のフラグメント](#)」を参照）および検索結果領域の指定です。

検索結果領域には、ユーザーが実行した検索の結果が表示されます。通常、検索結果ページは、非表示のセクションにあるレイアウト・ページ上の検索結果フラグメントで構成されます。ユーザーが検索結果ページに直接アクセスしても意味がないため、これを防ぐために、レイアウト・ページを非表示のセクションに含める必要があります。その結果、検索結果ページは、Web サイトでユーザーが検索を実行した場合のみ表示されます。

Ravenna Hosting サイトでは、このセクションは **Search Results** と呼ばれ、検索結果フラグメントを含むレイアウト・ページが含まれます。

カスタム・エラー・ページ

ビジターまたはサイト・コントリビュータが Web サイトを使用しているときにエラーが発生する状況は多数あります。たとえば、データファイルが参照されているセクションのセカンダリ・レイアウト・ページが欠落している場合や、システム固有ドキュメントが削除されたにもかかわらず、そのドキュメントへのハードコードされたリンクがサイトに残っている場合は、エラーが発生します。このエラー・メッセージはコンテンツ・サーバーで生成され、ユーザーは、Web サイトからコンテンツ・サーバー環境へ移されます。

このコンテンツ・サーバーのエラー・メッセージがユーザーに表示されないようにするには、独自のカスタム・エラー・ページを作成し（第4章「[Ravenna Hosting のフラグメント](#)」を参照）、エラー・ハンドラとして指定されているセクションに配置します（『[Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド](#)』を参照）。

検索結果セクションと同様に、Web サイト上で表示することを目的としないため、エラー・ハンドラ・セクションはサイト階層の非表示セクションのもう1つの例です。つまり、ユーザーがサイト・ナビゲーションを使用してこのセクションにアクセスすることはできません。ユーザーがこのセクションにアクセスするのは、エラーが発生した場合のみです。

Ravenna Hosting サイトでは、このセクションは **Error Handler** と呼ばれ、カスタム・エラー・フラグメントを含むレイアウト・ページが含まれます（第4章「[Ravenna Hosting のフラグメント](#)」を参照）。

2.2.2 コントリビュータ専用のセクション

コントリビュータ・モードのみで表示されるセクションを作成すると、設計者とマネージャ、マネージャとコントリビュータなどの間の通信に役立ちます。サイトへのコントリビューションの手順を配置するか、コントリビュータ・モードのみで意味を成す特定の機能を提供することができます。

Ravenna Hosting サイトでは、マネージャ・アプリケーションを表示するために、コントリビュータ専用のセクションを使用しています（第5章「[Ravenna Hosting のコントリビューション](#)」を参照）。そのため、サイト・マネージャは、サイトに移動してコントリビュータ・モードを有効にし、**Manage Site** セクションに移動してサイト階層の変更を開始できます。

これにより、マネージャは、サイトの中心的な場所で、セクションの追加と削除、セクションに関連付けられているレイアウト・ページの変更、サイトのプロパティの変更などを行えます。

2.3 レイアウト・ページ

レイアウト・ページは、様々な方法で処理できます。サイトの各セクションについて、1つのプライマリ・ページおよび1つのセカンダリ・ページを追加できます。プライマリ・ページおよびセカンダリ・ページをサイト全体で再利用することもできます。その結果、レイアウト・ページの数が増えられ、一貫性のあるロック・アンド・フィールが得られます。

- 2-5 ページの「[プライマリ・ページおよびセカンダリ・ページ](#)」
- 2-5 ページの「[レイアウト・ページの再利用](#)」
- 2-6 ページの「[レイアウト・ページのネーミング規則](#)」

2.3.1 プライマリ・ページおよびセカンダリ・ページ

Site Studio のプライマリ・ページとセカンダリ・ページの役割は、次のように明確に区別されます。

- プライマリ・ページは各セクションに必要で、Web サイト上でそのセクションを表します。ビジターがサイトの特定のセクションへ移動すると、そのセクションに関連付けられているプライマリ・ページが表示されます。
- セカンダリ・ページはオプションで、コントリビュータによってサイトに追加される新しいファイル（コントリビュータ・データファイルおよびシステム固有ドキュメント）の背景として使用されます。コントリビュータがサイトに新しいファイルを追加すると、そのファイルはセカンダリ・ページに表示されます。

全体がプライマリ・ページのみで構成された Web サイトを作成してから、コントリビュータがそれらのページを単純に編集できるようにすることもできます。ただし、その場合は、コントリビュータが新しい Web ページを Web サイトに追加しようとするたびに、設計者が（デザイナーを使用して）プライマリ・ページを伴う新しいセクションを追加する必要があります。

その結果、編集するためのページを追加しようとする多数のコントリビュータから大量のリクエストが送られてくる可能性があります。これにより、公開のボトルネックが発生し、最終的にサイトの成長が制限されます。

Ravenna Hosting サイトのほとんどの階層にはプライマリ・ページとセカンダリ・ページの両方が含まれているため、コントリビュータは、いつでも自由に新しい Web ページの編集や追加を行えます。そのため、設計者の介入を伴わずにサイトを成長させることができます。

2.3.2 レイアウト・ページの再利用

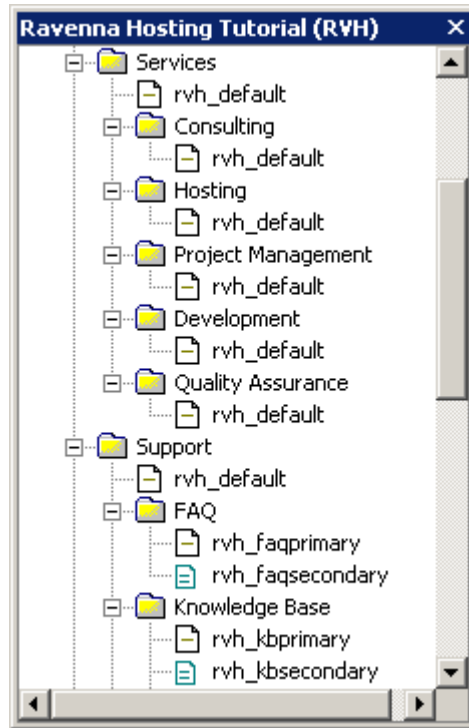
サイトの階層を作成する際は、新しいプライマリおよびセカンダリ・ページを各セクションに作成できます。または、Web サイトの複数のセクションでレイアウト・ページを再利用できます（[図 2-4](#)を参照）。再利用する場合、レイアウト・ページは他の Web ページのテンプレートのような役割をします。レイアウト・ページを再利用する場合のメリットとデメリットは次のとおりです。

- セクションごとに固有のレイアウト・ページを使用した場合は、ページごとにロック・アンド・フィールを柔軟に変更できます。ページ上のオブジェクトを再配置したり、ページを完全に設計しなおすことができます。ただし、レイアウト・ページに特異性を持たせるほど、全体的な変更（会社のロゴの場所を変更するなど）を行うことになった場合に、サイト全体でより多くの手動による更新が必要になります。
- 複数のセクションでレイアウト・ページを再利用すると、レイアウト・ページの数が増えられ、Web サイトのロック・アンド・フィールを維持できます。サイト全体への変更が必要になった場合でも、1つまたは少数のレイアウト・ページで変更を行うだけで、変更箇所が含まれる各セクションにただちに反映されます。ただし、レイアウト・ページを再利用すると、特定のページまたはセクションに対して固有の変更を行うことになった場合に制限されます。

レイアウト・ページ数が最終的に少なくなるか数百単位になるかは、レイアウト・ページの再利用の頻度によります。固有のレイアウト・ページと再利用されたレイアウト・ページのバランスをとることが理想です。

Ravenna Hosting サイトでは、これらを組み合わせて使用しています。たとえば、Services セクションでは、複数のサブセクションにプライマリ・ページ (rvh_default) を再利用していますが、Support セクションでは、複数のサブセクションに固有のレイアウト・ページ (rvh_faqlprimary、rvh_kbprimary など) を使用しています。

図 2-4 レイアウト・ページの再利用



Ravenna Hosting サイトに使用されている全レイアウト・ページのリストは、2-6 ページの「[レイアウト・ページのネーミング規則](#)」を参照してください。

Services セクションでは、ページのコンテンツが類似しているため、同じレイアウト・ページが使用されています。本質的には、Ravenna サービスについて説明するテキストおよびグラフィックです。

一方、Support セクションに含まれているセクションは、それぞれが著しく異なります。FAQ にはハイパーリンク付きの箇条書きのリスト、Knowledge Base には個々の項目を検索するための検索ボックスが含まれています。これらのセクションは他と同じにはできないため、固有のレイアウト・ページが使用されています。

2.3.3 レイアウト・ページのネーミング規則

各レイアウト・ページのコンテンツ ID およびファイル名は非常に重要です。最終的にサイト上のファイルをより詳細に管理するのに役立つためです (2-11 ページの「[メタデータ・モデル](#)」を参照)。これらのファイルは、他のコンテンツ項目と同様にコンテンツ・サーバーに格納されます。サイトを作成するには、特定のセクションに追加するレイアウト・ページおよびその理由を把握しておくことが便利です。

Web サイトを計画する際には、使用するレイアウト・ページに適したファイル・ネーミング規則を決めておく必要があります (『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照)。サイト全体で固有のレイアウト・ページを使用するか、またはレイアウト・ページを再利用するかによって、ファイルのネーミング方法は異なります。

たとえば、固有のレイアウト・ページを使用する場合は、サイトの該当するセクションを説明した名前 (companyname_about_us など) を使用する可能性があります。一方、レイアウト・ページを再利用する場合は、そのレイアウト・ページの目的や構成要素を反映した名前 (companytitle_default_layout など) を使用する可能性があります。

注意： Content Server の DocName の文字制限により、レイアウト・ページのコンテンツ ID は、30 文字以内にする必要があります。

Ravenna Hosting サイトでは、サイト階層の固有のレイアウト・ページと再利用されたレイアウト・ページの両方に反映される名前の組合せを使用しています。

レイアウト・ページ	説明
rvh_default	サイト階層の複数のセクション (Services、Support、Company Information など) で使用されているプライマリ・ページで、ホームページとしての役割も果たす。
rvh_productsprimary	Products セクション内の複数のセクション (Web Servers、Application Servers、Firewalls など) で使用されているプライマリ・ページ。
rvh_productssecondary	Products セクション内の複数のセクション (Web Servers、Application Servers、Firewalls など) で使用されているセカンダリ・ページ。
rvh_faqlprimary	FAQ セクションのみで使用されているプライマリ・ページ。
rvh_faqlsecondary	FAQ セクションのみで使用されているセカンダリ・ページ。
rvh_kbprimary	Knowledge Base セクションのみで使用されているプライマリ・ページ。
rvh_kbsecondary	Knowledge Base セクションのみで使用されているセカンダリ・ページ。
rvh_kbsearchresults	Knowledge Base セクションのみで使用されているプライマリ・ページで、このセクションの検索結果を表示する。(Knowledge Base セクションの下に Search Results セクションが含まれています。検索結果を表示するセクションは、次の「注意」を参照してください。)
rvh_downloadsprimary	プライマリ・ページだが、Downloads セクションのセカンダリ・ページとしても使用されている。
rvh_newsprimary	News セクションのみで使用されているプライマリ・ページ。
rvh_managesite	Manage Site セクションで使用されているプライマリ・ページで、Ravenna Hosting マネージャ・フラグメントが含まれている。
rvh_newssecondary	News セクションのみで使用されているセカンダリ・ページ。
rvh_partnersprimary	Partners セクションのみで使用されているプライマリ・ページ。
rvh_partnerssecondary	Partners セクションのみで使用されているセカンダリ・ページ。
rvh_officelocationsprimary	Office Locations セクションのみで使用されているプライマリ・ページ。
rvh_contactusprimary	Contact Us セクションのみで使用されているプライマリ・ページ。
rvh_sitemap	Site Map セクションのみで使用されているプライマリ・ページ。
rvh_searchresults	Search Results セクションで使用されているプライマリ・ページで、サイト全体の検索結果を表示する。 Search Results セクションは、他のセクションとは設定が異なります。実際には Web サイト上でセクションとして表示されず、サイト上のあらゆる場所で実行された検索の結果を表示するために使用されています。

レイアウト・ページ	説明
rvh_errorhandler	<p>エラー・ハンドラ・セクションで使用されるプライマリ・ページで、エラーが発生した場合に、コンテンツ・サーバーで生成されたエラー・メッセージのかわりに表示される。</p> <p>Search Results セクションと同様に、エラー・ハンドラ・セクションは Web サイト上でセクションとして表示されません。エラーが発生した場合のみ表示されます。</p>

2.4 フラグメント・ライブラリ

フラグメントは、コード（HTML、Idoc スクリプト、JavaScript、およびオプションの JSP または ASP）、およびコードが参照する外部のファイル（グラフィック、スタイルシート、追加のスクリプトなど）のコンテナです。フラグメントの仕様は XML（eXtensible Markup Language）で記述され、フラグメント・ライブラリに（必要に応じて他のフラグメントとともに）格納されます。

フラグメント・ライブラリは、コンテンツを説明する単一の XML ファイルと、ライブラリ内でフラグメントによって使用されるアセットを格納する zip ファイルで構成されます。フラグメント・ライブラリは、コンテンツ・サーバーに格納されます（図 2-5）。これらのライブラリは、Site Studio コンポーネントをインストールすると自動的にチェックインされます。

独自のフラグメントを作成するにあたり、独自のフラグメント・ライブラリを作成してカスタム・フラグメントをそれらのライブラリに格納する必要があります。こうすることで、Web サイトの独自のフラグメントが区分され、別のサイトへの移動やバックアップの作成が簡単に行えます。

独自のフラグメントを（他のユーザーが作成したものでなく）新しいフラグメント・ライブラリに格納することで、他のユーザーによる上書きの機会も減ります。さらに、他のユーザーによって変更されないように、新しいフラグメントを新しいフラグメント・ライブラリに追加した後、そのライブラリを読み取り専用としてマークできます（『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照）。

Ravenna Hosting サイトで使用されているフラグメントは、すべて rvh_fragments という 1 つのフラグメント・ライブラリに格納されています。

図 2-5 rvh_fragments ライブラリの「Content Information」ページ

Content Information

Content ID: rvh_fragments
 Revision: 92
 Type: rvh_fragments - Ravenna Hosting Fragment Library
 Title: Ravenna Hosting Fragment Library
 Author: sysadmin
 Hidden: FALSE
 Inhibit Propagation: FALSE
 Read Only: FALSE
 Trash Delete Date:
 Trash Delete Location:
 Trash Delete Old Name:
 Trash Deleter:
 Folder:
 Comments: Ravenna Hosting Tutorial Site Fragment Library
 Website Object Type: Fragment
 Template Type:
 Websites: [Ravenna Hosting Tutorial \(RVH\)](#)
 Exclude From Lists:
 Website Section:
 Security Group: Public
 Checked Out By:
 Status: Released
 Formats: Application/xml, Application/zip

Links

Web Location: http://testlab7.sstlenet/groups/public/documents/rvh_fragments/rvh_fragments.xml
 Native File: [rvh_fragments.zip](#)

Revision History

Revision	Release Date	Expiration Date	Status	Actions
[92]	6/13/05 11:57 AM	None	Released	Delete

Ravenna Hosting フラグメントは、フラグメント・ライブラリとして別の場所へ簡単に移動できます。

コンテンツ・サーバーにチェックインされる際、フラグメント・ライブラリには、システム固有ファイルおよび代替ファイルの 2 つが含まれます。システム固有ファイルは zip ファイルで、1 つ以上のフラグメントとそのアセット、パラメータおよび要素が含まれます。代替ファイル (Web Location) は XML ファイルで、フラグメント・ライブラリに含まれるすべてのものが記述されます。

フラグメント・ライブラリ用に選択されたメタデータ値の詳細は、2-11 ページの「メタデータ・モデル」を参照してください。

2.5 コンテンツ・サーバーでの Web サイトの実行

Ravenna Hosting Web サイトを表示するには、サイトを処理できるようにコンテンツ・サーバーを設定しておく必要があります。

設定の内容は次のとおりです。

- Ravenna Hosting サイトへの必要なコンポーネント (Site Studio コンポーネント、Dynamic Converter コンポーネントなど) の追加
- 必要なメタデータ・コンテンツ・タイプを使用したコンテンツ・サーバーの構成 (2-10 ページの「Ravenna Hosting で使用される特別なメタデータ」を参照)

2.5.1 Ravenna Hosting で使用される特別なメタデータ

Ravenna Hosting サイトの計画段階では、コンテンツ・サーバーで新しいコンテンツ・タイプをいくつか作成する必要があると判断されました。

ファイルを作成してコンテンツ・サーバーにチェックインする前に、これらの値を用意しておくことは、非常に有用です。サイトを作成してから新しいメタデータをその都度作成すると、すでにコンテンツ・サーバーにチェックインされているコンテンツ項目に対して、メタデータの更新を何度も実行することが必要になります。

また、メタデータの更新時には、メタデータが変更されたためにイメージが欠落するなどして、一部の機能が破損する可能性があります。

新しいコンテンツ・タイプ

Ravenna Hosting サイトでは、新しいコンテンツ・タイプがいくつか導入されています。コンテンツ・タイプは、Web サイトに属するファイルの管理に使用されます。特に、動的リストや（特定のコンテンツ・タイプと一致するドキュメントをコンテンツ・サーバーに問い合わせる）検索に使用されます。

名前	説明
rvh_fragments	Ravenna Hosting のフラグメント・ライブラリ
rvh_layout	Ravenna Hosting のレイアウト・ファイル
rvh_productdescription	Ravenna Hosting の製品詳細
rvh_newsstory	Ravenna Hosting のニュース記事
rvh_supportfaq	Ravenna Hosting のサポート FAQ
rvh_knowledgebasearticle	Ravenna Hosting のサポート・ナレッジ・ベース記事
rvh_partnerdescription	Ravenna Hosting のパートナー詳細
rvh_image	Ravenna Hosting のイメージ・ファイル
rvh_other	Ravenna Hosting のその他のファイル
rvh_download	Ravenna Hosting のダウンロード・ファイル

2.6 スクリプト言語

Site Studio では、HTML、XML、JavaScript、Idoc スクリプト、JavaServer Pages (JSP) および Active Server Pages (ASP) を使用して Web サイトを作成できます。ASP および JSP を使用するためには、多少異なる実装が必要です。このどちらかのスクリプト言語を選択した場合は、初期のサイト、新しいレイアウト・ページ、フラグメントなどを作成する際に、異なる選択をする必要があります（『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照）。

Ravenna Hosting サイトでは、サーバー側スクリプト用にシステム固有の Idoc スクリプト言語を使用しています。

2.7 コントリビューション・モデル

Site Studio では、一般的な従来の方法とはまったく異なる方法で、Web サイトの作成と管理を行えます。サイトへの新しいコンテンツの追加と管理をウェブマスターや Web チームが担当するのではなく、Web ブラウザを持つすべてのユーザーがサイトにアクセスして変更を行えます。このようなユーザーをコントリビューターと呼びます。

どの程度のコントリビューションを許可するかを決めるのは、サイトの設計者（デザイナー・アプリケーションで作業する個人）です。たとえば、コントリビューションを制限した Web サイトを設定して、個々のコントリビューターが既存の Web ページの特定の部分のみを編集できるようにすることができます。

または、あらゆるコントリビューションを許可する Web サイトを設定して、個々のコントリビューターおよびマネージャが Web ページ全体の編集、新しい Web ページの追加、および Web サイトへの新しいセクションの追加を行えるようにすることもできます。そのほとんどは、コントリビューション・モデル、つまり Web サイト上でコンテンツをどのように配置するかにかかっています。

Ravenna Hosting 内のコントリビューション

Ravenna Hosting サイトは、コントリビューターおよびマネージャが Web サイト全体を変更したり、サイトの一部に新しいセクションやページを追加できるように設定されています。具体的には、コントリビューターはサイト上の各 Web ページの一部（本体部分）を変更できます。また、テキストを自由にフォーマットできます（書体の変更、太字やイタリックへの変更、番号付きリストの追加、ハイパーリンクの挿入など）。

ただし、コントリビューターは、サイト上のメイン・ナビゲーション、フッター・テキスト、会社のロゴおよび特定のサイドバー項目を変更できません。一方マネージャは、ナビゲーションに影響するサイト階層を変更できます。

また、ユーザーのログイン資格証明に関係なく、サイトへのコントリビューションは同じです。ユーザーの資格証明に基づいて、条件付きで表示される領域はありません。ただし、この条件付き表示を使用することは可能です。既存のコンテンツ・サーバー・セキュリティ・モデルを使用して設定できます。

2.8 メタデータ・モデル

Site Studio で Web サイトを作成し、管理する中で、サイトに属するすべてのファイルの管理方法を決める必要があります。潜在的に関係のない、その他の多くのコンテンツ項目とともにサイトがコンテンツ・サーバーに格納されている場合は、特に重要です。

Ravenna Hosting サイトでは、サイトの作成前にコンテンツ・サーバーで作成する必要がある多数のコンテンツ・タイプが使用されています。コンテンツ・サーバーにチェックインされるそれぞれのレイアウト・ページ、フラグメント、コントリビューター・データファイルおよびシステム固有ドキュメントには、これらのコンテンツ・タイプのいずれかが使用されます。

メタデータ・タイプ以外にも、Web サイトのファイルを説明するその他のメタデータ値（コンテンツ ID、タイトル、コメントなど）を慎重に考慮する必要があります。これらのほとんどは、サイト上のファイル用に選択したネーミング規則に関連します（2-6 ページの「[レイアウト・ページのネーミング規則](#)」を参照）。

Ravenna Hosting サイト上のファイルのタイプ（レイアウト・ページ、フラグメント、システム固有ドキュメントなど）のサンプルおよびそれぞれに割り当てられているメタデータ値を次に示します。

ファイル・タイプ	ネーミング規則およびメタデータ
プロジェクト・ファイル	Content ID: rvh_project Type: rvh_other - Ravenna Hosting Miscellaneous File Title: Ravenna Hosting Tutorial Site Project File Comments: 値なし Website Object Type: Project Websites: Ravenna Hosting Tutorial (RVH) Website Section: 値なし Exclude From Lists: 値なし Formats: Application/xml
レイアウト・ページ	レイアウト・ページの例： Content ID: rvh_default Type: rvh_layout - Ravenna Hosting Layout File Title: rvh_default Comments: Ravenna Hosting Tutorial Site Layout File Website Object Type: Layout File Websites: Ravenna Hosting Tutorial (RVH) Website Section: Ravenna Hosting Tutorial : Home Exclude From Lists: 値なし Formats: text/hcsp
フラグメント	Content ID: rvh_fragments Type: rvh_fragments - Ravenna Hosting Fragment Library Title: Ravenna Hosting Fragment Library Comments: Ravenna Hosting Tutorial Site Fragment Library Website Object Type: Fragment Websites: Ravenna Hosting Tutorial (RVH) Website Section: 値なし Exclude From Lists: 値なし Formats: Application/xml, Application/zip
コントリビュータ・データファイル	データファイルの例： Content ID: rvh_services Type: rvh_other - Ravenna Hosting Miscellaneous File Title: Ravenna Hosting Services Comments: Ravenna Hosting Tutorial Site Miscellaneous Contributor Data File Website Object Type: Data File Websites: Ravenna Hosting Tutorial (RVH) Website Section: Ravenna Hosting Tutorial : Services Exclude From Lists: 値なし Formats: Application/xml

ファイル・タイプ	ネーミング規則およびメタデータ
システム固有ドキュメント	<p>システム固有ドキュメントの例：</p> <p>Content ID: rvh_news_061003</p> <p>Type: rvh_newsstory - Ravenna Hosting News Story</p> <p>Title: Ravenna to Host First Global Users Conference</p> <p>Comments: Ravenna Hosting Tutorial Site News Story</p> <p>Website Object Type: Native Document</p> <p>Websites: Ravenna Hosting Tutorial (RVH)</p> <p>Website Section: Ravenna Hosting Tutorial : News</p> <p>Exclude From Lists: 値なし</p> <p>Formats: application/msword</p>
イメージ	<p>イメージ・ファイルの例：</p> <p>Content ID: rvh_poweredbysitestudio</p> <p>Type: rvh_image - Ravenna Hosting Image File</p> <p>Title: rvh_poweredbysitestudio</p> <p>Comments: Ravenna Hosting "Powered By Site Studio" Image</p> <p>Website Object Type: Image</p> <p>Websites: Ravenna Hosting Tutorial (RVH)</p> <p>Website Section: Ravenna Hosting Tutorial : Home</p> <p>Exclude From Lists: 値なし</p> <p>Formats: Application/gif</p>
フォーム	<p>フォームまたはスクリプトの例：</p> <p>Content ID: rvh_ext_poweredbysitestudio</p> <p>Type: rvh_other - Ravenna Hosting Miscellaneous File</p> <p>Title: rvh_ext_poweredbysitestudio</p> <p>Comments: Ravenna Hosting Tutorial Site Custom Element Form for Selecting the "Powered By Site Studio" button</p> <p>Website Object Type: Custom Element Form</p> <p>Websites: Ravenna Hosting Tutorial (RVH)</p> <p>Website Section: Ravenna Hosting Tutorial : Home</p> <p>Exclude From Lists: 値なし</p> <p>Formats: text/hcsp</p>

それぞれのメタデータ値は、Ravenna Hosting サイト上のコンテンツ項目に関して異なる役割を果たします。

- 「**Content ID**」は、レイアウト・ページおよびコントリビュータ・データファイルで重要です。この ID は、サイト階層内でこれらのファイルの構成や管理を行うとき、特に、サイト全体でファイルを再利用する場合に役立ちます（2-6 ページの「[レイアウト・ページのネーミング規則](#)」を参照）。
- 「**Type**」は、コントリビュータ・データファイルおよびシステム固有ドキュメントで重要です。特に重要なのは、これらのファイルが Web サイト上で動的リストに追加される場合です。動的リストはコンテンツ・サーバーでの問合せに基づいており、Ravenna Hosting サイトではコンテンツ・タイプ（rvh_productdescription および rvh_newsstory）と一致するコンテンツ項目を検索します。

- 「Title」 および 「Comments」 も、コントリビュータ・データファイルおよびシステム固有ドキュメントで重要です。動的リストやユーザーによって実行される検索でこれらのファイルを表すためです。

前出の表に含まれているシステム固有ドキュメントは、[図 2-6](#) のように表示されます。

図 2-6 動的リストでのドキュメントの表示

- 
- [Ravenna to Host First Global Users Conference](#)
Ravenna Hosting Tutorial Site News Story

- 「Website Section」 は、コントリビュータ・データファイルおよびシステム固有ドキュメントで重要です。どのセクションでデータファイルまたはシステム固有ドキュメントを表示するかを関連付けるのに役立つためです。Site Studio でハイパーリンクを作成する際、ターゲット・ファイルを表示する Web サイト上のセクションを選択できますが、選択しなかった場合、ファイルの表示場所は「Website Section」の値を使用して決定されます（『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照）。
- 「Website Object Type」（「Data File」、「Layout File」、「Fragment」など）は、Web サイト上のすべてのファイルで重要です。Site Studio がコンテンツ・サーバー内でこれらのファイルを管理するのに役立つほか、デザイナーから（たとえば「Site Assets」ペインを使用して）特定のファイルを参照するときに、コンテンツ・サーバー内のファイルを見つけるのに役立ちます。
- 「Websites」 は、Site Studio がコンテンツを特定の Web サイトに関連付けるのに役立つため重要です。コンテンツ・サーバー内に複数の Web サイトが格納されている場合は、特に便利です。複数の Web サイト間で共有されるコンテンツを指定する場合にも使用できます（『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照）。
- 「Exclude From Lists」 は、動的リストに含めるファイルまたはリストから除外するファイルを制御するために重要です。ユーザーは、コントリビュータで作業しながら、リストで特定のファイルを含めたり除外するオプションを選択できます。選択したオプションに応じて、値が挿入されます。

Ravenna レイアウト・ページの設計

Ravenna Hosting サイトのルック・アンド・フィールは、まず、サイトのアーキテクチャとともに紙の上で計画されました。ルック・アンド・フィールが決定した後、Site Studio デザイナで最初のレイアウト・ページが作成されました。この章では、最初のレイアウト・ページの作成およびセカンダリ・レイアウト・ページへの組み込みについて説明します。

この章では、次の内容について説明します。

- 3-2 ページの「[最初のレイアウト・ページ](#)」

3.1 最初のレイアウト・ページ

選択されたレイアウトは、多くの Web サイトで見られる一般的な設計に従っています。メイン・ナビゲーションは最上部と左側、本体のコンテンツは中央、追加のナビゲーション補助およびリソースは右側と最下部にそれぞれ配置されています (図 3-1)。

図 3-1 Ravenna Hosting Web サイト



このレイアウトを作成するために、一部のコンテンツ (HTML 表、背景色、グラフィックなど) が直接レイアウト・ページに追加されましたが、ほとんどはフラグメントまたはコントリビューション・リージョンの形式で追加されました。

- 3-2 ページの「レイアウト・ページに直接追加されたコンテンツ」
- 3-3 ページの「フラグメントおよびコントリビューション・リージョン」

3.1.1 レイアウト・ページに直接追加されたコンテンツ

Site Studio は、Web サイトの作成および計画のための新しい方法を導入しており、そのために再利用可能なレイアウト・ページ、フラグメント、コントリビューション・リージョンなどが使用されます。これに伴い、ユーザーも Web サイトの設計に対する考え方を根本的に変える必要があります。

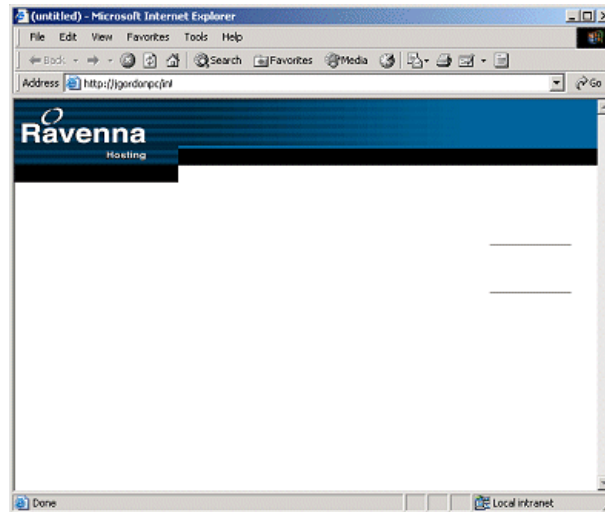
最初のステップとして、特定のコンテンツをレイアウト・ページに直接追加することで、基本的なルック・アンド・フィールを作成します。通常、このコンテンツは、サイト全体で不変の背景情報 (図 3-2) です。

レイアウト・ページの編集を開始すると、従来の Web サイト開発プログラムで一般的な Web ページに対して行うように、(ナビゲーション・リンクを含む) すべてのものをこのページに直接追加しそうになるかもしれませんが、しかし、Site Studio では、レイアウト・ページに追加するほとんどのコンテンツ (特に定期的に変化するコンテンツ) は、フラグメントまたはコントリビューション・リージョンの形式をとります。

Site Studio の主なメリットはコンテンツを表示から切り離せることですが、これを可能にするためにフラグメントおよびコントリビューション・リージョンがどのような役割をするかは、Site Studio に慣れてくるとすぐに理解できます。

Ravenna Hosting サイトでは、背景色、いくつかのグラフィックおよび水平罫線を含む HTML 表がレイアウト・ページに直接追加されています。前述のように、これらはページごとに変化することがない背景を構成します。

図 3-2 レイアウト・ページに直接追加されたコンテンツ

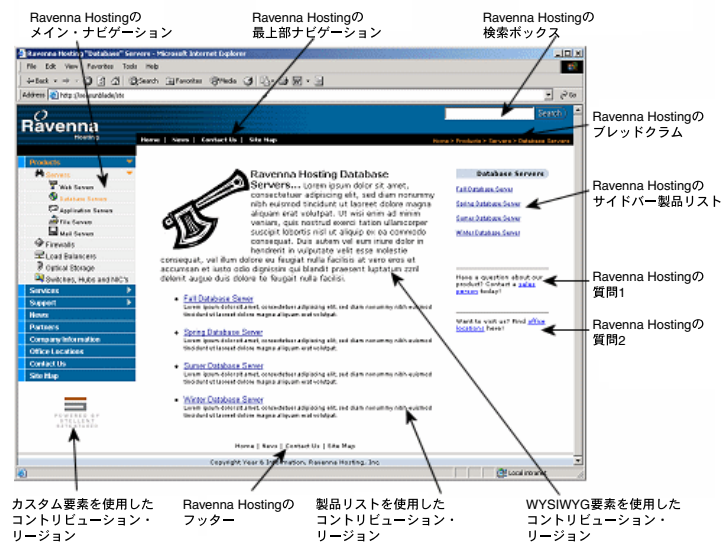


その他のすべてのもの（本体のテキスト、サイト・ナビゲーションおよびその他の動的コンテンツを含む）は、フラグメントまたはコントリビューション・リージョンとして追加されます（3-3 ページの「フラグメントおよびコントリビューション・リージョン」を参照）。

3.1.2 フラグメントおよびコントリビューション・リージョン

Ravenna Hosting サイトには、ナビゲーション・メニュー、フルテキスト検索ボックスおよびサイト・マップなど、現在ほとんどの Web サイトで使用されている多くの機能が含まれています（図 3-3）。

図 3-3 Ravenna Hosting のフラグメントおよびコントリビューション・リージョン



ほとんどの Web サイト開発プログラムで一般的に行われるように、これらの機能を Web ページに直接追加するのではなく、これらの機能はフラグメントとして作成され、サイトに追加されます。フラグメントである機能は、サイトの任意の場所や他のサイトへすばやく簡単に追加できるほか、そのフラグメントを使用するたびに（パラメータを変更することで）すばやく簡単にカスタマイズできます。

フラグメントの他にも、サイト上には、コントリビュータが（コントリビュータ・アプリケーションを使用して）編集できる1つ以上の要素が含まれているコントリビューション・リージョンが存在します。より拡張された、より複雑なコントリビューションを許可する特別なフラグメント（静的リストや動的リストなど）が含まれているコントリビューション・リージョンもあります。

3.1.2.1 フラグメントの概要

フラグメントは、コード（HTML、XML、JavaScript、Idoc スクリプト、およびオプションの ASP または JSP）、コードが参照するファイル（グラフィック、CSS、スクリプトなど）、およびレイアウト・ページへのコードの追加方法を指定するパラメータのコンテナです。（詳細は、『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照してください。）

フラグメントの優れている点は、サイト全体で再利用し、なおかつ使用ごとにカスタマイズできるように、特定の機能や機能の一部をパッケージ化するのに使用できることです。したがって、フラグメントは移植可能です。独自のサイトだけでなく、コンテンツ・サーバー内のその他のサイトでも同じフラグメントを様々な方法で使用できます。

フラグメントは、各ページの最下部に追加される **copyright** 文のような単純なものから、サイト全体のメイン・ナビゲーション・メニューまで様々な使用できます。フラグメントの知識が深まれば、サイト上で使用する割合も増えるはずです。

フラグメントの構成要素は次のとおりです。

- 3-4 ページの「Snippet」
- 3-5 ページの「アセット」
- 3-5 ページの「要素」
- 3-5 ページの「パラメータ」

3.1.2.2 Snippet

フラグメントには1つ以上の Snippet が含まれます。

各 Snippet は、レイアウト・ページの次の4つの場所のいずれかに挿入されます。

- 「**drop-point**」：レイアウト・ページ上のカーソルがある場所
- 「**head**」：レイアウト・ページのヘッド（具体的には <HEAD> タグの最後）
- 「**top-of-body**」：レイアウト・ページ本体の先頭（<BODY> タグの直後）
- 「**bottom-of-body**」：レイアウト・ページの本体の最後（</BODY> タグの直前）

一行のテキスト（copyright など）を挿入するためにフラグメントを使用する場合は、通常、copyright を表示する1つの Snippet を使用します。より複雑なもの（JavaScript メニューなど）を挿入するためにフラグメントを使用する場合は、通常、JavaScript の条件を宣言するための <HEAD> タグ、およびメニューが実際に表示される <BODY> タグの2つの Snippet を使用します。

また、レイアウト・ページに Snippet を含める方法には、次の3つがあります。

- 「**simple**」：Snippet のコンテンツ全体をレイアウト・ページに追加します。パラメータが指定されている場合は、それらの値がレイアウト・ページに直接追加され、ページの一部として永続します。その結果、フラグメントはフラグメントとして認識されなくなるため、パラメータは変更不可になります。
- 「**inline**」：Snippet のコンテンツ全体をレイアウト・ページに追加します。ただし、インライン Snippet であるフラグメントおよびそのパラメータは、引き続きフラグメントとして認識されます。フラグメントの移動や削除およびパラメータの変更も行えます。

- **「reference」** : レイアウト・ページ内の Snippet への参照を追加します。参照される Snippet は、引き続きフラグメントとして認識および管理されます。また、Fragment Editor でフラグメントを編集して、すぐに（使用数に応じて1つまたは複数の）レイアウト・ページで変更を確認できます。この動作は、他の Web サイトのインクルード・ファイル（HTML、CSS、スクリプトなど）と似ています。

Snippet を作成してレイアウト・ページに組み込む方法を指定し、Fragment Editor を使用してその後の作業を行えます。

フラグメントに多数のコードが含まれている場合は、通常、Snippet ではなくフラグメント・アセット内にコードを配置します（Ravenna Hosting サイトのフラグメントを参照）。

3.1.2.3 アセット

フラグメントに関連付けられているファイルです。その結果として、フラグメント Snippet 内のコードはこのファイルを簡単に参照できます。グラフィック、Cascading Style Sheet および JavaScript のファイルは、いずれも頻繁に使用されるアセットです。

3.1.2.4 要素

コントリビュータによって編集されるコンテンツを示す、コントリビューション・リージョン内の領域です。コントリビューション・リージョン内の各要素は、コントリビュータ・アプリケーション内でフィールドとして表示されます。フラグメントに使用できる要素には、wysiwyg、プレーン・テキスト、イメージおよびカスタムの4種類があります。

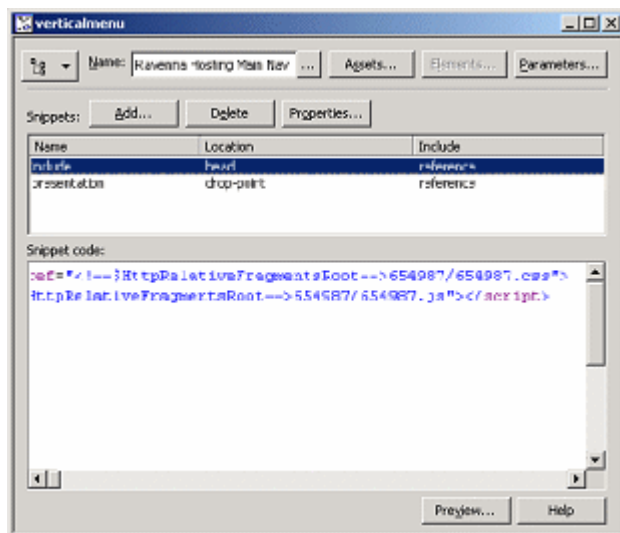
注意： 要素は、静的リスト・フラグメントのみで使用されます。静的リスト・フラグメントは特殊なフラグメントで、コントリビュータ・アプリケーションを使用してコントリビュータが編集できる、高度に構造化されたコンテンツが含まれています。

3.1.2.5 パラメータ

フラグメントの属性を作成するための設定（オプション）です。これにより、レイアウト・ページに実際にフラグメントを追加する際に、これらの値を変更できます。特に、Web サイトの複数の箇所でもフラグメントを再利用しながら、使用ごとにカスタマイズする場合に便利です。また、他の設計者にフラグメントを配布する予定がある場合にも便利です。配布された設計者は、自由にロック・アンド・フィールドを変更できます。

Fragment Editor では、フラグメントの作成および編集用のインターフェースを使用できます (図 3-4)。

図 3-4 Fragment Editor に表示された Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション・フラグメント



Ravenna Hosting サイトのほとんどの機能は、(Fragment Editor を使用して) フラグメントとして作成された後、レイアウト・ページまたはレイアウト・ページ上のコントリビューション・リージョンに直接追加されています。

Ravenna Hosting のフラグメント

Site Studio に同梱されているホスティング・フラグメントの多くは、Ravenna Hosting サイト用に作成されたものです。これらのフラグメントの多くは、サイト・ナビゲーションを拡張するために設計されています。

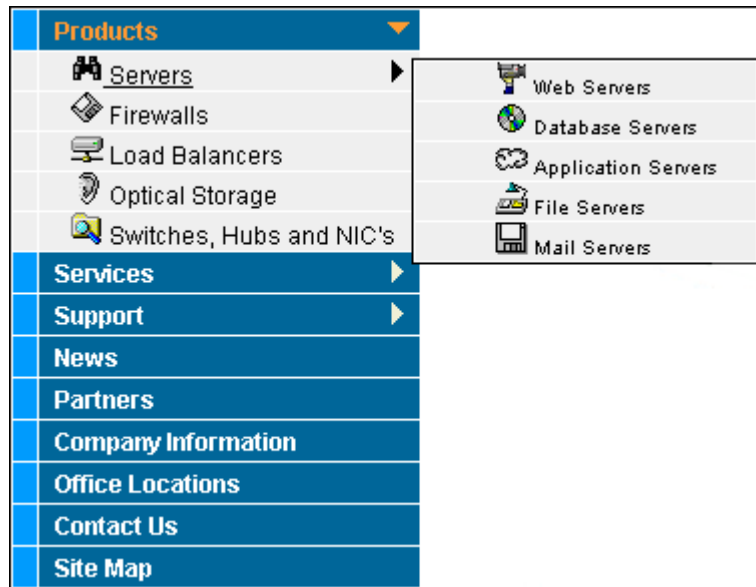
- 4-2 ページの「[Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション](#)」
- 4-13 ページの「[Ravenna Hosting の最上部ナビゲーション](#)」
- 4-16 ページの「[Ravenna Hosting のブレッドクラム](#)」
- 4-19 ページの「[Ravenna Hosting のサイト・マップ](#)」
- 4-24 ページの「[Ravenna Hosting のフッター](#)」
- 4-28 ページの「[Ravenna Hosting の検索ボックス](#)」
- 4-30 ページの「[Ravenna Hosting の検索結果](#)」
- 4-36 ページの「[Ravenna Hosting の質問 1](#)」
- 4-37 ページの「[Ravenna Hosting の質問 2](#)」
- 4-38 ページの「[Ravenna Hosting のページ・タイトル](#)」
- 4-40 ページの「[Ravenna Hosting のエラー・ハンドラ・メッセージ](#)」

また、サイトへのコンテンツのコントリビューション専用設計されたフラグメントもいくつか含まれています。詳細は、第 5 章「[Ravenna Hosting のコントリビューション](#)」を参照してください。

4.1 Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション

Ravenna Hosting サイトのメイン・ナビゲーション (図 4-1) は、(Toolbox のその他のナビゲーション・フラグメントと同様に) デザイン内のサイト階層を自動的に読み取り、その階層を Web サイト上で一連のナビゲーション・リンクに変換するフラグメントです。

図 4-1 Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション



サイト階層が変更されると、このメニューは自動的に更新され、変更が反映されます。したがって、デザイナーでサイト階層に **Legal** という新しいセクションを追加すると、このメニューにハイパーリンクとして表示されます。

このメニューは、最初にクライアント・サイド JavaScript として作成された後、(同じコンテンツ・サーバーに格納されているその他の Web サイトを含む) Site Studio 内の任意の場所で使用できるように、フラグメントに変換されています。

また、このメニューでは、デザイナーで指定されたカスタム・セクション・プロパティも利用されています (『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナー・ガイド』を参照)。これは MainNavIcon というカスタム・プロパティで、**File Servers** セクションの **File Servers** アイコン (図 4-2) など、各セクションのアイコンを指定するために使用されています。カスタム・セクション・プロパティを読み取る実際のコードは、このフラグメントのアセットである JavaScript ファイルに含まれています (4-3 ページの [「rvh_mainnavigation.js」](#) を参照)。

図 4-2 File Servers アイコン



この項では、次の内容について説明します。

- 4-3 ページの [「Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション: Snippet」](#)
- 4-3 ページの [「Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション: アセット」](#)

注意: このフラグメントには、要素およびパラメータは含まれていません。これらは、他の一部のフラグメントに含まれています。このフラグメントに要素が含まれていないのは、サイト・ナビゲーション専用であり、コントリビューションに使用されたいからです。パラメータが含まれていないのは、サイト全体で同じ外観を持たせるために使用され、カスタマイズが不要なためです。

4.1.1 Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション : Snippet

Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション・フラグメントには、ヘッドおよびドロップポイントの2つの Snippet があります。クライアント・サイド JavaScript および Cascading Style Sheet を含むこのようなフラグメントでは、一般的に2つの Snippet が必要になります。1つはページのヘッドに配置されるコンテンツ用、もう1つは Web ページの本体に配置されるコンテンツ用です。両方の Snippet は参照によって組み込まれます。

- 4-3 ページの「[組込み \(ヘッド Snippet\)](#)」
- 4-3 ページの「[表示 \(ドロップポイント Snippet\)](#)」

4.1.1.1 組込み (ヘッド Snippet)

スクリプトの、ヘッド情報を宣言する部分 (HTML <head> タグに格納される情報) は、次のヘッド Snippet に変換されています。

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="<!--$HttpRelativeFragmentsRoot-->
rvh_mainnavigation/rvh_mainnavigation.css"></link>
<script language="javascript" src="<!--$HttpRelativeFragmentsRoot-->
rvh_mainnavigation/rvh_mainnavigation.js"></script>
```

4.1.1.2 表示 (ドロップポイント Snippet)

Web ページ上でスクリプトの組込みを指定するコードは、次のドロップポイント Snippet に変換されています。

```
<script language="javascript">
  nvh_mainnavigation_display(g_navNode_Path, g_navNode_Root,
  "<!--$HttpRelativeFragmentsRoot-->rvh_mainnavigation", false);
</script>
```

注意: このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。

4.1.2 Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション : アセット

Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション・フラグメントには、次の6つのアセットが含まれています。

- 4-3 ページの「[rvh_mainnavigation.js](#)」
- 4-6 ページの「[rvh_mainnavigation.css](#)」
- 4-12 ページの「[メニューの開閉を示すグラフィック](#)」

4.1.2.1 rvh_mainnavigation.js

Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション・フラグメントで動的ナビゲーションの作成に使用されているコードの大部分は、rvh_mainnavigation.js という別個の JavaScript ファイルに含まれており、アセットの形式でフラグメントに追加されています。rvh_mainnavigation.js ファイルには、次のコードが含まれています。

```
//=====
// Function : nvh_mainnavigation_displaynode
// Comments : this method draws the navigation elements for the supplied
//             node and all its children (if appropriate)
//=====
function nvh_mainnavigation_displaynode(path, node, strFragRoot)
{
  var strClass, strClassHover, strShowPopup = "", strHidePopup = "";

  if (path[node.m_level] == node.m_id)
  {
```

```

    strClass      = "rvh_mainnavigation-level" + node.m_level + "selected";
    strClassHover = "rvh_mainnavigation-level" + node.m_level + "selectedhover";
  }
  else
  {
    strClass      = "rvh_mainnavigation-level" + node.m_level;
    strClassHover = "rvh_mainnavigation-level" + node.m_level + "hover";

    if ((node.m_level == 1) || (node.m_level == 2)) && (node.m_subNodes.length > 0)
    {
      strShowPopup = "rvh_mainnavigation" + node.m_id + ".style.display='inline';";
      strHidePopup = "rvh_mainnavigation" + node.m_id + ".style.display='none';";
    }
  }

  var strIcon = (customSectionPropertyExists(node.cp_MainNavIcon) ? "<img border=0
width=16 height=16 src='" + node.cp_MainNavIcon + "'>&nbsp;" : "");

  document.write("<tr>");
  document.write("  <td width='1%' class='" + strClass + "Lead'\>");
  document.write("  <td width='99%' class='" + strClass + "'
onmouseover=\"className='" + strClassHover + "';" + strShowPopup + "\"
onmouseout=\"className='" + strClass + "';" + strHidePopup + "\">");
  document.write("    <table cellspacing=0 cellpadding=0>");
  document.write("      <tr>");
  document.write("        <td width='100%'><a href='" + node.m_href + "'" +
strIcon + node.m_label + "</a></td>");
  document.write("      <td>");

  if ((node.m_level == 1) || (node.m_level == 2)) &&
    (node.m_subNodes.length > 0)
  {
    if (path[node.m_level] == node.m_id)
    {
      document.write("<img src='" + strFragRoot + "/rvh_mainnavigation-level" +
node.m_level + "-downarrow.gif'></img>");
    }
    else
    {
      document.write("<img src='" + strFragRoot + "/rvh_mainnavigation-level" +
node.m_level + "-rightarrow.gif'></img>");
      document.write("<table style='border: 1px solid black;background-color:white;
id='rvh_mainnavigation" + node.m_id + "' style='position:absolute;display:none;
cellspacing=1 cellpadding=0 width=1%'>");
      for (var i = 0 ; i < node.m_subNodes.length ; i++)
        nvh_mainnavigation_displaynode(path, node.m_subNodes[i], strFragRoot);
      document.write("</table>");
    }
  }
  else
  {
    document.write("&nbsp;");
  }

  document.write("    </td>");
  document.write("  </tr>");
  document.write(" </table>");
  document.write(" </td>");
  document.write("</tr>");

  if ((node.m_level <= 2) && (path[node.m_level] == node.m_id))
    for (var i = 0 ; i < node.m_subNodes.length ; i++)
      nvh_mainnavigation_displaynode(path, node.m_subNodes[i], strFragRoot);

```

```

}

//=====
// Function : nvh_mainnavigation_display
// Comments : this method draws the main navigation fragment
//=====
function nvh_mainnavigation_display(path, node, strFragRoot, bDisplayRoot)
{
    document.write("<table cellspacing=1 cellpadding=0 width=100%>");

    if (bDisplayRoot)
    {
        nvh_mainnavigation_displaynode(path, node, strFragRoot);
    }
    else
    {
        for (var i = 0 ; i < node.m_subNodes.length ; i++)
            nvh_mainnavigation_displaynode(path, node.m_subNodes[i], strFragRoot);
    }

    /*****
    /***** TUTORIAL HYPERLINK *****/
    /*****
    if (SSContributor)
    {
        document.write("<tr><td class=\"rvh_mainnavigation-level1Lead\">&nbsp;  </td>
<td class=\"rvh_mainnavigation-level1\" align=right onmouseover=\"className=
'rvh_mainnavigation-level1hover';\" onmouseout=\"className=
'rvh_mainnavigation-level1';\">");
        generateTutorialLink('rvh_mainnavigation', 'click here to learn more about the
main navigation fragment');
        document.write("</td></tr>");
    }
    /*****
    /***** TUTORIAL HYPERLINK *****/
    /*****

    document.write("</table>");
}

```

- このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。
- このフラグメントに含まれる一部のコードは、Ravenna Hosting サイトに付随するチュートリアルへのリンクに使用されています。該当するコードはコメント・タグで囲まれています。サンプル・サイトでチュートリアルを無効にする場合は、このコードを単純に削除してください。

4.1.2.2 rvh_mainnavigation.css

このフラグメントの Cascading Style Sheet により、メニューのほとんどの書式設定（背景色、書体およびフォント・サイズなど）が提供されます。

```
.rvh_mainnavigation-level0,  
.rvh_mainnavigation-level0 A:link,  
.rvh_mainnavigation-level0 A:visited  
{  
    color: #ffffff;  
    background-color:#006699;  
    white-space: nowrap;  
    font-family: arial, sans-serif;  
    font-weight: bold;  
    font-size: 12px;  
    line-height: 20px;  
    padding-left: 4px;  
        padding-right: 4px;  
    text-decoration:none;  
    width: 100%;  
}  
  
.rvh_mainnavigation-level0hover,  
.rvh_mainnavigation-level0hover A:link,  
.rvh_mainnavigation-level0hover A:visited  
{  
    color: #ffffff;  
    background-color:#003063;  
    white-space: nowrap;  
    font-family: arial, sans-serif;  
    font-size: 12px;  
    font-weight: bold;  
    line-height: 20px;  
    padding-left: 4px;  
        padding-right: 4px;  
    text-decoration:none;  
    width: 100%;  
}  
  
.rvh_mainnavigation-level0selected,  
.rvh_mainnavigation-level0selected A:link,  
.rvh_mainnavigation-level0selected A:visited  
{  
    color: #ffffff;  
    background-color:#006699;  
    white-space: nowrap;  
    font-family: arial, sans-serif;  
    font-weight: bold;  
    font-size: 12px;  
    line-height: 20px;  
    padding-left: 4px;  
        padding-right: 4px;  
    text-decoration:none;  
    width: 100%;  
}  
  
.rvh_mainnavigation-level0selectedhover,  
.rvh_mainnavigation-level0selectedhover A:link,  
.rvh_mainnavigation-level0selectedhover A:visited  
{  
    color: #ffffff;  
    background-color:#006699;  
    white-space: nowrap;  
    font-family: arial, sans-serif;
```



```
font-weight: bold;
font-size: 12px;
line-height: 20px;
padding-left: 4px;
padding-right: 4px;
text-decoration:none;
width: 100%;
}

.rvh_mainnavigation-level1,
.rvh_mainnavigation-level1 A:link,
.rvh_mainnavigation-level1 A:visited
{
color: #ffffff;
background-color:#006699;
white-space: nowrap;
font-family: arial, sans-serif;
font-weight: bold;
font-size: 12px;
line-height: 20px;
padding-left: 4px;
padding-right: 4px;
text-decoration:none;
width: 100%;
}

.rvh_mainnavigation-level1Lead,
.rvh_mainnavigation-level1Lead A:link,
.rvh_mainnavigation-level1Lead A:visited
{
color: #ffffff;
background-color:#009BFD;
white-space: nowrap;
font-family: arial, sans-serif;
font-weight: bold;
font-size: 12px;
line-height: 20px;
padding-left: 4px;
padding-right: 4px;
text-decoration:none;
}

.rvh_mainnavigation-level1hover,
.rvh_mainnavigation-level1hover A:link,
.rvh_mainnavigation-level1hover A:visited
{
color: #ffffff;
background-color:#003063;
white-space: nowrap;
font-family: arial, sans-serif;
font-weight: bold;
font-size: 12px;
line-height: 20px;
padding-left: 4px;
padding-right: 4px;
text-decoration:none;
width: 100%;
}

.rvh_mainnavigation-level1selected,
.rvh_mainnavigation-level1selected A:link,
.rvh_mainnavigation-level1selected A:visited
{
```

```
        color: #FF9933;
        background-color:#006699;
        white-space: nowrap;
        font-family: arial, sans-serif;
        font-weight: bold;
        font-size: 12px;
        line-height: 20px;
        padding-left: 4px;
            padding-right: 4px;
        text-decoration:none;
        width: 100%;
    }

.rvh_mainnavigation-level1selectedLead,
.rvh_mainnavigation-level1selectedLead A:link,
.rvh_mainnavigation-level1selectedLead A:visited
{
    color: #FF9933;
    background-color:#009BFD;
    white-space: nowrap;
    font-family: arial, sans-serif;
    font-weight: bold;
    font-size: 12px;
    line-height: 20px;
    padding-left: 4px;
        padding-right: 4px;
    text-decoration:none;
}

.rvh_mainnavigation-level1selectedhover,
.rvh_mainnavigation-level1selectedhover A:link,
.rvh_mainnavigation-level1selectedhover A:visited
{
    color: #FF9933;
    background-color:#003063;
    white-space: nowrap;
    font-family: arial, sans-serif;
    font-weight: bold;
    font-size: 12px;
    line-height: 20px;
    padding-left: 4px;
        padding-right: 4px;
    text-decoration:none;
    width: 100%;
}

.rvh_mainnavigation-level2,
.rvh_mainnavigation-level2 A:link,
.rvh_mainnavigation-level2 A:visited
{
    color: #000000;
    background-color:#EFEFEF;
    white-space: nowrap;
    font-family: arial, sans-serif;
    font-size: 12px;
    font-weight: normal;
    line-height: 20px;
    padding-left: 8px;
        padding-right: 4px;
    text-decoration:none;
    width: 100%;
}
```

```
.rvh_mainnavigation-level2Lead,  
.rvh_mainnavigation-level2Lead A:link,  
.rvh_mainnavigation-level2Lead A:visited  
{  
    color: #000000;  
    background-color:#EFEFEF;  
    white-space: nowrap;  
    font-family: arial, sans-serif;  
    font-size: 12px;  
    font-weight: normal;  
    line-height: 20px;  
    padding-left: 8px;  
        padding-right: 4px;  
    text-decoration:none;  
}  
  
.rvh_mainnavigation-level2hover,  
.rvh_mainnavigation-level2hover A:link,  
.rvh_mainnavigation-level2hover A:visited  
{  
    color: #000000;  
    background-color:#EFEFEF;  
    white-space: nowrap;  
    font-family: arial, sans-serif;  
    font-size: 12px;  
    font-weight: normal;  
    line-height: 20px;  
    padding-left: 8px;  
        padding-right: 4px;  
    text-decoration:underline;  
    width: 100%;  
}  
  
.rvh_mainnavigation-level2selected,  
.rvh_mainnavigation-level2selected A:link,  
.rvh_mainnavigation-level2selected A:visited  
{  
    color: #FF9933;  
    background-color:#EFEFEF;  
    white-space: nowrap;  
    font-family: arial, sans-serif;  
    font-size: 12px;  
    font-weight: normal;  
    line-height: 20px;  
    padding-left: 8px;  
        padding-right: 4px;  
    text-decoration:none;  
    width: 100%;  
}  
  
.rvh_mainnavigation-level2selectedLead,  
.rvh_mainnavigation-level2selectedLead A:link,  
.rvh_mainnavigation-level2selectedLead A:visited  
{  
    color: #FF9933;  
    background-color:#EFEFEF;  
    white-space: nowrap;  
    font-family: arial, sans-serif;  
    font-size: 12px;  
    font-weight: normal;  
    line-height: 20px;  
    padding-left: 8px;  
        padding-right: 4px;
```

```
        text-decoration:none;
    }

.rvh_mainnavigation-level2selectedhover,
.rvh_mainnavigation-level2selectedhover A:link,
.rvh_mainnavigation-level2selectedhover A:visited
{
    color: #FF9933;
    background-color:#EFEFEF;
    white-space: nowrap;
    font-family: arial, sans-serif;
    font-size: 12px;
    font-weight: normal;
    line-height: 20px;
    padding-left: 8px;
        padding-right: 4px;
    text-decoration:none;
    width: 100%;
}

.rvh_mainnavigation-level3,
.rvh_mainnavigation-level3 A:link,
.rvh_mainnavigation-level3 A:visited
{
    color: black;
    background-color:#EFEFEF;
    white-space: nowrap;
    font-family: arial, sans-serif;
    font-size: 10px;
    font-weight: normal;
    line-height: 16px;
    padding-left: 20px;
        padding-right: 8px;
    text-decoration:none;
    width: 100%;
}

.rvh_mainnavigation-level3Lead,
.rvh_mainnavigation-level3Lead A:link,
.rvh_mainnavigation-level3Lead A:visited
{
    color: black;
    background-color:#EFEFEF;
    white-space: nowrap;
    font-family: arial, sans-serif;
    font-size: 10px;
    font-weight: normal;
    line-height: 16px;
    text-decoration:none;
}

.rvh_mainnavigation-level3hover,
.rvh_mainnavigation-level3hover A:link,
.rvh_mainnavigation-level3hover A:visited
{
    color: black;
    background-color:#EFEFEF;
    white-space: nowrap;
    font-family: arial, sans-serif;
    font-size: 10px;
    font-weight: normal;
    line-height: 16px;
    padding-left: 20px;
```

```
padding-right: 8px;
text-decoration:underline;
width: 100%;
}

.rvh_mainnavigation-level3selected,
.rvh_mainnavigation-level3selected A:link,
.rvh_mainnavigation-level3selected A:visited
{
color: #FF9933;
background-color:#EFEFEF;
white-space: nowrap;
font-family: arial, sans-serif;
font-size: 10px;
font-weight: normal;
line-height: 16px;
padding-left: 20px;
padding-right: 8px;
text-decoration:none;
width: 100%;
}

.rvh_mainnavigation-level3selectedLead,
.rvh_mainnavigation-level3selectedLead A:link,
.rvh_mainnavigation-level3selectedLead A:visited
{
color: #FF9933;
background-color:#EFEFEF;
white-space: nowrap;
font-family: arial, sans-serif;
font-size: 10px;
font-weight: normal;
line-height: 16px;
text-decoration:none;
}

.rvh_mainnavigation-level3selectedhover,
.rvh_mainnavigation-level3selectedhover A:link,
.rvh_mainnavigation-level3selectedhover A:visited
{
color: #FF9933;
background-color:#EFEFEF;
white-space: nowrap;
font-family: arial, sans-serif;
font-size: 10px;
font-weight: normal;
line-height: 16px;
padding-left: 20px;
padding-right: 8px;
text-decoration:none;
width: 100%;
}
```

4.1.2.3 メニューの開閉を示すグラフィック

これらのグラフィックは、開くまたは閉じる機能を示すためにメニューで使用されています。

rvh_mainnavigation-level1-rightarrow.gif

メニューで使用されている 4 つのグラフィックの 1 つで、メニューを開くまたは閉じることができることを示します。右向き矢印アイコン (図 4-3) は、セクションにサブカテゴリが含まれており、セクションが開くことを示します。

図 4-3 右向き矢印アイコン



rvh_mainnavigation-level1-downarrow.gif

メニューで使用されている 4 つのグラフィックの 1 つで、メニューを開くまたは閉じることができることを示します。下向き矢印アイコン (図 4-4) は、現在セクションが開いており、セクションのサブカテゴリが表示されていることを示します。

図 4-4 下向き矢印アイコン



rvh_mainnavigation-level2-rightarrow.gif

メニューで使用されている 4 つのグラフィックの 1 つで、メニューを開くまたは閉じることができることを示します。レベル 2 の右向き矢印アイコン (図 4-5) は、セクションにサブカテゴリが含まれており、セクションが開くことを示します。

図 4-5 レベル 2 の右向き矢印アイコン



rvh_mainnavigation-level2-downarrow.gif

メニューで使用されている 4 つのグラフィックの 1 つで、メニューを開くまたは閉じることができることを示します。レベル 2 の下向き矢印アイコン (図 4-6) は、現在セクションが開いており、セクションのサブカテゴリが表示されていることを示します。

図 4-6 レベル 2 の下向き矢印アイコン

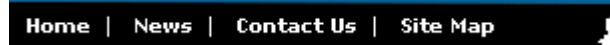


注意：メニューにはその他のグラフィックも表示されますが、フラグメントには格納されていません。これらは、サイト階層で定義されているカスタム・セクション・プロパティのいずれかです。このフラグメントは、これらの値を Web サイトに表示します。

4.2 Ravenna Hosting の最上部ナビゲーション

Ravenna Hosting の最上部ナビゲーション・フラグメント (図 4-7) には、Web サイト上で最も頻繁にアクセスされる 4 つのセクションへのリンクが含まれています。

図 4-7 Ravenna Hosting の最上部ナビゲーション



Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション・フラグメントと同様に、このフラグメントは、デザイナーで指定されたカスタム・セクション・プロパティを利用します (『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナー・ガイド』を参照)。これは ShowInTopNav というカスタム・プロパティで、true または false の値が含まれます。

true に設定した場合、最上部ナビゲーション内にそのセクションが表示されます。カスタム・セクション・プロパティを読み取る実際のコードは、Snippet のいずれかに含まれています (4-13 ページの「[組込み \(ヘッド Snippet\)](#)」を参照)。

このフラグメントは、サイト階層に追加された新しいセクションやサイト階層から削除されたセクションを自動的に認識しない点で、大部分のナビゲーション・フラグメントと異なります。メニューにその他のセクションも表示するには、ShowInTopNav カスタム・セクション・プロパティの値を変更する必要があります。

このフラグメントは次の部分で構成されます。

- 4-13 ページの「[Ravenna Hosting の最上部ナビゲーション : Snippet](#)」
- 4-15 ページの「[Ravenna Hosting の最上部ナビゲーション : アセット](#)」

注意： このフラグメントには、要素およびパラメータは含まれていません。これらは、他の一部のフラグメントに含まれています。このフラグメントに要素が含まれていないのは、サイト・ナビゲーション専用であり、コントリビューションに使用されないためです。パラメータが含まれていないのは、サイト全体で同じ外観を持たせるために使用され、カスタマイズが不要なためです。

4.2.1 Ravenna Hosting の最上部ナビゲーション : Snippet

Ravenna Hosting の最上部ナビゲーション・フラグメントには、ヘッドおよびドロップポイントの 2 つの Snippet があります。クライアント・サイド JavaScript および Cascading Style Sheet を含むこのようなフラグメントでは、一般的に 2 つの Snippet が必要になります。1 つは Web ページのヘッドに配置される情報用、もう 1 つは Web ページの本体に配置される情報用です。両方の Snippet は参照によって組み込まれます。

- 4-13 ページの「[組込み \(ヘッド Snippet\)](#)」
- 4-14 ページの「[表示 \(ドロップポイント Snippet\)](#)」

4.2.1.1 組込み (ヘッド Snippet)

スクリプトの、ヘッド情報を宣言する部分 (HTML <head> タグに格納される情報) は、次のヘッド Snippet に変換されています。

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="{!--$HttpRelativeFragmentsRoot--}
rvh_topnavigation/rvh_topnavigation.css"></link>
```


4.2.2 Ravenna Hosting の最上部ナビゲーション: アセット

Ravenna Hosting の最上部ナビゲーション・フラグメントには、1つのアセット（Cascading Style Sheet）が含まれています。

4.2.2.1 rvh_topnavigation.css

このフラグメントの Cascading Style Sheet により、メニューのほとんどの書式設定（背景色、書体およびフォント・サイズなど）が提供されます。

```
.rvh_topnavigation,  
.rvh_topnavigation A:link,  
.rvh_topnavigation A:visited  
{  
    color: #ffffff;  
    background-color:#000000;  
    white-space: nowrap;  
    font-family: verdana, arial, sans-serif;  
    font-size: 10px;  
    font-weight: bold;  
    line-height: 14px;  
    padding-left: 4px;  
    text-decoration:none;  
}  
  
.rvh_topnavigationHover,  
.rvh_topnavigationHover A:link,  
.rvh_topnavigationHover A:visited  
{  
    color: #ffffff;  
    background-color:#000000;  
    white-space: nowrap;  
    font-family: verdana, arial, sans-serif;  
    font-size: 10px;  
    font-weight: bold;  
    line-height: 14px;  
    padding-left: 4px;  
    text-decoration:none;  
}  
  
.rvh_topnavigationSelected,  
.rvh_topnavigationSelected A:link,  
.rvh_topnavigationSelected A:visited  
{  
    color: #ffffff;  
    background-color:#000000;  
    white-space: nowrap;  
    font-family: verdana, arial, sans-serif;  
    font-size: 10px;  
    font-weight: bold;  
    line-height: 14px;  
    padding-left: 4px;  
    text-decoration:none;  
}  
  
.rvh_topnavigationSelectedHover,  
.rvh_topnavigationSelectedHover A:link,  
.rvh_topnavigationSelectedHover A:visited  
{  
    color: #ffffff;  
    background-color:#000000;  
    white-space: nowrap;  
    font-family: verdana, arial, sans-serif;  
    font-size: 10px;
```

```
font-weight: bold;
line-height: 14px;
padding-left: 4px;
text-decoration:none;
}
```

4.3 Ravenna Hosting のブレッドクラム

Ravenna Hosting のブレッドクラム・フラグメント (図 4-8) は、サイト階層を表すハイパーリンク行を挿入します。ブレッドクラムによって、表示中のセクションの親セクションおよび子セクションへのすばやいアクセスが提供されるため、ビジターは Web サイト上の位置を確認できます。

図 4-8 Ravenna Hosting のブレッドクラム



Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション・フラグメントと同様に、このフラグメントは (Site Studio デザイナで行われた) サイト階層への変更を自動的に認識します。

Web ページでこのフラグメントを表示しているときにコントリビュータ・モードに切り替えた場合は、ブレッドクラムおよび対応する「Help」アイコン (図 4-9) が表示されなくなります。これは、「Contributor」モード・ボックスによってフラグメントの一部が覆われるためです。「Help」アイコンおよび関連付けられているヘルプ・トピックを表示するには、「Contributor」モード・ボックスをクリックして別の場所にドラッグします。

図 4-9 「Help」アイコン



このフラグメントは次の部分で構成されます。

- 4-16 ページの「[Ravenna Hosting のブレッドクラム : Snippet](#)」
- 4-17 ページの「[Ravenna Hosting のブレッドクラム : アセット](#)」

注意： このフラグメントには、要素およびパラメータは含まれていません。これらは、他の一部のフラグメントに含まれています。このフラグメントに要素が含まれていないのは、サイト・ナビゲーション専用であり、コントリビューションに使用されないためです。パラメータが含まれていないのは、サイト全体で同じ外観を持たせるために使用され、カスタマイズが不要なためです。

4.3.1 Ravenna Hosting のブレッドクラム : Snippet

Ravenna Hosting のブレッドクラム・フラグメントには、ヘッドおよびドロップポイントの 2 つの Snippet があります。クライアント・サイド JavaScript および Cascading Style Sheet を含むこのようなフラグメントでは、一般的に 2 つの Snippet が必要になります。1 つは Web ページのヘッドに配置される情報用、もう 1 つは Web ページの本体に配置される情報用です。両方の Snippet は参照によって組み込まれます。

- 4-17 ページの「[組込み \(ヘッド Snippet\)](#)」
- 4-17 ページの「[表示 \(ドロップポイント Snippet\)](#)」

4.3.1.1 組込み（ヘッド Snippet）

スクリプトの、ヘッド情報を宣言する部分（HTML <head> タグに格納される情報）は、次のヘッド Snippet に変換されています。

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="<!--$HttpRelativeFragmentsRoot-->
rvh_breadcrumb/rvh_breadcrumb.css"></link>
<script src="<!--$HttpRelativeFragmentsRoot-->rvh_breadcrumb/
rvh_breadcrumb.js"></script>
```

4.3.1.2 表示（ドロップポイント Snippet）

Web ページ上でスクリプトの組込みを指定するコードは、次のドロップポイント Snippet に変換されています。

```
<script>
{
  var fragment = new rvh_breadcrumb();
  fragment.Display(g_navNode_Root);
}
</script>
```

注意： このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。

4.3.2 Ravenna Hosting のブレッドクラム：アセット

Ravenna Hosting のブレッドクラム・フラグメントには、次の 2 つのアセットが含まれています。

- 4-17 ページの「[rvh_breadcrumb.js](#)」
- 4-18 ページの「[rvh_breadcrumb.css](#)」

4.3.2.1 rvh_breadcrumb.js

ブレッドクラムの作成に使用されたコードの大部分は、rvh_breadcrumb.js という別個の JavaScript ファイルに含められ、アセットの形式でフラグメントに追加されています。rvh_breadcrumb.js には次のコードが含まれています。

```
////////////////////////////////////
// Function : rvh_breadcrumb
// Comments :
////////////////////////////////////

function rvh_breadcrumb()
{
  this.m_NavPath    = g_navNode_Path;

  rvh_breadcrumb.prototype.Display = rvh_breadcrumb_Display;
  rvh_breadcrumb.prototype.DisplayNode = rvh_breadcrumb_DisplayNode;
}

function rvh_breadcrumb_Display (node)
{
  document.write ('<span class="rvh_breadcrumb">');

  /******
  /****** TUTORIAL HYPERLINK *****/
  /******
  if (SSContributor)
    generateTutorialLink('rvh_breadcrumb', 'click here to learn more about the
breadcrumb fragment');
```

```

/*****
/***** TUTORIAL HYPERLINK *****/
/*****

this.DisplayNode(node);
document.write ('&nbsp;&nbsp;&nbsp;</span>');
}

function rvh_breadcrumb_DisplayNode(node)
{
    var level = node.m_level;

    var bExpand = false;

    var di = 0;

    if (this.m_NavPath.length > 0 && node.m_level < this.m_NavPath.length)
    {
        if (this.m_NavPath[node.m_level] == node.m_id)
            bExpand = true;
    }

    if (bExpand)
    {
        document.write('<a href="' + node.m_href + '" class="rvh_breadcrumb">');
        document.write(node.m_label);
        document.write('</a>');

        if (this.m_NavPath.length > 0 && node.m_level < this.m_NavPath.length-1)
            document.write('&nbsp;&gt;&nbsp;&nbsp;');

        // expand sub-levels (if any)
        for (var i = 0; i < node.m_subNodes.length; i++)
        {
            this.DisplayNode(node.m_subNodes[i]);
        }
    }
}
}

```

注意： このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。

4.3.2.2 rvh_breadcrumb.css

このフラグメントの Cascading Style Sheet により、メニューのほとんどの書式設定（書体の色、およびフォント・サイズなど）が提供されます。

```

.rvh_breadcrumb
{
    color: #FF9933;
    font-family: Arial, Helvetica, sans-serif;
    font-weight: bold;
    font-size: xx-small;
    white-space: nowrap;
    text-decoration: none
}
a.rvh_breadcrumb:hover {color: #EFEFEF;}

```

4.4 Ravenna Hosting のサイト・マップ

Ravenna Hosting のサイト・マップ・フラグメント (図 4-10) は、Web ページ上に Web サイトの階層を一連のハイパーリンクとして表示します。サイト・マップは、ユーザーがサイトをナビゲートできるもう 1 つの方法として、多くの Web サイトで一般的に使用されている機能です。

図 4-10 Ravenna Hosting のサイト・マップ

Products
Servers
Web Servers
Database Servers
Application Servers
File Servers
Mail Servers
Firewalls
Load Balancers
Optical Storage
Switches, Hubs and NIC's
Services
Consulting
Hosting
Project Management
Development
Support
FAQ
Knowledge Base
Downloads
News

Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション・フラグメントと同様に、このフラグメントはサイト階層を自動的に認識します。デザイナーを使用してセクションの追加、名前変更または削除を行うと、フラグメントによってこれらの変更がサイト・マップに表示されます。

このフラグメントは次の部分で構成されます。

- 4-20 ページの「[Ravenna Hosting のサイト・マップ : Snippet](#)」
- 4-21 ページの「[Ravenna Hosting のサイト・マップ : アセット](#)」

注意： このフラグメントには、要素およびパラメータは含まれていません。これらは、他の一部のフラグメントに含まれています。このフラグメントに要素が含まれていないのは、サイト・ナビゲーション専用であり、コントリビューションに使用されないためです。パラメータが含まれていないのは、サイト全体で同じ外観を持たせるために使用され、カスタマイズが不要なためです。

4.4.1 Ravenna Hosting のサイト・マップ : Snippet

Ravenna Hosting のサイト・マップ・フラグメントには、ヘッドおよびドロップポイントの 2 つの Snippet があります。クライアント・サイド JavaScript および Cascading Style Sheet を含むこのようなフラグメントでは、一般的に 2 つの Snippet が必要になります。1 つは Web ページのヘッドに配置される情報用、もう 1 つは Web ページの本体に配置される情報用です。両方の Snippet は参照によって組み込まれます。

- 4-20 ページの「[組み込み（ヘッド Snippet）](#)」
- 4-20 ページの「[表示（ドロップポイント Snippet）](#)」

4.4.1.1 組み込み（ヘッド Snippet）

スクリプトの、ヘッド情報を宣言する部分（HTML <head> タグに格納される情報）は、次のヘッド Snippet に変換されています。

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="<!--$HttpRelativeFragmentsRoot-->
rvh_sitemap/rvh_sitemap.css"></link>
```

4.4.1.2 表示（ドロップポイント Snippet）

Web ページ上でスクリプトの組み込みを指定するコードは、次のドロップポイント Snippet に変換されています。

```
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->
<!--$if SSContributor and isTrue(SSContributor) -->
    <script>generateTutorialLink('rvh_sitemap', 'click here to learn more about the site
map fragment');</script>
<!--$endif -->
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->

<!--$savedNodeId = #active.nodeId-->
<div>

<!--$ssLoadSiteNavResultSet(siteId)-->
<!--$if SiteStudioNavNodes-->
    <!--$loop SiteStudioNavNodes-->
        <!--$if SiteStudioNavNodes.level gt 0 -->
            <div class="rvh_sitemap-level<!--$SiteStudioNavNodes.level-->"
onmouseover="className='rvh_sitemap-level<!--$SiteStudioNavNodes.level-->hover';"
onmouseout="className='rvh_sitemap-level<!--$SiteStudioNavNodes.level-->';">
                <a href="<!--$SiteStudioNavNodes.href-->" class=
"rvh_sitemap-level<!--$SiteStudioNavNodes.level-->"><!--$SiteStudioNavNodes.label-->
</a>
            </div>
        <!--$endif-->
    <!--$endloop-->
<!--$endif-->

</div>
<!--$nodeId = savedNodeId-->
```

注意: このフラグメントに含まれる一部のコードは、Ravenna Hosting サイトに付随するチュートリアルへのリンクに使用されています。該当するコードはコメント・タグで囲まれています。サンプル・サイトでチュートリアルを無効にする場合は、このコードを単純に削除してください。このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。

4.4.2 Ravenna Hosting のサイト・マップ: アセット

Ravenna Hosting のサイト・マップには、1つのアセット (Cascading Style Sheet) が含まれています。

4.4.2.1 rvh_sitemap.css

このフラグメントの Cascading Style Sheet により、この機能のほとんどの書式設定 (背景色、書体およびフォント・サイズなど) が提供されます。

```
.rvh_sitemap-level0,
.rvh_sitemap-level0 A:link,
.rvh_sitemap-level0 A:visited
{
    color: #ffffff;
    background-color: #31649C;
    white-space: nowrap;
    font-family: arial, sans-serif;
    font-weight: bold;
    font-size: 14px;
    line-height: 20px;
    padding-left: 4px;
        padding-right: 4px;
    text-decoration: none;
    width: 100%;
}

.rvh_sitemap-level0hover,
.rvh_sitemap-level0hover A:link,
.rvh_sitemap-level0hover A:visited
{
    color: #ffffff;
    background-color: #003063;
    white-space: nowrap;
    font-family: arial, sans-serif;
    font-size: 14px;
    font-weight: bold;
    line-height: 20px;
    padding-left: 4px;
        padding-right: 4px;
    text-decoration: none;
    width: 100%;
}

.rvh_sitemap-level1,
.rvh_sitemap-level1 A:link,
.rvh_sitemap-level1 A:visited
{
    color: #ffffff;
    background-color: #31649C;
    white-space: nowrap;
    font-family: arial, sans-serif;
    font-weight: bold;
```

```
font-size: 12px;
line-height: 20px;
padding-left: 8px;
padding-right: 8px;
text-decoration:none;
width: 100%;
}

.rvh_sitemap-level1hover,
.rvh_sitemap-level1hover A:link,
.rvh_sitemap-level1hover A:visited
{
color: #ffffff;
background-color:#003063;
white-space: nowrap;
font-family: arial, sans-serif;
font-weight: bold;
font-size: 12px;
line-height: 20px;
padding-left: 8px;
padding-right: 8px;
text-decoration:none;
width: 100%;
}

.rvh_sitemap-level2,
.rvh_sitemap-level2 A:link,
.rvh_sitemap-level2 A:visited
{
color: #000000;
background-color:#EFEFEF;
white-space: nowrap;
font-family: arial, sans-serif;
font-size: 12px;
line-height: 20px;
padding-left: 16px;
padding-right: 16px;
text-decoration:none;
width: 100%;
}

.rvh_sitemap-level2hover,
.rvh_sitemap-level2hover A:link,
.rvh_sitemap-level2hover A:visited
{
color: #000000;
background-color:#EFEFEF;
white-space: nowrap;
font-family: arial, sans-serif;
font-size: 12px;
line-height: 20px;
padding-left: 16px;
padding-right: 16px;
text-decoration:underline;
width: 100%;
}

.rvh_sitemap-level3,
.rvh_sitemap-level3 A:link,
.rvh_sitemap-level3 A:visited
{
color: #000000;
background-color:#EFEFEF;
```



```
white-space: nowrap;
font-family: arial, sans-serif;
font-size: 10px;
line-height: 20px;
padding-left: 24px;
padding-right: 24px;
text-decoration:none;
width: 100%;
}

.rvh_sitemap-level3hover,
.rvh_sitemap-level3hover A:link,
.rvh_sitemap-level3hover A:visited
{
color: #000000;
background-color:#E0E0E0;
white-space: nowrap;
font-family: arial, sans-serif;
font-size: 10px;
line-height: 20px;
padding-left: 24px;
padding-right: 24px;
text-decoration:underline;
width: 100%;
}

.rvh_sitemap-level4,
.rvh_sitemap-level4 A:link,
.rvh_sitemap-level4 A:visited
{
color: #000000;
background-color:#E0E0E0;
white-space: nowrap;
font-family: arial, sans-serif;
font-size: 9px;
line-height: 20px;
padding-left: 32px;
padding-right: 32px;
text-decoration:none;
width: 100%;
}

.rvh_sitemap-level4hover,
.rvh_sitemap-level4hover A:link,
.rvh_sitemap-level4hover A:visited
{
color: #000000;
background-color:#E0E0E0;
white-space: nowrap;
font-family: arial, sans-serif;
font-size: 9px;
line-height: 20px;
padding-left: 32px;
padding-right: 32px;
text-decoration:underline;
width: 100%;
}

.rvh_sitemap-level5,
.rvh_sitemap-level5 A:link,
.rvh_sitemap-level5 A:visited
{
color: #000000;
```

```

background-color:#EFEFEF;
white-space: nowrap;
font-family: arial, sans-serif;
font-size: 8px;
line-height: 20px;
padding-left: 40px;
padding-right: 40px;
text-decoration:none;
width: 100%;
}

.rvh_sitemap-level5hover,
.rvh_sitemap-level5hover A:link,
.rvh_sitemap-level5hover A:visited
{
color: #000000;
background-color:#EFEFEF;
white-space: nowrap;
font-family: arial, sans-serif;
font-size: 8px;
line-height: 20px;
padding-left: 40px;
padding-right: 40px;
text-decoration:underline;
width: 100%;
}

```

4.5 Ravenna Hosting のフッター

Ravenna Hosting のフッター・フラグメント (図 4-11) には、copyright 行および Web サイト上で最も頻繁にアクセスされる 4 つのセクションへのリンクが含まれています。フッターは、Web サイトの各ページの最下部に表示されます。

図 4-11 Ravenna Hosting のフッター



Ravenna Hosting の最上部ナビゲーション・フラグメントと同様に、このフラグメントはデザイナーで指定されたカスタム・セクション・プロパティを利用します (『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照)。これは ShowInFooter というカスタム・プロパティで、true または false の値が含まれます。

true に設定した場合、そのセクションがフッターにハイパーリンクとして表示されます。カスタム・セクション・プロパティを読み取る実際のコードは、Snippet のいずれかに含まれています (4-26 ページの「[組み込み \(ヘッド Snippet\)](#)」を参照)。

そのため、(Ravenna Hosting の最上部ナビゲーション・フラグメントと同様に) このフラグメントは、サイト階層に追加された新しいセクションやサイト階層から削除されたセクションを自動的に認識しません。メニューにその他のセクションも表示するには、ShowInFooter カスタム・セクション・プロパティの値を変更する必要があります。

このフラグメントは次の部分で構成されます。

- 4-26 ページの「[Ravenna Hosting のフッター : Snippet](#)」
- 4-27 ページの「[Ravenna Hosting のフッター : アセット](#)」

注意：このフラグメントには、要素およびパラメータは含まれていません。これらは、他の一部のフラグメントに含まれています。このフラグメントに要素が含まれていないのは、サイト・ナビゲーション専用であり、コントリビューションに使用されないためです。パラメータが含まれていないのは、サイト全体で同じ外観を持たせるために使用され、カスタマイズが不要なためです。

4.5.1 Ravenna Hosting のフッター : Snippet

Ravenna Hosting のフッター・フラグメントには、ヘッドおよびドロップポイントの 2 つの Snippet があります。クライアント・サイド JavaScript および Cascading Style Sheet を含むこのようなフラグメントでは、一般的に 2 つの Snippet が必要になります。1 つは Web ページのヘッドに配置される情報用、もう 1 つは Web ページの本体に配置される情報用です。両方の Snippet は参照によって組み込まれます。

- 4-26 ページの「[組み込み（ヘッド Snippet）](#)」
- 4-26 ページの「[表示（ドロップポイント Snippet）](#)」

4.5.1.1 組み込み（ヘッド Snippet）

スクリプトの、ヘッド情報を宣言する部分（HTML <head> タグに格納される情報）は、次のヘッド Snippet に変換されています。

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="!-$HttpRelativeFragmentsRoot-->
rvh_footer/rvh_footer.css"></link>
```

4.5.1.2 表示（ドロップポイント Snippet）

Web ページ上でスクリプトの組み込みを指定するコードは、次のドロップポイント Snippet に変換されています。

```
<br>
<table cellpadding="0" cellspacing="0" width="100%" align="left">
  <tr>
    <td class="rvh_footer">
      <!--*****-->
      <!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
      <!--*****-->
      <!--$if SSContributor and isTrue(SSContributor) -->
        <script>generateTutorialLink('rvh_footer', 'click here to learn more about
the footer fragment');</script><br>
      <!--$endif -->
      <!--*****-->
      <!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
      <!--*****-->

      <!--$savedNodeId = #active.nodeId-->
      <!--$ssLoadSiteNavResultSet(siteId)-->
      <!--$if SiteStudioNavNodes-->
        <!--$loop SiteStudioNavNodes-->
          <!--$if SiteStudioNavNodes.level eq 0 -->
            <a
href='!-$SiteStudioNavNodes.href-->'>!-$SiteStudioNavNodes.label--></a>
          <!--$endif-->
          <!--$if ssGetNodeProperty(nodeId, "ShowInFooter")-->
            &nbsp;|&nbsp;
            <a class='rvh_footer'
href='!-$SiteStudioNavNodes.href-->'>!-$SiteStudioNavNodes.label--></a>
          <!--$endif-->
        <!--$endloop-->
      <!--$endif-->
      <!--$nodeId = savedNodeId-->
    </td>
  </tr>

  <tr>
    <td class="rvh_footer_hr"><hr width=100%></td>
  </tr>
```

```

<tr>
  <td class="rvh_footer_copyright">Copyright Year &amp; Information, &nbsp;Ravenna
  Hosting, Inc.</td>
</tr>

</table>

```

注意：このフラグメントに含まれる一部のコードは、Ravenna Hosting サイトに付随するチュートリアルへのリンクに使用されています。該当するコードはコメント・タグで囲まれています。サンプル・サイトでチュートリアルを無効にする場合は、このコードを単純に削除してください。このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。

4.5.2 Ravenna Hosting のフッター : アセット

Ravenna Hosting のフッターには、1つのアセット（Cascading Style Sheet）が含まれています。

4.5.2.1 rvh_footer.css

このフラグメントの Cascading Style Sheet により、メニューのほとんどの書式設定（背景色、書体およびフォント・サイズなど）が提供されます。

```

.rvh_footer,
.rvh_footer A:link,
.rvh_footer A:visited
{
    color: black;
    white-space: nowrap;
    font-family: verdana;
    font-size: xx-small;
    text-decoration:none;
    text-align:center;
}

.rvh_footer_hr,
{
    text-align:center;
}

.rvh_footer_copyright
{
    background-color: #CEDBE7;
    white-space: nowrap;
    font-family: verdana;
    font-size: xx-small;
    text-decoration:none;
    text-align:center;
}

```

4.6 Ravenna Hosting の検索ボックス

Ravenna Hosting の検索ボックス・フラグメント (図 4-12) は、Web サイトの各ページの右上隅にあり、サイト全体のフルテキスト検索の実行に使用されます (図を参照)。

図 4-12 Ravenna Hosting の検索ボックス



ナレッジ・ベース・セクション (図 4-13) でも同じフラグメントが使用されており、ナレッジ・ベースのみの検索の実行に使用されます。

図 4-13 ナレッジ・ベース検索ボックス

Search Ravenna Knowledge Base:



このフラグメントには、レイアウト・ページで実際に使用する際にフラグメントの外観および動作を変更するためのパラメータが含まれています (4-30 ページの「[Ravenna Hosting の検索ボックス: パラメータ](#)」を参照)。

検索フラグメントは、別のフラグメント (検索結果フラグメント) と連動するように設計されている点で、Site Studio の他のフラグメントと異なります。検索結果フラグメントは、検索結果用に指定されたセクションにある別個のレイアウト・ページに含まれています (4-30 ページの「[Ravenna Hosting の検索結果](#)」を参照)。サーバーで実際に問合せを実行するのは、検索結果フラグメントです。問合せの実行には、コンテンツ・サーバー内の組込み問合せサービスが使用されます。

Ravenna Hosting の検索ボックス・フラグメントは、次の部分で構成されます。

- 4-28 ページの「[Ravenna Hosting の検索ボックス: Snippet](#)」
- 4-29 ページの「[Ravenna Hosting の検索ボックス: アセット](#)」
- 4-30 ページの「[Ravenna Hosting の検索ボックス: パラメータ](#)」

注意: このフラグメントは、コントリビューション用ではなくナビゲーション補助として使用されるため、このフラグメントには要素は含まれていません。

4.6.1 Ravenna Hosting の検索ボックス: Snippet

Ravenna Hosting の検索ボックス・フラグメントには、ヘッドおよびドロップポイントの 2 つの Snippet があります。クライアント・サイド JavaScript および Cascading Style Sheet を含む、Ravenna Hosting の検索ボックスのようなフラグメントでは、一般的に 2 つの Snippet が必要になります。1 つは Web ページのヘッドに配置される情報用、もう 1 つは Web ページの本体に配置される情報用です。両方の Snippet は参照によって組み込まれます。

- 4-28 ページの「[1 \(ヘッド Snippet\)](#)」
- 4-29 ページの「[2 \(ドロップポイント Snippet\)](#)」

4.6.1.1 1 (ヘッド Snippet)

スクリプトの、ヘッド情報を宣言する部分 (HTML <head> タグに格納される情報) は、次のヘッド Snippet に変換されています。

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="!-$HttpRelativeFragmentsRoot-->rvh_searchbox/rvh_searchbox.css"></link>
```



```
margin-left:5;
}
```

4.6.3 Ravenna Hosting の検索ボックス : パラメータ

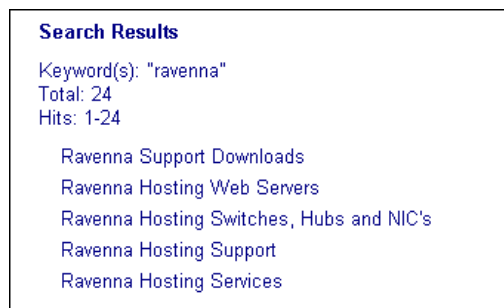
Ravenna Hosting の検索ボックスには、2つのパラメータが含まれています。

パラメータ名	説明
ssResultsPage	<p>検索フラグメントの検索結果ページを指定するための <code>manageddoc</code> パラメータ。レイアウト・ページにこのフラグメントを追加するには、検索結果ページの場所を指定するよう求められます。</p> <p>Ravenna Hosting サイトでは、このフラグメントが2つの異なる方法（主要検索機能およびナレッジ・ベース検索機能）で使用されています。</p> <p>主要検索機能として使用する場合に含まれている値は、<code>rvh_searchresults</code> です。</p> <p>ナレッジ・ベース検索機能として使用する場合に含まれている値は、<code>rvh_kbsearchresults</code> です。</p>
ssSubmitButtonGraphic	<p>検索ボタンのグラフィックを指定するための <code>managedurl</code> パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトでは、このフラグメントが2つの異なる方法（主要検索機能およびナレッジ・ベース検索機能）で使用されています。</p> <p>主要検索機能として使用する場合に含まれている値は、<code>groups/public/documents/rvh_image/rvh_search.gif</code> です。</p>  <p>ナレッジ・ベース検索機能として使用する場合には、値は含まれず、JavaScript で生成されたデフォルトのボタンが表示されます。</p> 

4.7 Ravenna Hosting の検索結果

Ravenna Hosting の検索結果フラグメント (図 4-14) は、検索を実行するたびにサイトに表示されます。同じフラグメントが、主要検索およびナレッジ・ベース検索の2つの異なる場所で使用されています。

図 4-14 Ravenna Hosting の検索結果



検索結果フラグメントは、検索ボックス・フラグメントと特別な関係にあります (4-28 ページの「[Ravenna Hosting の検索ボックス](#)」を参照)。ユーザーが (検索ボックス・フラグメントから導出された) 検索ボックスで問合せを実行するとき、実際の問合せは、検索結果用に指定されたセクションのプライマリ・ページにある検索結果フラグメントに格納されます。

パラメータ付き問合せ

検索結果フラグメントは、コンテンツ・サーバーの組込み問合せサービスを使用して、コンテンツ項目の問合せを実行します。フラグメントに含まれるパラメータのうち `ssQueryText` は、実行する実際の問合せを指定します。このパラメータを作成することで、レイアウト・ページにフラグメントを追加するたびに異なる問合せを指定できます。その結果、Web サイト上で同じフラグメントを様々な方法で再利用できます (そのため、管理の手間とオーバーヘッドが軽減されます)。

Ravenna Hosting サイトでは、主要検索結果ページにフラグメントが追加されたときとナレッジ・ベース検索結果ページにフラグメントが追加されたときでは、異なる問合せが選択されています。

Ravenna Hosting の検索ボックス・フラグメントは、次の部分で構成されます。

- 4-31 ページの「[Ravenna Hosting の検索結果 : Snippet](#)」
- 4-34 ページの「[Ravenna Hosting の検索結果 : アセット](#)」
- 4-35 ページの「[Ravenna Hosting の検索結果 : パラメータ](#)」

注意： このフラグメントは、コントリビューション用ではなくナビゲーション補助として使用されるため、このフラグメントには要素は含まれていません。

4.7.1 Ravenna Hosting の検索結果 : Snippet

Ravenna Hosting の検索結果フラグメントには、ヘッドおよびドロップポイントの 2 つの Snippet があります。Cascading Style Sheet および他のスクリプト・ファイルを含むこのようなフラグメントでは、一般的に 2 つの Snippet が必要になります。1 つは Web ページのヘッドに配置される情報用、もう 1 つは Web ページの本体に配置される情報用です。両方の Snippet は参照によって組み込まれます。

- 4-31 ページの「[0 \(ヘッド Snippet\)](#)」
- 4-31 ページの「[1 \(ドロップポイント Snippet\)](#)」

4.7.1.1 0 (ヘッド Snippet)

スクリプトの、ヘッド情報を宣言する部分 (HTML `<head>` タグに格納される情報) は、次のヘッド Snippet に変換されています。

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="<!--$HttpRelativeFragmentsRoot-->rvh_searchresults/rvh_searchresults.css"></link>
```

4.7.1.2 1 (ドロップポイント Snippet)

Web ページ上でスクリプトの組込みを指定するコードは、次のドロップポイント Snippet に変換されています。

```
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->
<!--$if SSContributor and isTrue(SSContributor) -->
<script>generateTutorialLink('rvh_searchresults', 'click here to learn more about the search results fragment');</script>
<!--$endif -->
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->
```

```

<!--$ssQueryText          = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssQueryText")-->
<!--$ssSortField         = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
"ssSortField")-->
<!--$ssSortOrder        = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssSortOrder")-->
<!--$ssResultCount      = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssResultCount")-->
<!--$ssLimitScope       = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssLimitScope")-->
<!--$ssTargetNodeId     = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssTargetNodeId")-->
<!--$ssNextRow          = getValue("#active", ssFragmentInstanceId & "_NextRow")-->
<!--$ssDisplayField     = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssDisplayField")-->
<!--$ssTextColor        = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssTextColor")-->
<!--$ssHoverColor       = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssHoverColor")-->
<!--$ssClassName        = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssClassName")-->
<!--$ssColorExtra       = "" -->
<!--$ssMouseExtra       = "" -->
<!--$ssSourceSiteId     = siteId -->
<!--$ssSourceNodeId     = nodeId -->
<!--$ssWebsiteObjectType = "" -->
<!--$ssDontShowInLists  = "true" -->
<!--$ssUserSearchText   = #active.ssUserText -->

<!--$if strEquals(ssNextRow, '')-->
  <!--$ssNextRow=1-->
<!--$endif-->

<!--$if not strEquals(ssTextColor, '')-->
  <!--$ssColorExtra=' style="color:' & ssTextColor & ';"-->
  <!--$if not strEquals(ssHoverColor, '')-->
    <!--$ssMouseExtra=" onmouseover=&quot;this.style.color='" & ssHoverColor &
    "&quot;";"-->
    <!--$ssMouseExtra=ssMouseExtra & " onmouseout=&quot;this.style.color='" &
    ssTextColor & "';&quot;";"-->
  <!--$endif-->
<!--$endif-->

<!--##### normally the user text is only searched for in the body of the document, lets
-->
<!--##### try to include a search in the dDocTitle as well.
-->
<!--$if ssUserSearchText-->
<!--$ ssUserSearchText='(' & ssUserSearchText & ') or (dDocTitle <substring> ` ` &
ssUserSearchText & `)`'-->
<!--$endif-->

<!--$QueryText=eval(ssQueryText)-->
<!--$SortField=ssSortField-->
<!--$SortOrder=ssSortOrder-->
<!--$ResultCount=ssResultCount-->
<!--$StartRow=ssNextRow-->

<!--$executeService("SS_GET_SEARCH_RESULTS")-->

<!--$if SearchResults-->

```

```

<!--$ssFirstHit=ssNextRow-->
<!--$ssLastHit=ssNextRow + SearchResults.#numRows - 1-->

<div class="<!--$ssClassName-->-caption" <!--$ssColorExtra--> >
  Search Result<!--$if TotalRows gt 1 --><!--$endif-->
</div>

<div class="<!--$ssClassName-->-report" <!--$ssColorExtra--> >
  Keyword(s): "<!--$#active.ssUserText-->"<br/>
  Total: <!--$TotalRows--><br/>
  Hits: <!--$ssFirstHit-->-<!--$ssLastHit-->
</div>

<!-- start of loop -->
<dl class="<!--$ssClassName-->-result" <!--$ssColorExtra--> >

<!--$loop SearchResults-->

  <dd class="<!--$ssClassName-->-result" <!--$ssColorExtra--> >

    <a class="<!--$ssClassName-->-result" <!--$ssColorExtra--> <!--$ssMouseExtra-->
      href="<!--$ssUrl-->"
    >
      <!--$eval('<$' & ssDisplayField & '$')-->
    </a>

  </dd>
<!--$endloop-->

<!-- end of loop -->
</dl>

<!--$ssNextRow = ssNextRow + ResultCount-->

<!--$if ssNextRow <= TotalRows-->
<div class="<!--$ssClassName-->-more">
  <a class="<!--$ssClassName-->-more" <!--$ssColorExtra--> <!--$ssMouseExtra-->
    href='?ssUserText=<!--$url(ssUserText)-->&<!--$ssFragmentInstanceId-->
    _NextRow=<!--$ssNextRow-->'
  >more...</a>
</div>
<!--$endif-->

<!--$else-->

  <div class="<!--$ssClassName-->-caption" <!--$ssColorExtra--> >
    No documents match your search criteria.
  </div>

<!--$endif-->

```

注意： このフラグメントに含まれる一部のコードは、Ravenna Hosting サイトに付随するチュートリアルへのリンクで使用されています。該当するコードはコメント・タグで囲まれています。サンプル・サイトでチュートリアルを無効にする場合は、このコードを単純に削除してください。このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。

4.7.2 Ravenna Hosting の検索結果 : アセット

Ravenna Hosting の検索結果フラグメントには、1つのアセット (Cascading Style Sheet) が含まれています。

4.7.2.1 rvh_searchresults.css

このフラグメントの Cascading Style Sheet により、この機能のほとんどの書式設定 (書体の色およびフォント・サイズなど) が提供されます。

```
.rvh_searchresults,  
.rvh_searchresults-caption,  
.rvh_searchresults-report,  
.rvh_searchresults-result,  
.rvh_searchresults-more  
{  
    color: #000000;  
    font-weight: normal;  
    font-size: 10pt;  
    font-family: Arial, Helvetica, sans-serif;  
    white-space: nowrap;  
    text-decoration: none;  
    text-align:left;  
}  
  
.rvh_searchresults-caption  
{  
    font-weight: bold;  
    margin-bottom:10;  
}  
  
.rvh_searchresults-report  
{  
  
}  
  
.rvh_searchresults-result  
{  
    margin-top:5;  
    margin-left:5;  
    margin-bottom:5;  
}  
a.rvh_searchresults-result:hover {color: #999999;}  
  
.rvh_searchresults-more  
{  
  
}  
a.rvh_searchresults-more:hover {color: #999999;}
```

4.7.3 Ravenna Hosting の検索結果 : パラメータ

Ravenna Hosting の検索結果フラグメントには、次のパラメータが含まれています。

パラメータ名	説明
ssQueryText	<p>コンテンツ・サーバー内で実行する実際の間合せを指定するための managedquery パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトでは、このフラグメントが 2 つの異なる方法 (主要検索機能の検索結果およびナレッジ・ベース検索機能の検索結果) で使用されています。</p> <p>主要検索結果ページで使用される場合に含まれている値は、xSearchable <Substring> 'true' です。</p> <p>ナレッジ・ベース検索結果ページで使用される場合に含まれている値は、dDocType <Substring> 'rvh_knowledgebasearticle' <AND> xSearchable <Substring> 'true' です。</p>
ssSortField	<p>検索結果項目のソートに使用されるフィールドを変更するテキスト・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、dDocTitle です。</p>
ssSortOrder	<p>昇順または降順の値に基づいてリストの項目をソートするためのテキスト・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、Desc (降順) です。</p>
ssResultCount	<p>特定のページに表示する項目の数を指定するための整数パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、25 です。</p>
ssLimitScope	<p>検索範囲をこの Web サイトに制限するためのブール・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、True です。</p> <p>True に設定した場合は、このサイトに属する (「Websites」フィールドに適切な「SiteID」が含まれている) コンテンツ項目のみが検索されます。False に設定した場合は、コンテンツ・サーバーのすべての項目が検索されます。このサイトおよびコンテンツ・サーバー内のその他のサイトの項目も含まれる可能性があります。</p>
ssDisplayField	<p>検索結果にタイトルおよびコメントを表示するためのテキスト・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、dDocTitle です。</p>
ssTextColor	<p>検索結果のテキストの色を変更するための色パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、#000080 です。</p>
ssHoverColor	<p>検索結果のテキストをポイントしたときの色を変更するための色パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、#800000 です。</p>
ssClassName	<p>リストに関連付けられている「CSS Class Name」を変更するためのテキスト・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、rvh_searchresults です。</p>

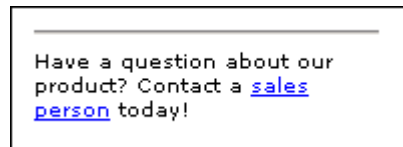
パラメータ名	説明
ssTargetNodeId	<p>コンテンツ項目をクリックしたときにコンテンツ項目が表示される Web サイト上のセクションを指定するための <code>nodeid</code> パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトでは、このフラグメントが 2 つの異なる方法 (主要検索機能の検索結果およびナレッジ・ベース検索機能の検索結果) で使用されています。</p> <p>主要検索結果ページで使用される場合は、このパラメータの値は含まれず、リストにあるその項目の「Website Section」値に依存します。この場合、リスト内のファイルは格納されているセクションに表示されるといふ、Site Studio の 2 番目の規則が使用されます。</p> <p>ナレッジ・ベース検索結果ページで使用される場合には、値 9020 (ナレッジ・ベースの「Section ID」) が含まれます。この場合、ターゲット・セクションとして指定されたセクションにファイルが表示されるといふ、Site Studio の最初の規則が使用されます。</p> <p>TargetNodeID およびターゲット・セクションの詳細は、『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照してください。</p>

注意： 各パラメータの個々の設定の詳細は、このフラグメントを Fragment Editor で開いて表示してください。

4.8 Ravenna Hosting の質問 1

Ravenna Hosting の質問 1 は、テキスト (販売に関する質問) および Contact Us セクションへのハードコードされたリンクを含む、比較的単純なフラグメントです (図 4-15)。このフラグメントは、Web サイトの各ページの右側に表示されます。

図 4-15 Ravenna Hosting の質問 1



このフラグメントは、1 つの Snippet で構成されています (4-37 ページの「Ravenna Hosting の質問 1: Snippet」を参照)。アセット、要素およびパラメータは含まれていません。これらは、他の多くのフラグメントに含まれています。

注意： アセットが含まれていないのは、すべてのコードが直接 Snippet に配置されるためです。要素が含まれていないのは、コントリビューション目的で使用されないためです。パラメータが含まれていないのは、サイト全体で同じ外観を持たせるために使用され、カスタマイズが不要なためです。

4.8.1 Ravenna Hosting の質問 1: Snippet

Ravenna Hosting の質問 1 フラグメントには、1 つの Snippet（ドロップポイント Snippet）が含まれています。JavaScript や Cascading Style Sheet を含まないフラグメントでは、一般的に、ページ本体に追加されるコンテンツ用の 1 つの Snippet のみが必要になります。この Snippet は参照によって組み込まれます。

4.8.1.1 1（ドロップポイント Snippet）

Web ページ上でスクリプトの組込みを指定するコードは、次のドロップポイント Snippet に変換されています。

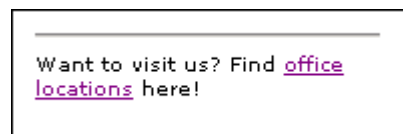
```
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->
<!--$if SSContributor and isTrue(SSContributor) -->
  <script>generateTutorialLink('rvh_question1', 'click here to learn more about the
sample question fragment');</script>
<!--$endif -->
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->
Have a question about our product? Contact a <A
href="<!--$ssServerRelativeSiteRoot-->ContactUs\index.htm" unselectable="off">sales
person</A> today!
```

注意： このフラグメントに含まれる一部のコードは、Ravenna Hosting サイトに付随するチュートリアルへのリンクに使用されています。該当するコードはコメント・タグで囲まれています。サンプル・サイトでチュートリアルを無効にする場合は、このコードを単純に削除してください。このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。

4.9 Ravenna Hosting の質問 2

Ravenna Hosting の質問 2 は、テキスト、および Office Locations セクションへのハードコードされたリンクを含む、単純なフラグメントです（図 4-16）。このフラグメントは、Web サイトの各ページの右側に表示されます。

図 4-16 Ravenna Hosting の質問 2



このフラグメントは、1 つの Snippet で構成されています（4-38 ページの「Ravenna Hosting の質問 2: Snippet」を参照）。アセット、要素およびパラメータは含まれていません。これらは、他の多くのフラグメントに含まれています。アセットが含まれていないのは、すべてのコードが直接 Snippet に配置されるためです。要素が含まれていないのは、コントリビューション目的で使用されないためです。パラメータが含まれていないのは、サイト全体で同じ外観を持たせるために使用され、カスタマイズが不要なためです。

4.9.1 Ravenna Hosting の質問 2: Snippet

Ravenna Hosting の質問 2 フラグメントには、1 つの Snippet (ドロップポイント Snippet) が含まれています。JavaScript や Cascading Style Sheet を含まないフラグメントでは、一般的に、ページ本体に追加されるコンテンツ用の 1 つの Snippet のみが必要になります。この Snippet は参照によって組み込まれます。

4.9.1.1 1 (ドロップポイント Snippet)

Web ページ上でスクリプトの組込みを指定するコードは、次のドロップポイント Snippet に変換されています。

```
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->
<!--$if SSContributor and isTrue(SSContributor) -->
    <script>generateTutorialLink('rvh_question2', 'click here to learn more about the
sample question fragment');</script>
<!--$endif -->
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->
Want to visit us? Find <A
href="<!--$ssServerRelativeSiteRoot-->OfficeLocations\index.htm"
unselectable="off">office locations</A> here!
```

注意: このフラグメントに含まれる一部のコードは、Ravenna Hosting サイトに付随するチュートリアルへのリンクに使用されています。該当するコードはコメント・タグで囲まれています。サンプル・サイトでチュートリアルを無効にする場合は、このコードを単純に削除してください。このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。

4.10 Ravenna Hosting のページ・タイトル

Ravenna Hosting のページ・タイトルは、PageTitle カスタム・セクション・プロパティを読み取り、その値を HTML <TITLE> タグに挿入するフラグメントです (図 4-17)。たとえば、Firewalls セクションには Ravenna Hosting Firewalls という PageTitle 値が含まれています。つまり、このレイアウト・ページが表示されるときに、フラグメントによってページの <TITLE> タグにこの値が挿入され、Web ブラウザのタイトル・バーに表示されます。

図 4-17 Web ブラウザのタイトル・バーに表示されたセクション・タイトル



レイアウト・ページの <TITLE> タグにセクション・タイトルを挿入することは、サイト階層でレイアウト・ページを再利用する場合に非常に便利です。Ravenna Hosting サイトでは、たとえば同じレイアウト・ページ (rvh_productsprimary) がサイト階層の複数のセクション (Servers、Database Servers、Firewalls など) で使用されています。レイアウト・ページで既存の <TITLE> タグを使用した場合は、1 つの値しか挿入できないため、汎用的な値 (Ravenna Products など) にする必要があります。

カスタム・セクション・プロパティおよびこのフラグメントを使用することで、セクションごとに任意の値を指定できます。カスタム・セクション・プロパティを使用したフラグメントのその他の例は、4-2 ページの「[Ravenna Hosting のメイン・ナビゲーション](#)」および 4-13 ページの「[Ravenna Hosting の最上部ナビゲーション](#)」を参照してください。『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』も参照してください。

Ravenna Hosting サイト階層の一部のセクション (Servers、News、Partners など) には、独自のレイアウト・ページが使用されています。これらのセクションには、カスタム・セクション・プロパティは含まれておらず、かわりにレイアウト・ページの <TITLE> タグが使用されています。

Ravenna Hosting のページ・タイトル・フラグメントは、次の部分で構成されます。

- 4-39 ページの「[Ravenna Hosting のページ・タイトル: Snippet](#)」
- 4-40 ページの「[Ravenna Hosting のページ・タイトル: パラメータ](#)」

注意: このフラグメントにアセットが含まれていないのは、すべてのコードが直接 Snippet に配置されるためです。要素が含まれていないのは、コントリビューション目的で使用されないためです。

4.10.1 Ravenna Hosting のページ・タイトル: Snippet

Ravenna Hosting のページ・タイトル・フラグメントには、1 つの Snippet (ドロップポイント Snippet) が含まれています。この Snippet は参照によって組み込まれます。

4.10.1.1 表示 (ドロップポイント Snippet)

Web ページ上でスクリプトの組込みを指定するコードは、次のドロップポイント Snippet に変換されています。

```
<!--$bAppendDocTitle = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
"_bAppendDocTitle")-->

<script>
  var strPageTitle = "<!--$js(ssGetNodeProperty('PageTitle'))-->";
  if (strPageTitle == "")
    strPageTitle = document.title;

  <!--$ if bAppendDocTitle like "true" -->
  <!--$dDocName=ssDocName-->
  <!--$executeService("DOC_INFO_BY_NAME")-->
  strPageTitle = strPageTitle + " - <!--$js(dDocTitle)-->";
  <!--$ endif -->

  document.title = strPageTitle;
</script>
```

注意: このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。

4.10.2 Ravenna Hosting のページ・タイトル:パラメータ

Ravenna Hosting のページ・タイトルには、1つのパラメータが含まれています。

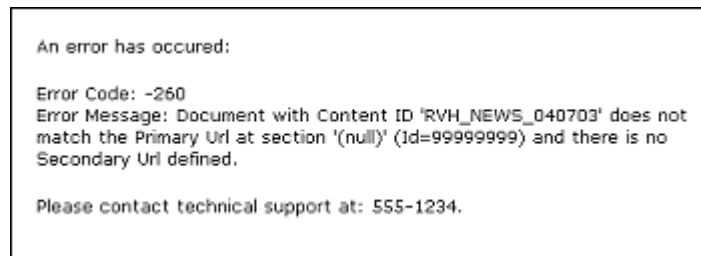
パラメータ名	説明
bAppendDocTitle	<p>Web ブラウザでのページ・タイトルの表示方法を識別するためのブール・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、False です。</p> <p>True に設定した場合、レイアウト・ページの <TITLE> タグに PageTitle カスタム・セクション・プロパティの値が追加されます。</p> <p>False に設定した場合、レイアウト・ページの <TITLE> タグは、PageTitle カスタム・セクション・プロパティに置き換えられます。</p>

注意: 使用できるパラメータおよびパラメータの設定の詳細は、このフラグメントを Fragment Editor で開いて表示してください。

4.11 Ravenna Hosting のエラー・ハンドラ・メッセージ

Ravenna Hosting のエラー・ハンドラ・メッセージは、ユーザーの使用時に Web サイト上でエラーが発生した場合のカスタム・エラー・メッセージを提供するフラグメントです (図 4-18)。

図 4-18 カスタム・エラーの例



Web サイト上でリンクの切断、レイアウト・ページの欠落、またはその他の構造上のエラーが発生すると、コンテンツ・サーバー環境のコンテンツ・サーバー・エラー・メッセージ (この場合はユーザーがサイトから移動します) ではなく、サイトのコンテキストにあるカスタム・エラー・メッセージがユーザーに表示されます。

検索結果フラグメント (4-30 ページの「[Ravenna Hosting の検索結果](#)」を参照) と同様に、Ravenna Hosting のエラー・ハンドラ・メッセージは、エラー・ハンドラとして指定されているセクションのプライマリ・ページに配置されます (第 2 章「[Ravenna Hosting のアーキテクチャ](#)」および『[Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド](#)』を参照)。

このフラグメントは、Idoc スクリプト・コードの 1 つの Snippet で構成されています (4-41 ページの「[Ravenna Hosting のエラー・ハンドラ・メッセージ: Snippet](#)」を参照)。アセット、要素およびパラメータは含まれていません。これらは、他の多くのフラグメントに含まれています。

注意: アセットが含まれていないのは、すべてのコードが直接 Snippet に配置されるためです。要素が含まれていないのは、コントリビューション目的で使用されないためです。パラメータが含まれていないのは、サイト全体で同じ外観を持たせるために使用され、カスタマイズが不要なためです。

4.11.1 Ravenna Hosting のエラー・ハンドラ・メッセージ : Snippet

Ravenna Hosting のエラー・ハンドラ・メッセージ・フラグメントには、1 つの Snippet (ドロップポイント Snippet) が含まれています。JavaScript や Cascading Style Sheet を含まないフラグメントでは、一般的に、ページ本体に追加されるコンテンツ用の 1 つの Snippet のみが必要になります。この Snippet は参照によって組み込まれます。

4.11.1.1 表示 (ドロップポイント Snippet)

Web ページ上でスクリプトの組込みを指定するコードは、次のドロップポイント Snippet に変換されています。

```
Error Code: <!--$ssErrorCode--><br/>
```

```
Error Message: <!--$ssErrorMessage--><br/>
```

Ravenna Hosting のコントリビューション

Ravenna Hosting サイトを作成するに当たり、サイト階層は、最初に紙の上で計画された後、Site Studio デザイナで作成されました。サイトの基本的なルック・アンド・フィールが完成し、メイン・ナビゲーション、検索ボックスおよびサイドバー項目など、多くのサイト機能がフラグメントとして作成され、管理可能なフラグメントとしてレイアウト・ページに追加されました。

その次のステップは、コントリビューション・モデル、つまりコントリビュータが Web サイトにコンテンツを追加して変更するためのシステムを導入することです。これは、コントリビュータがコントリビューション・アプリケーションを使用して変更できる、サイト上の領域を指定することを意味します。

これを行うには、レイアウト・ページにコントリビューション・リージョンを追加して、要素 (WYSIWYG、イメージ、プレーン・テキストおよびカスタム) を直接そのリージョンに追加します。または、これらの要素を含むフラグメントを作成して、コントリビューション・リージョンにフラグメントを追加します。このようなフラグメントを使用すると、静的リスト・フラグメントに使用されているような、より拡張されたコントリビューション・オプションをコントリビュータ用に作成できます。

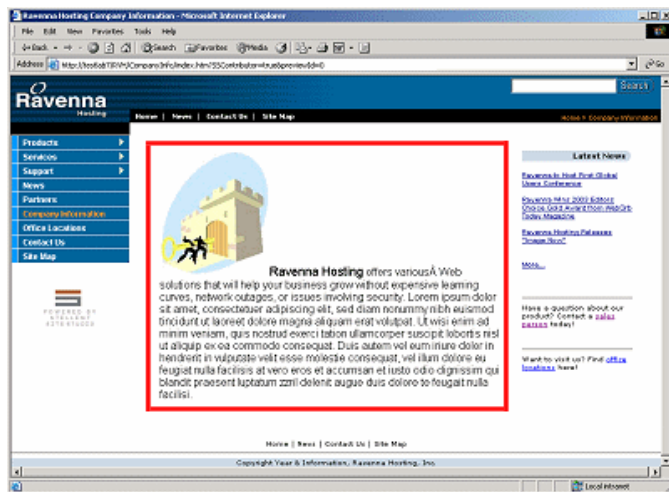
次の各項では、異なるコントリビューション・オプションについて説明します。

- 5-2 ページの「[コントリビューション・リージョン](#)」
- 5-3 ページの「[WYSIWYG 要素を使用したコントリビューション・リージョン](#)」
- 5-5 ページの「[カスタム要素を使用したコントリビューション・リージョン](#)」
- 5-6 ページの「[Ravenna Hosting の製品リスト](#)」
- 5-10 ページの「[Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト](#)」
- 5-16 ページの「[Ravenna Hosting の KB リスト](#)」
- 5-20 ページの「[Ravenna Hosting の所在地リスト](#)」
- 5-22 ページの「[Ravenna Hosting のパートナ・リスト](#)」
- 5-25 ページの「[Ravenna Hosting のニュース・リスト](#)」
- 5-29 ページの「[Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース](#)」
- 5-34 ページの「[Ravenna Hosting のマネージャ](#)」

5.1 コントリビューション・リージョン

コントリビューション・リージョンは、コントリビュータ・アプリケーション（システム固有ドキュメントの使用時にはサード・パーティ・アプリケーション）で編集可能であるとして、Web ページの一部を指定するものです。通常、コントリビューション・リージョンは、レイアウト・ページの中央に追加され（図 5-1）、これによってコントリビュータはページの本体を変更できるようになります。

図 5-1 WYSIWYG 要素を使用したコントリビューション・リージョン



注意： 上のスクリーンショットの赤枠は、説明のために使用しています。

コントリビューション・リージョンは、それ自体だけではコントリビュータに対して Web ページを編集可能にできません。個々の要素（またはコントリビューション機能を含むフラグメント）をリージョンに追加して、そこに配置されるコンテンツの構造を提供する必要があります。また、コントリビュータが実際に編集するファイルとなるコントリビュータ・データファイル（またはシステム固有ドキュメント）を、リージョンに関連付ける必要があります。

Ravenna Hosting サイトでは、各ページにコントリビューション・リージョンが含まれています。各リージョンに含まれるコンテンツは、それぞれ異なります。コントリビューション・リージョンに単一の要素が追加されている場合もあれば（5-3 ページの「WYSIWYG 要素を使用したコントリビューション・リージョン」および 5-5 ページの「カスタム要素を使用したコントリビューション・リージョン」を参照）、より拡張されたコントリビューション機能を提供するために、コントリビューション機能を含むフラグメントがリージョンに追加されている場合もあります（5-20 ページの「Ravenna Hosting の所在地リスト」を参照）。

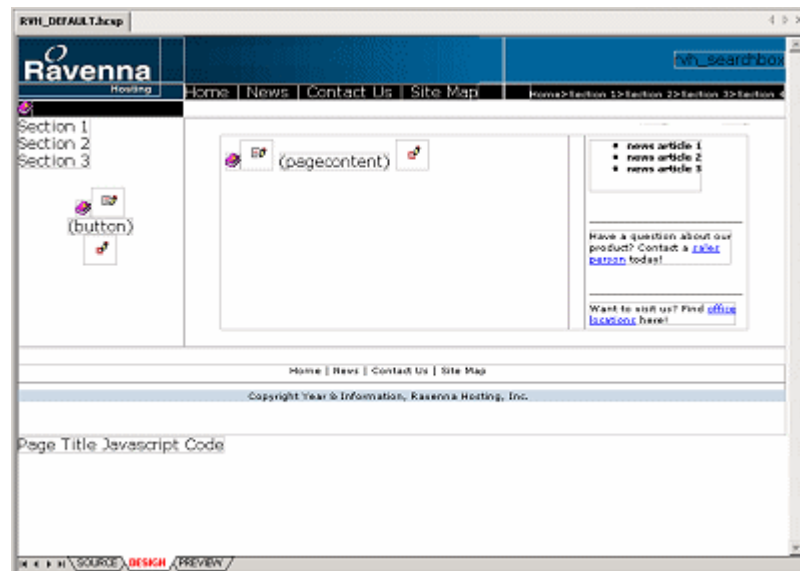
5.2 WYSIWYG 要素を使用したコントリビューション・リージョン

Site Studio でコントリビューションを設定する最も単純な方法は、コントリビューション・リージョンをレイアウト・ページに追加して、WYSIWYG などの要素をそのリージョンに追加することです。（その後で、そのリージョンにデータファイルを割り当てる必要があります。）

コントリビュータが Web ページにアクセスしてコントリビュータ・モードを有効にすると、そのリージョン内のテキスト、グラフィックおよびその他のコンテンツを追加、編集および削除できるようになります。実質的に、コントリビュータは Web ページの一部を再設計できます。

Ravenna Hosting サイトでは、Company Information セクションおよび Services セクション内の多くのセクションに、WYSIWYG 要素を使用したコントリビューション・リージョンが含まれています。（また、ロゴ用のカスタム要素も含まれています。）デザイナーでは、Company Information（プライマリ）ページは次のように表示されます（図 5-2）。

図 5-2 デザイナの設計ビューで表示された Company Information ページ



WYSIWYG 要素を使用したコントリビューション・リージョン（図 5-3）は、レイアウト・ページの中央に次のように表示されます。

図 5-3 WYSIWYG 要素を使用したコントリビューション・リージョン

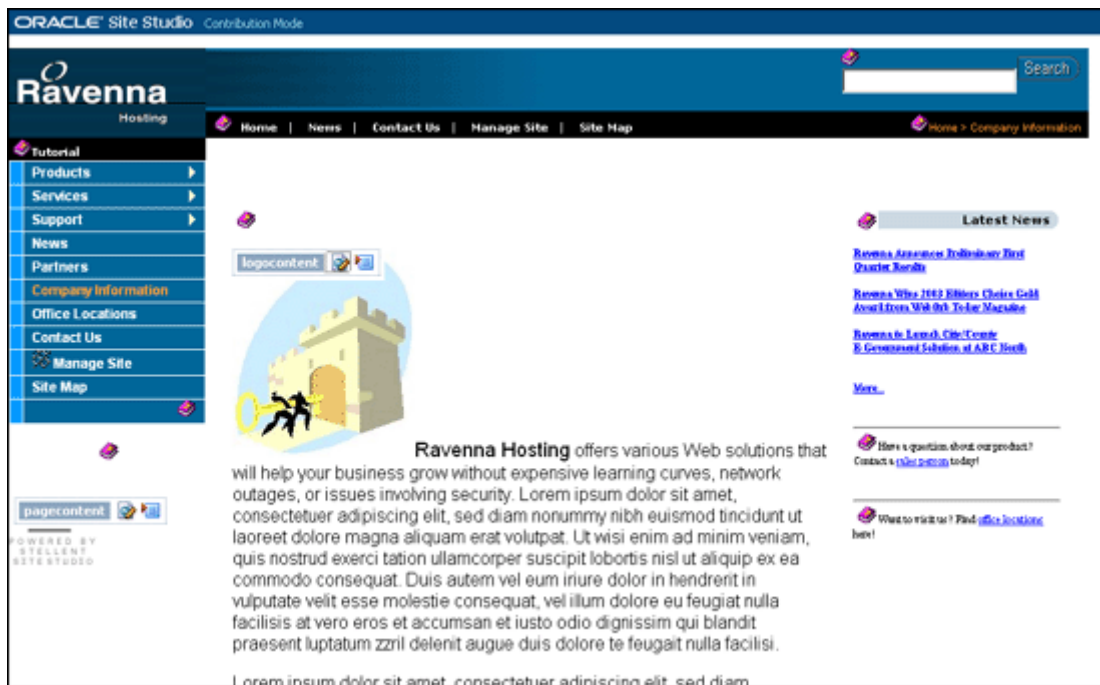


コントリビュータがサイトにアクセスしてコントリビュータ・モードを有効にすると（図 5-5）、リージョンの横にあるコントリビューション・グラフィック（図 5-4）内の（鉛筆付き）編集アイコンをクリックし、コントリビュータを開いて Web ページのコンテンツ、具体的にはリージョン内のコンテンツを編集できます。

図 5-4 コントリビューション・グラフィック



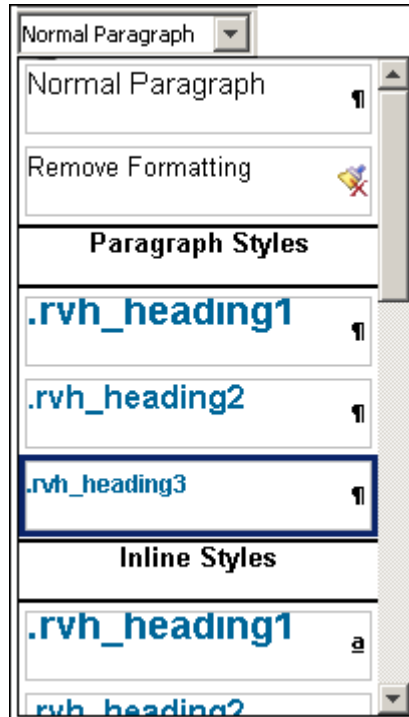
図 5-5 コントリビュータ・モードで表示した Company Information ページ



この例は、短時間で設定できる単純なコントリビューション・モデルを表しています。コントリビューション機能を含むフラグメントをコントリビューション・リージョンに追加すると、より強力で柔軟なサイトにすることができます。

コントリビュータがリージョン内の WYSIWYG 要素で作業するときには使用できる、事前定義済の書式設定オプションを提供するために、Ravenna Hosting サイトでは、カスタム CSS ファイル (rvh_stylesheets.css) を提供しています。このファイルは各レイアウト・ページに埋め込まれています。このスタイルシートに含まれるクラスは、コントリビュータのスタイル・メニュー (図 5-6) に表示されるため、ユーザーが独自のテキストやグラフィックにクラスを適用するのに便利です。

図 5-6 コントリビュータのスタイル・メニュー



詳細は、『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照してください。

5.3 カスタム要素を使用したコントリビューション・リージョン

Ravenna Hosting サイトの各レイアウト・ページの左側には、Powered by Site Studio というロゴ (図 5-7) が表示されています。このグラフィックは、コントリビューション・リージョン内のカスタム要素の一部です。

図 5-7 Powered by Site Studio のロゴ



カスタム要素が使用されているのは、コントリビュータが Macromedia Flash ファイルを参照し、そのファイルの 1 つをかわりに使用できるようにするためです。Macromedia Flash は、WYSIWYG、プレーン・テキストまたはイメージの各要素ではネイティブにサポートされないため、この拡張可能な要素が使用されています。

カスタム要素をリージョンに追加したら、その要素と連動する Web ベースのフォーム（図 5-8）を設定できます。コントリビュータは、コントリビュータ内からこのフォームにアクセスし、これを使用して Web サイトに任意の種類のファイルを追加します。

図 5-8 拡張可能な要素とともに使用する Web ベースのフォーム



Web サイトに Flash ファイルを追加するだけでなく、任意の目的でフォームをカスタマイズできます。これは、WYSIWYG、プレーン・テキストまたはイメージの各要素で使用できるオプションでは不十分な場合に、特に役立ちます。詳細は、『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナー・ガイド』を参照してください。

Ravenna Hosting サイトには、この機能とともに使用できる 4 つのファイルが含まれています。**rvh_ext_poweredbysitestudio.hcsp**、**rvh_poweredbysitestudio1.swf**、**rvh_poweredbysitestudio2.swf** および **rvh_poweredbysitestudio3.swf** です。

5.4 Ravenna Hosting の製品リスト

Ravenna Hosting の製品リストは、動的リスト・フラグメントの 1 つで（図 5-9）、コンテンツ・サーバーに格納されているコントリビュータ・データファイルの問合せを実行し、Web ページに表示します。検索ボックス・フラグメントと同様に、このフラグメントは Web サイト上の複数のセクションに表示されますが、どこから表示したか（Web Servers、Database Servers、Firewalls など）によって動作が異なります。

図 5-9 Ravenna Hosting の製品リスト



検索には、コンテンツ・サーバーの組込み問合せサービスが使用されます。特定のドキュメント・タイプ（**rvh_productdescription**）と一致するコントリビュータ・データファイル、およびリストが表示されるセクションに格納されたファイルを検索するように設定されています。問合せ結果は、項目ごとにハイパーリンク付きのタイトルおよび説明を含む、箇条書きリストとして表示されます。

Ravenna Hosting の製品リストは、次の部分で構成されます。

- 5-7 ページの「[Ravenna Hosting の製品リスト : Snippet](#)」
- 5-9 ページの「[Ravenna Hosting の製品リスト : アセット](#)」
- 5-9 ページの「[Ravenna Hosting の製品リスト : パラメータ](#)」

サイト階層内のセクションに動的リストを追加する場合は、置換可能に指定されたコントリビューション・リージョンを持つセカンダリ・ページも追加する必要があります。セカンダリ・ページおよび置換可能リージョンは、プライマリ・ページ上のリストに追加される新しいデータファイル（またはシステム固有ドキュメント）の背景として機能します。セカンダリ・ページ上の置換可能リージョンに追加した要素によって、プライマリ・ページに追加された新しいデータファイルの構造が提供されます（『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照）。

注意： このフラグメントには要素は含まれていません。データファイルが表示されるセカンダリ・ページから要素を継承するコントリビュータ・データファイルを表示するためです。

5.4.1 Ravenna Hosting の製品リスト : Snippet

Ravenna Hosting の製品リスト・フラグメントには、ヘッドおよびドロップポイントの2つの Snippet があります。Cascading Style Sheet を含むこのようなフラグメントでは、一般的に2つの Snippet が必要になります。1つは Web ページのヘッドに配置される情報用、もう1つは Web ページの本体に配置される情報用です。両方の Snippet は参照によって組み込まれます。

- 5-7 ページの「[組込み（ヘッド Snippet）](#)」
- 5-7 ページの「[表示（ドロップポイント Snippet）](#)」

5.4.1.1 組込み（ヘッド Snippet）

スクリプトの、ヘッド情報を宣言する部分（HTML <head> タグに格納される情報）は、次のヘッド Snippet に変換されています。

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="<!--$HttpRelativeFragmentsRoot-->
rvh_productslist/rvh_productslist.css"></link>
```

5.4.1.2 表示（ドロップポイント Snippet）

Web ページ上でスクリプトの組込みを指定するコードは、次のドロップポイント Snippet に変換されています。

```
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->
<!--$if SSContributor and isTrue(SSContributor) -->
  <script>generateTutorialLink('rvh_productslist', 'click here to learn more about the
products dynamic list fragment');</script>
<!--$endif -->
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->

<!--$ssQueryText          = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
  "_ssQueryText")-->
<!--$ssSortField          = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
  "_ssSortField")-->
<!--$ssSortOrder          = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
  "_ssSortOrder")-->
<!--$ssResultCount        = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
  "_ssResultCount")-->
<!--$ssLimitScope         = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
```

```

"_ssLimitScope")-->
<!--$ssTargetNodeId      = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
"_ssTargetNodeId")-->
<!--$ssNextRow          = getValue("#active", ssFragmentInstanceId & "_NextRow")-->
<!--$ssUserSearchText   = ""      -->
<!--$ssSourceSiteId     = siteId  -->
<!--$ssSourceNodeId     = nodeId  -->
<!--$ssWebsiteObjectType = ""     -->
<!--$ssDontShowInLists  = "true"  -->

<!--$if strEquals(ssNextRow, '')-->
  <!--$ssNextRow=1-->
<!--$endif-->

<!--$QueryText=eval(ssQueryText)-->
<!--$SortField=ssSortField-->
<!--$SortOrder=ssSortOrder-->
<!--$ResultCount=ssResultCount-->
<!--$StartRow=ssNextRow-->

<!--$executeService("SS_GET_SEARCH_RESULTS")-->

<!--$if SearchResults-->

  <!--$ssFirstHit=ssNextRow-->
  <!--$ssLastHit=ssNextRow + SearchResults.#numRows - 1-->

  <ul>
    <!--$loop SearchResults-->
      <li>
        <a class="rvh_productslist" href="<!--$ssUrl-->"><!--$dDocTitle--></a><br>
        <div class="rvh_productslist-comment"><!--$xComments--></div><br>
      </li>
    <!--$endloop-->
  </ul>

  <!--$ssNextRow = ssNextRow + ResultCount-->
  <!--$if ssNextRow le TotalRows-->
    <a class="rvh_productslist" href='?<!--$ssFragmentInstanceId-->
    _NextRow=<!--$ssNextRow-->'>More...</a>
  <!--$endif-->

<!--$else-->
  <div class="rvh_productslist">
    No Product Descriptions Available.
  </div>
<!--$endif-->

```

注意： このフラグメントに含まれる一部のコードは、Ravenna Hosting サイトに付随するチュートリアルへのリンクに使用されています。該当するコードはコメント・タグで囲まれています。サンプル・サイトでチュートリアルを無効にする場合は、このコードを単純に削除してください。このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。

5.4.2 Ravenna Hosting の製品リスト : アセット

Ravenna Hosting の製品リスト・フラグメントには、1つのアセット（Cascading Style Sheet）が含まれています。

5.4.2.1 rvh_productslist.css

このフラグメントの Cascading Style Sheet により、この機能のほとんどの書式設定（フォントの色およびサイズなど）が提供されます。

```
.rvh_productslist,
.rvh_productslist A:link,
.rvh_productslist A:visited,
{
  color:darkblue;
  text-decoration:underlined;
  font-family: arial, sans-serif;
  font-size: x-small;
  width: 100%;
}

.rvh_productslist-comment,
.rvh_productslist-comment A:link,
.rvh_productslist-comment A:visited,
{
  color:black;
  text-decoration:none;
  font-family: arial, sans-serif;
  font-size: xx-small;
  width: 100%;
}
```

5.4.3 Ravenna Hosting の製品リスト : パラメータ

Ravenna Hosting の製品リスト・フラグメントには、次のパラメータが含まれています。

パラメータ名	説明
ssQueryText	<p>コンテンツ・サーバー内で実行する実際の間合せを指定するための managedquery パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は次のとおりです。</p> <p>dDocType <Substring> `rvh_productdescription` <AND> xSearchable <Substring> `true` <and> xCollectionId=<\$nodeId\$></p> <p>特に xCollectionId=<\$nodeId\$> は、複数のセクションで同じフラグメントを再利用できるようになるため便利ですが、どこから表示したかによって動作が異なります。</p>
ssSortField	<p>検索結果項目のソートに使用されるフィールドを変更するテキスト・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、dDocName です。</p>
ssSortOrder	<p>昇順または降順の値に基づいてリストの項目をソートするためのテキスト・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、Asc（昇順）です。</p>
ssResultCount	<p>特定のページに表示する項目の数を指定するための整数パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、15 です。</p>

パラメータ名	説明
ssLimitScope	<p>動的リストの問合せ範囲をこの Web サイトに制限するためのプール・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、True です。</p> <p>True に設定した場合は、このサイトに属する（「Websites」フィールドに適切な「SiteID」が含まれている）コンテンツ項目のみが検索されます。False に設定した場合は、コンテンツ・サーバーのすべての項目が検索されます。このサイトおよびコンテンツ・サーバー内のその他のサイトの項目も含まれる可能性があります。</p>
ssTargetNodeid	<p>コンテンツ項目が表示される Web サイト上のセクションを指定するための nodeid パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトには、このパラメータの値は含まれていません。かわりに、データファイルはデータファイルが格納されているセクションに表示されるという、Site Studio の 2 番目の規則がデフォルトで使用されます。</p> <p>TargetNodeID およびターゲット・セクションの詳細は、『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照してください。</p>

注意： 各パラメータの個々の設定の詳細は、このフラグメントを Fragment Editor で開いて表示してください。

5.5 Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト

Ravenna Hosting のサイドバー製品リストは、動的リスト・フラグメントの 1 つで (図 5-10)、コンテンツ・サーバーに格納されているコントリビュータ・データファイルの問合せを実行し、Products セクションの各ページの右側に表示します。

図 5-10 Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト



Ravenna Hosting の製品リストと同様に (5-6 ページの「Ravenna Hosting の製品リスト」を参照)、このフラグメントは、特定のドキュメント・タイプ (rvh_productdescription) と一致するコントリビュータ・データファイル、およびリストが表示されるセクションに格納されたファイルを検索します。

Ravenna Hosting の製品リストとは異なり、このフラグメントは、問合せ結果を凝縮されたリンクのリスト (上の図を参照) として表示します。各ファイルのタイトルがリンクとして機能します。

また、Ravenna Hosting の製品リストとは異なり、このフラグメントはレイアウト・ページのコントリビューション・リージョン内には配置されないため、コントリビュータを使用してコントリビュータが直接リストを編集できません。コントリビュータがリストを変更するには、リストの導出元である主要製品リスト (Ravenna Hosting の製品リスト・フラグメント) に移動して、直接変更する必要があります。(この動作は、サイドバー・ニュース・フラグメントの動作と類似しています。詳細は、5-29 ページの「Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース」を参照してください。)

Ravenna Hosting のサイドバー製品リストは、次の部分で構成されます。

- 5-11 ページの「[Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト: Snippet](#)」
- 5-13 ページの「[Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト: アセット](#)」
- 5-15 ページの「[Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト: パラメータ](#)」

サイト階層内のセクションに動的リストを追加する場合は、置換可能に指定されたコントリビューション・リージョンを持つセカンダリ・ページも追加する必要があります。セカンダリ・ページおよび置換可能リージョンは、プライマリ・ページ上のリストに追加される新しいデータファイル（またはシステム固有ドキュメント）の背景として機能します。セカンダリ・ページ上の置換可能リージョンに追加した要素によって、プライマリ・ページに追加された新しいデータファイルの構造が提供されます（『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイン・ガイド』を参照）。

注意： このフラグメントには要素は含まれていません。セカンダリ・ページから要素を継承するコントリビュータ・データファイルを表示するためです。

5.5.1 Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト: Snippet

Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト・フラグメントには、ヘッドおよびドロップポイントの 2 つの Snippet があります。Cascading Style Sheet を含むこのようなフラグメントでは、一般的に 2 つの Snippet が必要になります。1 つは Web ページのヘッドに配置される情報用、もう 1 つは Web ページの本体に配置される情報用です。両方の Snippet は参照によって組み込まれます。

- 5-11 ページの「[組込み \(ヘッド Snippet\)](#)」
- 5-11 ページの「[表示 \(ドロップポイント Snippet\)](#)」

5.5.1.1 組込み (ヘッド Snippet)

スクリプトの、ヘッド情報を宣言する部分 (HTML <head> タグに格納される情報) は、次のヘッド Snippet に変換されています。

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="<!--$HttpRelativeFragmentsRoot-->rvh_miniproductslist/rvh_miniproductslist.css"></link>
```

5.5.1.2 表示 (ドロップポイント Snippet)

Web ページ上でスクリプトの組込みを指定するコードは、次のドロップポイント Snippet に変換されています。

```
<span style="white-space: nowrap">
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->
<!--$if SSContributor and isTrue(SSContributor) -->
  <script>generateTutorialLink('rvh_miniproducts', 'click here to learn more about the
products summary dynamic list fragment');</script>
<!--$endif -->
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->
</img><br><br>
</span>

<!--$ssQueryText          = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
"_ssQueryText")-->
<!--$ssSortField          = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
"_ssSortField")-->
<!--$ssSortOrder          = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
```

```

    "_ssSortOrder")-->
<!--$ssResultCount      = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
    "_ssResultCount")-->
<!--$ssLimitScope      = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
    "_ssLimitScope")-->
<!--$ssTargetNodeId    = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
    "_ssTargetNodeId")-->
<!--$ssNextRow         = getValue("#active", ssFragmentInstanceId & "_NextRow")-->
<!--$ssUserSearchText  = "" -->
<!--$ssSourceSiteId    = siteId -->
<!--$ssSourceNodeId    = nodeId -->
<!--$ssWebsiteObjectType = "" -->
<!--$ssDontShowInLists = "true" -->

<!--$if strEquals(ssNextRow, '')-->
    <!--$ssNextRow=1-->
<!--$endif-->

<!--$QueryText=eval(ssQueryText)-->
<!--$SortField=ssSortField-->
<!--$SortOrder=ssSortOrder-->
<!--$ResultCount=ssResultCount-->
<!--$StartRow=ssNextRow-->

<!--$executeService("SS_GET_SEARCH_RESULTS")-->

<!--$if SearchResults-->

    <!--$ssFirstHit=ssNextRow-->
    <!--$ssLastHit=ssNextRow + SearchResults.#numRows - 1-->

    <!--$loop SearchResults-->
        <a class="rvh_miniproductslist"
href="<!--$ssUrl-->"><!--$dDocTitle--></a><br><br>
        <!--$endloop-->

    <!--$ssNextRow = ssNextRow + ResultCount-->
    <!--$if ssNextRow le TotalRows-->
        <a class="rvh_miniproductslist" href='?<!--$ssFragmentInstanceId-->
    _NextRow=<!--$ssNextRow-->'>More...</a>
    <!--$endif-->

<!--$else-->
    <div class="rvh_miniproductslist">
        No Product Descriptions Available.
    </div>
<!--$endif-->

```

注意： このフラグメントに含まれる一部のコードは、Ravenna Hosting サイトに付随するチュートリアルへのリンクに使用されています。該当するコードはコメント・タグで囲まれています。サンプル・サイトでチュートリアルを無効にする場合は、このコードを単純に削除してください。このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。

5.5.2 Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト : アセット

Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト・フラグメントには、次のアセットが含まれます。

- 5-13 ページの「rvh_miniproductslist.css」
- 5-13 ページの「rvh_banner_webservers.gif」
- 5-13 ページの「rvh_banner_databaseservers.gif」
- 5-14 ページの「rvh_banner_loadbalancers.gif」
- 5-14 ページの「rvh_banner_networkequipment.gif」
- 5-14 ページの「rvh_banner_firewalls.gif」
- 5-14 ページの「rvh_banner_fileservers.gif」
- 5-14 ページの「rvh_banner_mailservers.gif」
- 5-14 ページの「rvh_banner_applicationervers.gif」
- 5-15 ページの「rvh_banner_opticalstorage.gif」

5.5.2.1 rvh_miniproductslist.css

このフラグメントの Cascading Style Sheet により、この機能のほとんどの書式設定（フォントの色およびサイズなど）が提供されます。

```
.rvh_miniproductslist,
.rvh_miniproductslist A:link,
.rvh_miniproductslist A:visited,
{
    color:darkblue;
    text-decoration:underlined;
    font-family: arial, sans-serif;
    font-size: xx-small;
    width: 100%;
}
```

5.5.2.2 rvh_banner_webservers.gif

このフラグメントで使用される 9 つのグラフィックの 1 つです。Web Servers グラフィック (図 5-11) は、リンクのリストの上に表示されるヘッダーとして機能します (5-10 ページの「Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト」の図を参照)。

図 5-11 Web Servers サイドバー・アイコン

Web Servers

Products の下にある各セクションで異なるグラフィックが表示されます。このグラフィックは Web Servers セクションに表示されます。このフラグメントは、SidebarProductsListBanner というカスタム・セクション・プロパティ (『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照) を読み取って各セクションに表示するグラフィックを判別し、(Snippet の タグにある) グラフィックのファイル名に値を挿入します。

5.5.2.3 rvh_banner_databaseservers.gif

このフラグメントで使用される 9 つのグラフィックの 1 つです。Database Servers グラフィック (図 5-12) は、Database Servers セクションに表示されます。

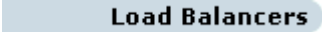
図 5-12 Database Servers サイドバー・アイコン

Database Servers

5.5.2.4 rvh_banner_loadbalancers.gif

このフラグメントで使用される 9 つのグラフィックの 1 つです。Load Balancers グラフィック (図 5-13) は、Load Balancers セクションに表示されます。

図 5-13 Load Balancers サイドバー・アイコン



Load Balancers

5.5.2.5 rvh_banner_networkequipment.gif

このフラグメントで使用される 9 つのグラフィックの 1 つです。Switches グラフィック (図 5-14) は、Switches, Hubs & NIC's セクションに表示されます。

図 5-14 Switches, Hubs, NIC's サイドバー・アイコン




Switches, Hubs & NIC's

5.5.2.6 rvh_banner_firewalls.gif

このフラグメントで使用される 9 つのグラフィックの 1 つです。Firewalls グラフィック (図 5-15) は、Firewalls セクションに表示されます。

図 5-15 Firewalls サイドバー・アイコン



Firewalls

5.5.2.7 rvh_banner_fileservers.gif

このフラグメントで使用される 9 つのグラフィックの 1 つです。File Servers グラフィック (図 5-16) は、File Servers セクションに表示されます。

図 5-16 File Servers サイドバー・アイコン



File Servers

5.5.2.8 rvh_banner_mailservers.gif

このフラグメントで使用される 9 つのグラフィックの 1 つです。Mail Servers グラフィック (図 5-17) は、Mail Servers セクションに表示されます。

図 5-17 Mail Servers サイドバー・アイコン



Mail Servers

5.5.2.9 rvh_banner_applicationsservers.gif

このフラグメントで使用される 9 つのグラフィックの 1 つです。Application Servers グラフィック (図 5-18) は、Application Servers セクションに表示されます。

図 5-18 Application Servers サイドバー・アイコン



Application Servers

5.5.2.10 rvh_banner_opticalstorage.gif

このフラグメントで使用される 9 つのグラフィックの 1 つです。Optical Storage グラフィック (図 5-19) は、Optical Storage セクションに表示されます。

図 5-19 Optical Storage サイドバー・アイコン

Optical Storage

5.5.3 Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト：パラメータ

Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト・フラグメントには、次のパラメータが含まれています。

パラメータ名	説明
ssQueryText	<p>コンテンツ・サーバー内で実行する実際の間合せを指定するための managedquery パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は次のとおりです。</p> <pre>dDocType <Substring> `rvh_productdescription` <AND> xSearchable <Substring> `true` <and> xCollectionId=<\$nodeId\$></pre> <p>特に xCollectionId=<\$nodeId\$> は、複数のセクションで同じフラグメントを再利用できるようになるため便利ですが、どこから表示したかによって動作が異なります。</p>
ssSortField	<p>検索結果項目のソートに使用されるフィールドを変更するテキスト・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、dDocName です。</p>
ssSortOrder	<p>昇順または降順の値に基づいてリストの項目をソートするためのテキスト・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、Asc (昇順) です。</p>
ssResultCount	<p>特定のページに表示する項目の数を指定するための整数パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、15 です。</p>
ssLimitScope	<p>動的リストの間合せ範囲をこの Web サイトに制限するためのブール・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、True です。</p> <p>True に設定した場合は、このサイトに属する (「Websites」フィールドに適切な「SiteID」が含まれている) コンテンツ項目のみが検索されます。False に設定した場合は、コンテンツ・サーバーのすべての項目が検索されます。このサイトおよびコンテンツ・サーバー内のその他のサイトの項目も含まれる可能性があります。</p>
ssTargetNodeId	<p>コンテンツ項目が表示される Web サイト上のセクションを指定するための nodeid パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトには、このパラメータの値は含まれていません。かわりに、データファイルはデータファイルが格納されているセクションに表示されるといふ、Site Studio の 2 番目の規則がデフォルトで使用されます (『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照)。</p>

注意： 各パラメータの個々の設定の詳細は、このフラグメントを Fragment Editor で開いて表示してください。

5.6 Ravenna Hosting の KB リスト

Ravenna Hosting の KB リストは、動的リスト・フラグメントの 1 つで (図 5-20)、コンテンツ・サーバー内のコントリビュータ・データファイルの問合せを実行し、Web ページに表示します (5-6 ページの「[Ravenna Hosting の製品リスト](#)」と類似)。KB リストは、Knowledge Base セクションで使用されます。

図 5-20 Ravenna Hosting の KB リスト



検索には、コンテンツ・サーバーの組込み問合せサービスが使用されます。特定のドキュメント・タイプ (rvh_productdescription) と一致するコントリビュータ・データファイル、この場合は rvh_knowledgebasearticle を検索するように設定されています (第 2 章「[Ravenna Hosting のアーキテクチャ](#)」を参照)。問合せ結果は、項目ごとにハイパーリンク付きのタイトルおよび説明を含む、箇条書きリストとして表示されます。Ravenna Hosting サイトの Knowledge Base セクションには、検索ボックスも含まれています。これは、Web サイト全体の主要検索ボックスに使用されるものと同じフラグメントです。このフラグメントには、場所ごとのカスタマイズを可能にするパラメータが含まれています。

Ravenna Hosting の KB リストは、次の部分で構成されます。

- 5-17 ページの「[Ravenna Hosting の KB リスト: Snippet](#)」
- 5-18 ページの「[Ravenna Hosting の KB リスト: アセット](#)」
- 5-19 ページの「[Ravenna Hosting の KB リスト: パラメータ](#)」

注意: サイト階層内のセクションに動的リストを追加する場合は、置換可能に指定されたコントリビューション・リージョンを持つセカンダリ・ページも追加する必要があります。セカンダリ・ページおよび置換可能リージョンは、プライマリ・ページ上のリストに追加される新しいコントリビュータ・データファイルの背景として機能します。置換可能リージョン内の要素によって、新しいコントリビュータ・データファイルの構造が提供されます。このフラグメントは、コントリビューション用ではなく検索機能として使用されるため、要素は含まれません。

5.6.1 Ravenna Hosting の KB リスト : Snippet

Ravenna Hosting の KB リスト・フラグメントには、ヘッドおよびドロップポイントの2つの Snippet があります。Cascading Style Sheet を含むこのようなフラグメントでは、一般的に2つの Snippet が必要になります。1つは Web ページのヘッドに配置される情報用、もう1つは Web ページの本体に配置される情報用です。両方の Snippet は参照によって組み込まれます。

- 5-17 ページの「[組み込み（ヘッド Snippet）](#)」
- 5-17 ページの「[表示（ドロップポイント Snippet）](#)」

5.6.1.1 組み込み（ヘッド Snippet）

スクリプトの、ヘッド情報を宣言する部分（HTML <head> タグに格納される情報）は、次のヘッド Snippet に変換されています。

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="<!--$HttpRelativeFragmentsRoot-->
rvh_kblist/rvh_kblist.css"></link>
```

5.6.1.2 表示（ドロップポイント Snippet）

Web ページ上でスクリプトの組み込みを指定するコードは、次のドロップポイント Snippet に変換されています。

```
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->
<!--$if SSContributor and isTrue(SSContributor) -->
  <script>generateTutorialLink('rvh_kblist', 'click here to learn more about the
knowledge base dynamic list fragment');</script>
<!--$endif -->
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->

<!--$ssQueryText          = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssQueryText")-->
<!--$ssSortField          = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssSortField")-->
<!--$ssSortOrder          = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssSortOrder")-->
<!--$ssResultCount        = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssResultCount")-->
<!--$ssLimitScope         = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssLimitScope")-->
<!--$ssTargetNodeId       = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssTargetNodeId")-->
<!--$ssNextRow            = getValue("#active", ssFragmentInstanceId & "_NextRow")-->
<!--$ssUserSearchText     = "" -->
<!--$ssSourceSiteId       = siteId -->
<!--$ssSourceNodeId       = nodeId -->
<!--$ssWebsiteObjectType  = "" -->
<!--$ssDontShowInLists    = "true" -->

<!--$if strEquals(ssNextRow, '')-->
  <!--$ssNextRow=1-->
<!--$endif-->

<!--$QueryText=eval(ssQueryText) -->
<!--$SortField=ssSortField-->
<!--$SortOrder=ssSortOrder-->
<!--$ResultCount=ssResultCount-->
<!--$StartRow=ssNextRow-->

<!--$executeService("SS_GET_SEARCH_RESULTS")-->
```

```

<!--$if SearchResults-->

<!--$ssFirstHit=ssNextRow-->
<!--$ssLastHit=ssNextRow + SearchResults.#numRows - 1-->

<ul>
  <!--$loop SearchResults-->
    <li>
      <a class="rvh_kblist" href="<!--$ssUrl-->"><!--$dDocTitle--></a><br>
      <div class="rvh_kblist-comment"><!--$xComments--></div><br>
    </li>
  <!--$endloop-->
</ul>

<!--$ssNextRow = ssNextRow + ResultCount-->
<!--$if ssNextRow le TotalRows-->
  <a class="rvh_kblist" href='?<!--$ssFragmentInstanceId-->
_NextRow=<!--$ssNextRow-->'>More...</a>
<!--$endif-->

<!--$else-->
<div class="rvh_kblist">
  No KB Articles Available.
</div>
<!--$endif-->

```

注意： このフラグメントに含まれる一部のコードは、Ravenna Hosting サイトに付随するチュートリアルへのリンクに使用されています。該当するコードはコメント・タグで囲まれています。サンプル・サイトでチュートリアルを無効にする場合は、このコードを単純に削除してください。このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。

5.6.2 Ravenna Hosting の KB リスト : アセット

Ravenna Hosting の KB リスト・フラグメントには、1つのアセット (Cascading Style Sheet) が含まれています。

5.6.2.1 rvh_kblist.css

このフラグメントの Cascading Style Sheet により、この機能のほとんどの書式設定 (フォントの色およびサイズなど) が提供されます。

```

.rvh_kblist,
.rvh_kblist A:link,
.rvh_kblist A:visited,
{
  color:darkblue;
  text-decoration:underlined;
  font-family: arial, sans-serif;
  font-size: x-small;
  width: 100%;
}

.rvh_kblist-comment,
.rvh_kblist-comment A:link,
.rvh_kblist-comment A:visited,
{
  color:black;
  text-decoration:none;
}

```

```
font-family: arial, sans-serif;
font-size: xx-small;
width: 100%;
}
```

5.6.3 Ravenna Hosting の KB リスト : パラメータ

Ravenna Hosting の KB リスト・フラグメントには、次のパラメータが含まれています。

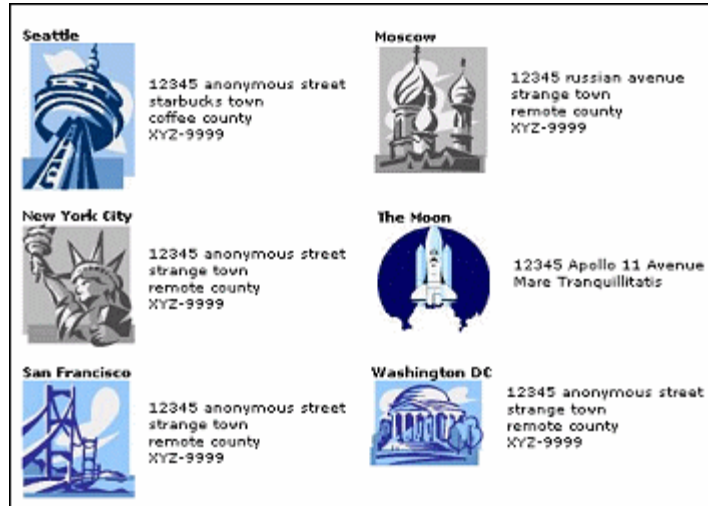
パラメータ名	説明
ssQueryText	<p>コンテンツ・サーバー内で実行する実際の間合せを指定するための managedquery パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は次のとおりです。</p> <pre>dDocType <Substring> `rvh_knowledgebasearticle` <AND> xSearchable <Substring> `true`</pre>
ssSortField	<p>検索結果項目のソートに使用されるフィールドを変更するテキスト・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、dInDate です。</p>
ssSortOrder	<p>昇順または降順の値に基づいてリストの項目をソートするためのテキスト・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、Desc（降順）です。</p>
ssResultCount	<p>特定のページに表示する項目の数を指定するための整数パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、15 です。</p>
ssLimitScope	<p>動的リストの間合せ範囲をこの Web サイトに制限するためのプール・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、True です。</p> <p>True に設定した場合は、このサイトに属する（「Websites」フィールドに適切な「SiteID」が含まれている）コンテンツ項目のみが検索されます。False に設定した場合は、コンテンツ・サーバーのすべての項目が検索されます。このサイトおよびコンテンツ・サーバー内のその他のサイトの項目も含まれる可能性があります。</p>
ssTargetNodeid	<p>コンテンツ項目が表示される Web サイト上のセクションを指定するための nodeid パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、9020 です。</p> <p>ナレッジ・ベースの「Section ID」は 9020 であるため、9020 を指定することで、リスト内のデータファイルをクリックしたときに Knowledge Base セクションが表示されます。したがって、TargetNodeid として指定されたセクションに最初にデータファイルが表示されるという、Site Studio の最初の規則が使用されます（『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照）。</p>

注意： このフラグメントにはアセットおよびパラメータは含まれていません。アセットが含まれていないのは、すべてのコードが直接 Snippet に配置されるためです。パラメータが含まれていないのは、サイト全体で同じ外観を持たせるために使用され、レイアウト・ページに追加される際にカスタマイズが不要なためです。

5.7 Ravenna Hosting の所在地リスト

Ravenna Hosting の所在地リストは、コントリビュータ・データファイルの個々の要素を構造化された形式で表示する、静的リスト・フラグメント (図 5-21) です。静的リストでは、(リストの設定によって) コントリビュータが新しい行または列 (それぞれの行または列には他の要素も含まれます) をリストに追加できます。

図 5-21 Ravenna Hosting の所在地リスト



Hosting Partners のリスト・フラグメントと同様に (5-22 ページの「[Ravenna Hosting のパートナ・リスト](#)」を参照) このフラグメントには個々のコントリビューション要素が含まれます。デザイナーでは、「[Contribution Toolbar](#)」から直接要素を追加するかわりに、要素の拡張されたレイアウトを含むこのフラグメントを追加できます。コントリビュータは、各要素内で自由に追加および編集を行えます。

静的リストは、HTML 表が設計者用の構造化レイアウトを提供するのと同様に、コントリビュータ用の構造化レイアウトを提供します。設計者は、静的リストを使用して、Web ページ上のコンテンツの行数および列数を指定できます。コントリビュータは、ログインして既存の行または列を編集できます。新しい行または列の追加も行えます。

このフラグメントには、3つの要素が含まれます。それぞれタイトル、グラフィックおよび住所のための要素です。タイトルおよび住所は、いずれもプレーン・テキスト要素です。つまり、コントリビュータは書体を変更したり、テキストの書式設定を行えません (サイト全体で一貫性を持たせるのに便利です)。

要素のレイアウトは、フラグメント **Snippet** で指定されます。タイトルおよびグラフィックは左、住所は右に配置されます (HTML 表が使用されます)。これらの要素のセットが、Web ページに表示される 2つの列の 1つを構成します。コントリビュータが新しいフィールドのセット (タイトル・グラフィックおよび住所) を追加した場合、それらのフィールドはリストの一番下に追加されます。

Ravenna Hosting の所在地リストは、次の部分で構成されます。

- 5-21 ページの「[Ravenna Hosting の所在地リスト : Snippet](#)」
- 5-22 ページの「[Ravenna Hosting の所在地リスト : 要素](#)」

注意： このフラグメントにはアセットおよびパラメータは含まれていません。アセットが含まれていないのは、すべてのコードが直接 **Snippet** に配置されるためです。パラメータが含まれていないのは、サイト全体で同じ外観を持たせるために使用され、レイアウト・ページに追加される際にカスタマイズが不要なためです。

5.7.1 Ravenna Hosting の所在地リスト : Snippet

Ravenna Hosting の所在地リスト・フラグメントには、1つの Snippet（ドロップポイント Snippet）が含まれています。Cascading Style Sheet や JavaScript を含まないフラグメントは、一般的にレイアウト・ページ上の 1 箇所追加されるため、1つの Snippet のみが必要になります。この Snippet は参照によって組み込まれます。

5.7.1.1 表示（ドロップポイント Snippet）

このフラグメントに含まれる、要素のレイアウトおよび動作を制御するコードは、次のドロップポイント Snippet に変換されます。

```
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->
<!--$if SSContributor and isTrue(SSContributor) -->
    <script>generateTutorialLink('rvh_locationslist', 'click here to learn more about
the office locations static list fragment');</script>
<!--$endif -->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->

<!--$root = eval("<$" & ssFragmentInstanceId & "$>")-->

<!--$strNumRecords=ssGetXmlNodeCount(SS_DATAFILE, root & "/location")-->
<!--$nNumRecords=toInteger(strTrimWs(strNumRecords))-->
<!--$nNumRows=(nNumRecords+1)/2-->
<!--$nPos=1-->

<table border=0 cellspacing=0 cellpadding=5 style="font-size:xx-small;">

    <!--$loopwhile nPos <= nNumRows -->

        <tr>
            <td width=1% nowrap>
                <b><!--$ssIncludeXml(SS_DATAFILE, root & "/location[" & nPos &
"]/node()")--></b><br>
                <!--$ssIncludeXml(SS_DATAFILE, root & "/image[" & nPos & "]/node()")-->
            </td>
            <td nowrap>
                <!--$ssIncludeXml(SS_DATAFILE, root & "/address[" & nPos & "]/node()")-->
            </td>
            <td width=2%>&nbsp;</td>

            <!--$if nPos+nNumRows le nNumRecords-->
                <td width=1% nowrap>
                    <b><!--$ssIncludeXml(SS_DATAFILE, root & "/location[" & nPos+nNumRows &
"]/node()")--></b><br>
                    <!--$ssIncludeXml(SS_DATAFILE, root & "/image[" & nPos+nNumRows &
"]/node()")-->
                </td>
                <td nowrap>
                    <!--$ssIncludeXml(SS_DATAFILE, root & "/address[" & nPos+nNumRows &
"]/node()")-->
                </td>
            <!--$else-->
                <td width=1%>&nbsp;</td>
                <td>&nbsp;</td>
            <!--$endif-->
        </tr>

        <!--$ nPos = nPos + 1-->
```

```
<!--$endloop-->

</table>
```

注意：このフラグメントに含まれる一部のコードは、Ravenna Hosting サイトに付随するチュートリアルへのリンクに使用されています。該当するコードはコメント・タグで囲まれています。サンプル・サイトでチュートリアルを無効にする場合は、このコードを単純に削除してください。このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。

5.7.2 Ravenna Hosting の所在地リスト：要素

Ravenna Hosting の所在地リスト・フラグメントには、3つの要素が含まれています。タイトル用のプレーン・テキスト要素、グラフィック用のイメージ要素、および住所用の WYSIWYG 要素です。

名前	ラベル	タイプ
所在地	Location	プレーン・テキスト
イメージ	Image	イメージ
住所	Address	wysiwyg

これらの要素は、デザイナーの「Contribution Toolbar」で使用できるものと同じです。異なるのは、フラグメントに格納されること、およびツールバーから直接追加するのではなく、フラグメントの形式でレイアウト・ページに追加できることです。

5.8 Ravenna Hosting のパートナ・リスト

Ravenna Hosting のパートナ・リストは、コントリビュータ・データファイルの個々の要素を構造化された形式で表示する、静的リスト・フラグメント (図 5-22) です。静的リストでは、(リストの設定によって) コントリビュータが新しい行または列 (それぞれの行または列には他の要素も含まれます) をリストに追加できます。

図 5-22 Ravenna Hosting のパートナ・リスト

ABC, Inc 	Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed diam nonummy nibh euismod tincidunt ut laoreet dolore magna aliquam erat volutpat. Ut visi enim ad minim veniam, quis nostrud exerci tation ullamcorper suscipit lobortis nisl ut aliquip ex ea commodo consequat. Duis autem vel eum iriure dolor in hendrerit in vulputate velit esse molestie consequat, vel illum dolore eu feugiat nulla facilisis at vero eros et accumsan et iusto odio dignissim qui blandit praesent luptatum zzril delenit augue duis dolore te feugait nulla facilisi.
XYZ, Inc 	Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed diam nonummy nibh euismod tincidunt ut laoreet dolore magna aliquam erat volutpat. Ut visi enim ad minim veniam, quis nostrud exerci tation ullamcorper suscipit lobortis nisl ut aliquip ex ea commodo consequat. Duis autem vel eum iriure dolor in hendrerit in vulputate velit esse molestie consequat, vel illum dolore eu feugiat nulla facilisis at vero eros et accumsan et iusto odio dignissim qui blandit praesent luptatum zzril delenit augue duis dolore te feugait nulla facilisi.
123, Inc 	Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed diam nonummy nibh euismod tincidunt ut laoreet dolore magna aliquam erat volutpat. Ut visi enim ad minim veniam, quis nostrud exerci tation ullamcorper suscipit lobortis nisl ut aliquip ex ea commodo consequat. Duis autem vel eum iriure dolor in hendrerit in vulputate velit esse molestie consequat, vel illum dolore eu feugiat nulla facilisis at vero eros et accumsan et iusto odio dignissim qui blandit praesent luptatum zzril delenit augue duis dolore te feugait nulla facilisi.

会社所在地フラグメントと同様に (5-20 ページの「[Ravenna Hosting の所在地リスト](#)」を参照)、このフラグメントには個々の要素が含まれます。そのため、デザイナーの「[Contribution Toolbar](#)」から要素を追加するかわりに、より拡張された要素のレイアウトを含むこのフラグメントを追加できます。コントリビュータは、各要素内で自由にコンテンツの追加および編集を行えます。また、このフラグメントの WYSIWYG 要素を自由に書式設定できます。

静的リストは、HTML 表が設計者用の構造化レイアウトを提供するのと同様に、コントリビュータ用の構造化レイアウトを提供します。設計者は、静的リストを使用して、Web ページ上のコンテンツの行数および列数を指定できます。コントリビュータは、ログインして既存の行または列を編集できます。新しい行または列の追加も行えます。

このフラグメントには、3つの要素が含まれます。それぞれパートナー名、パートナー・ロゴおよびパートナー詳細のための要素です。これらの3つの要素のタイプは、いずれも WYSIWYG です。そのため、コントリビュータは自由にテキストを書式設定できます (書体の変更や太字またはイタリックへのテキストの変更など)。

要素のレイアウトは、フラグメント Snippet で指定されます。パートナー名およびロゴは左、パートナー詳細は右に配置されます (HTML 表が使用されます)。これらの要素のセットが、Web ページに表示される情報の1行を構成します。コントリビュータが新しいフィールドのセット (名前、ロゴおよび詳細) を追加した場合、それらのフィールドはリストの一番下に追加されます。

Ravenna Hosting のパートナー・リストは、次の部分で構成されます。

- 5-23 ページの「[Ravenna Hosting のパートナー・リスト : Snippet](#)」
- 5-24 ページの「[Ravenna Hosting のパートナー・リスト : 要素](#)」

注意: このフラグメントにはアセットおよびパラメータは含まれていません。アセットが含まれていないのは、すべてのコードが直接 Snippet に配置されるためです。パラメータが含まれていないのは、サイト全体で同じ外観を持たせるために使用され、レイアウト・ページに追加される際にカスタマイズが不要なためです。

5.8.1 Ravenna Hosting のパートナー・リスト : Snippet

Ravenna Hosting のパートナー・リスト・フラグメントには、1つの Snippet (ドロップポイント Snippet) が含まれています。Cascading Style Sheet や JavaScript を含まないフラグメントは、一般的にレイアウト・ページ上の1箇所に追加されるため、1つの Snippet のみが必要になります。

5.8.1.1 表示 (ドロップポイント Snippet)

このフラグメントに含まれる、要素のレイアウトおよび動作を制御するコードは、次のドロップポイント Snippet に変換されます。

```
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->
<!--$if SSContributor and isTrue(SSContributor) -->
    <script>generateTutorialLink('rvh_partnerslist', 'click here to learn more about the
partners static list fragment');</script>
<!--$endif -->
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->

<!--$root = eval("<$" & ssFragmentInstanceId & "$>")-->

<!--$strNumRecords=ssGetXmlNodeCount(SS_DATAFILE, root & "/name")-->
<!--$nNumRecords=toInteger(strTrimWs(strNumRecords))-->
<!--$nPos=1-->
```

```

<table border=0 cellspacing=0 cellpadding=10 style="font-size:xx-small;">

  <!--$loopwhile nPos <= nNumRecords -->

    <tr>
      <td width=1% nowrap align=center>
        <b><!--$ssIncludeXml(SS_DATAFILE, root & "/name[" & nPos &
"]/node()")--></b><br><br>
        <!--$ssIncludeXml(SS_DATAFILE, root & "/logo[" & nPos &
"]/node()")-->
      </td>
      <td>
        <!--$ssIncludeXml(SS_DATAFILE, root & "/description[" & nPos &
"]/node()")-->
      </td>
    </tr>

    <!--$ nPos = nPos + 1-->

  <!--$endloop-->

</table>

```

注意： このフラグメントに含まれる一部のコードは、Ravenna Hosting サイトに付随するチュートリアルへのリンクに使用されています。該当するコードはコメント・タグで囲まれています。サンプル・サイトでチュートリアルを無効にする場合は、このコードを単純に削除してください。このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。

5.8.2 Ravenna Hosting のパートナー・リスト：要素

Ravenna Hosting のパートナー・リスト・フラグメントには、3つの WYSIWYG 要素が含まれています。パートナー名、パートナー・ロゴおよびパートナー詳細の要素です。

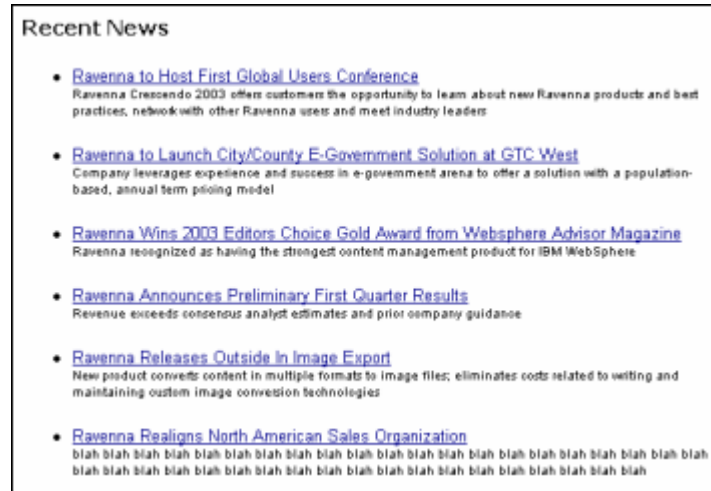
名前	ラベル	タイプ
名前	Partner Name	wysiwyg
ロゴ	Partner Logo	wysiwyg
詳細	Partner Description	wysiwyg

これらの要素は、デザイナーの「Contribution Toolbar」で使用できる WYSIWYG 要素と同じです。異なるのは、フラグメントに格納されること、およびツールバーから直接追加するのではなく、フラグメントの形式でレイアウト・ページに追加できることです。

5.9 Ravenna Hosting のニュース・リスト

Ravenna Hosting のニュース・リストは、動的リスト・フラグメントの1つで (図 5-23)、コンテンツ・サーバーに格納されているシステム固有ドキュメントの問合せを実行し、Web ページに表示します。

図 5-23 Ravenna Hosting のニュース・リスト



Web サイト上のその他の動的リスト・フラグメント (5-6 ページの「[Ravenna Hosting の製品リスト](#)」など) と同様に、このフラグメントは、コンテンツ・サーバーの組み合せサービスを使用して、特定のドキュメント・タイプ (rvh_newsstory) と一致するファイルを検索します。問合せ結果は、項目ごとに (ハイパーリンクとして機能する) タイトルおよび説明を含む、箇条書きリストとして表示されます。

その他の多くの動的リスト・フラグメントとは異なり、このフラグメントは、(コントリビュータ・データファイルではなく) システム固有ドキュメントを検索します。Web サイト上でドキュメントを表示するには、Dynamic Converter が必要です (『[Site Studio Tutorial Setup Guide](#)』を参照)。このフラグメントは、News セクションのみで使用されています。

Ravenna Hosting のニュース・リストは、次の部分で構成されます。

- 5-26 ページの「[Ravenna Hosting のニュース・リスト: Snippet](#)」
- 5-28 ページの「[Ravenna Hosting のニュース・リスト: アセット](#)」
- 5-28 ページの「[Ravenna Hosting のニュース・リスト: パラメータ](#)」

データファイルを表示する動的リストとは異なり (5-6 ページの「[Ravenna Hosting の製品リスト](#)」を参照)、システム固有ドキュメントを表示する動的リストは、必ずしもコントリビューション・リージョンに配置する必要はありません。コントリビュータ・エディタを使用する必要がないためです (ドキュメントは関連付けられているアプリケーションを使用して開きます)。ただし、セカンダリ・ページ上に、個々のドキュメントを表示する (置換可能な) コントリビューション・リージョンが必要です。(この置換可能なリージョンには要素は不要です。)

これらのドキュメントをリストに表示するには、動的リストの問合せで使用するものと同じメタデータ (サンプル・フラグメントのパラメータ設定のいずれか) を使用してチェックインする必要があります。Ravenna Hosting サイトでは、システム固有ドキュメントは設定時にチェックインされています。

システム固有ドキュメントにも、ドキュメントを HTML に変換するための Dynamic Converter テンプレートが必要です。Ravenna Hosting サイトには、News セクションのシステム固有ドキュメント用の特別なテンプレート (rvh_dctemplate_newsstory_html.ttp) が含まれています。

注意： レイアウト・ページに動的リストを追加する場合は、置換可能としてマークされたコントリビューション・リージョンを持つセカンダリ・ページも追加する必要があります。セカンダリ・ページおよび置換可能リージョンは、プライマリ・ページ上のリストに追加される新しいシステム固有ドキュメントの背景として機能します。このフラグメントには要素は含まれていません。これは、このフラグメントによって表示されるシステム固有ドキュメントに要素が含まれないためです。コントリビュータは、最初にファイルの作成に使用したアプリケーション（たとえば Microsoft Word）を使用してドキュメントを編集します。

5.9.1 Ravenna Hosting のニュース・リスト : Snippet

Ravenna Hosting のニュース・リスト・フラグメントには、ヘッドおよびドロップポイントの 2 つの Snippet があります。Cascading Style Sheet を含むこのようなフラグメントでは、一般的に 2 つの Snippet が必要になります。1 つは Web ページのヘッドに配置される情報用、もう 1 つは Web ページの本体に配置される情報用です。両方の Snippet は参照によって組み込まれます。

- 5-26 ページの「組込み（ヘッド Snippet）」
- 5-26 ページの「表示（ドロップポイント Snippet）」

5.9.1.1 組込み（ヘッド Snippet）

スクリプトの、ヘッド情報を宣言する部分（HTML <head> タグに格納される情報）は、次のヘッド Snippet に変換されています。

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="<!--$HttpRelativeFragmentsRoot-->
rvh_newslist/rvh_newslist.css"></link>
```

5.9.1.2 表示（ドロップポイント Snippet）

Web ページ上でスクリプトの組込みを指定するコードは、次のドロップポイント Snippet に変換されています。

```
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->
<!--$if SSContributor and isTrue(SSContributor) -->
    <script>generateTutorialLink('rvh_newslist', 'click here to learn more about the
news dynamic list fragment');</script>
<!--$endif -->
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->

<!--$ssQueryText          = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssQueryText")-->
<!--$ssSortField         = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssSortField")-->
<!--$ssSortOrder        = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssSortOrder")-->
<!--$ssResultCount      = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssResultCount")-->
<!--$ssLimitScope       = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssLimitScope")-->
<!--$ssTargetNodeId     = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
" _ssTargetNodeId")-->
<!--$ssNextRow          = getValue("#active", ssFragmentInstanceId & "_NextRow")-->
<!--$ssUserSearchText   = "" -->
<!--$ssSourceSiteId     = siteId -->
<!--$ssSourceNodeId     = nodeId -->
```

```

<!--$ssWebsiteObjectType = "" -->
<!--$ssDontShowInLists = "true" -->

<!--$if strEquals(ssNextRow, '')-->
  <!--$ssNextRow=1-->
<!--$endif-->

<!--$QueryText=eval(ssQueryText)-->
<!--$SortField=ssSortField-->
<!--$SortOrder=ssSortOrder-->
<!--$ResultCount=ssResultCount-->
<!--$StartRow=ssNextRow-->

<!--$executeService("SS_GET_SEARCH_RESULTS")-->

<!--$if SearchResults-->

  <!--$ssFirstHit=ssNextRow-->
  <!--$ssLastHit=ssNextRow + SearchResults.#numRows - 1-->

  <ul>
    <!--$loop SearchResults-->
      <li>
        <a class="rvh_newslist" href="<!--$ssUrl-->"><!--$dDocTitle--></a><br>
        <div class="rvh_newslist-comment"><!--$xComments--></div><br>
      </li>
    <!--$endloop-->
  </ul>

  <!--$ssNextRow = ssNextRow + ResultCount-->
  <!--$if ssNextRow le TotalRows-->
    <a class="rvh_newslist" href='?<!--$ssFragmentInstanceId-->
    _NextRow=<!--$ssNextRow-->'>More...</a>
  <!--$endif-->

<!--$else-->
  <div class="rvh_newslist">
    No News Stories Available.
  </div>
<!--$endif-->

```

注意： このフラグメントに含まれる一部のコードは、Ravenna Hosting サイトに付随するチュートリアルへのリンクに使用されています。該当するコードはコメント・タグで囲まれています。サンプル・サイトでチュートリアルを無効にする場合は、このコードを単純に削除してください。このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。

5.9.2 Ravenna Hosting のニュース・リスト:アセット

Ravenna Hosting のニュース・リスト・フラグメントには、1つのアセット（Cascading Style Sheet）が含まれています。

5.9.2.1 rvh_newslst.css

このフラグメントの Cascading Style Sheet により、この機能のほとんどの書式設定（フォントの色およびサイズなど）が提供されます。

```
.rvh_newslst,
.rvh_newslst A:link,
.rvh_newslst A:visited,
{
  color:darkblue;
  text-decoration:underlined;
  font-family: arial, sans-serif;
  font-size: x-small;
  width: 100%;
}

.rvh_newslst-comment,
.rvh_newslst-comment A:link,
.rvh_newslst-comment A:visited,
{
  color:black;
  text-decoration:none;
  font-family: arial, sans-serif;
  font-size: xx-small;
  width: 100%;
}
```

5.9.3 Ravenna Hosting のニュース・リスト:パラメータ

Ravenna Hosting のニュース・リスト・フラグメントには、次のパラメータが含まれています。

パラメータ名	説明
ssQueryText	コンテンツ・サーバー内で実行する実際の間合せを指定するための managedquery パラメータ。 Ravenna Hosting サイトに含まれている値は次のとおりです。 dDocType <Substring> 'rvh_newsstory' <AND> xSearchable <Substring> `true`
ssSortField	検索結果項目のソートに使用されるフィールドを変更するテキスト・パラメータ。 Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、dInDate です。
ssSortOrder	昇順または降順の値に基づいてリストの項目をソートするためのテキスト・パラメータ。 Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、Desc（降順）です。
ssResultCount	特定のページに表示する項目の数を指定するための整数パラメータ。 Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、10 です。

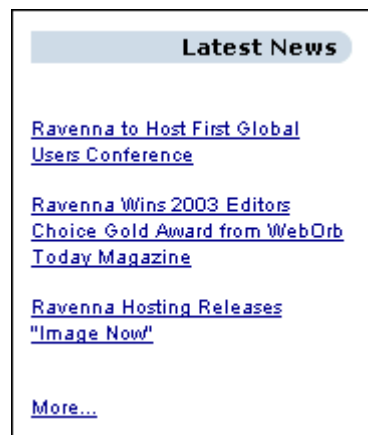
パラメータ名	説明
ssLimitScope	<p>検索範囲をこの Web サイトに制限するためのプール・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、False です。</p> <p>True に設定した場合は、このサイトに属する（「Websites」フィールドに適切な「SiteID」が含まれている）コンテンツ項目のみが検索されます。False に設定した場合は、コンテンツ・サーバーのすべての項目が検索されます。このサイトおよびコンテンツ・サーバー内のその他のサイトの項目も含まれる可能性があります。</p> <p>値を False に設定すると、コンテンツ・サーバーに含まれる、ドキュメント・タイプが rvh_newsstory のすべてのドキュメントが Ravenna Hosting サイトの News セクションに表示されます（次のパラメータ設定を参照）。これは、複数の Web サイトでコンテンツを共有することがいかに強力に便利かを示す例です（『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照）。</p>
ssTargetNodeId	<p>コンテンツ項目が表示される Web サイト上のセクションを指定するための nodeid パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、9022 です。</p> <p>ニュースの「Section ID」は 9022 であるため、9020 を指定することで、リスト内のシステム固有ドキュメントをクリックしたときに News セクションが表示されます。したがって、TargetNodeId として指定されたセクションにシステム固有ファイル（またはデータファイル）が表示されるという、Site Studio の最初の規則が使用されます（『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照）。</p>

注意： 各パラメータの個々の設定の詳細は、このフラグメントを Fragment Editor で開いて表示してください。

5.10 Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース

Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース・リストは、動的リスト・フラグメントの 1 つで (図 5-24)、コンテンツ・サーバーに格納されているシステム固有ドキュメントの間合せを実行し、Web ページに表示します。このフラグメントは、同じプレス・リリースの縮小版を提供することで主要なニュース・リスト (5-25 ページの「Ravenna Hosting のニュース・リスト」を参照) を補足し、Web サイトの各ページに表示するために設計されています。

図 5-24 Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース



Ravenna Hosting のニュース・リスト・フラグメントと同様に (5-25 ページの「[Ravenna Hosting のニュース・リスト](#)」を参照)、このフラグメントは、特定のドキュメント・タイプ (rvh_newsstory) と一致するシステム固有ドキュメントを検索します。また、Ravenna Hosting のニュース・リスト・フラグメントと同様に、リストに含まれるドキュメントを表示するには、Dynamic Converter が必要になります (『Site Studio Tutorial Setup Guide』を参照)。

一方、このフラグメントは、問合せ結果を凝縮されたリンクのリストとして表示します (それぞれのタイトルがリンクとして機能します)。この点では Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト (5-10 ページの「[Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト](#)」を参照) と類似しています。

このフラグメントは、Products の下にあるセクションを除き、Ravenna Hosting Web サイト全体で再利用されています。

Ravenna Hosting のニュース・リスト・フラグメントと同様に (5-25 ページの「[Ravenna Hosting のニュース・リスト](#)」を参照)、このフラグメントはコントリビューション・リージョンに配置されていません。これは、コントリビュータ・アプリケーションを使用する必要がないためです (リスト内のドキュメントは、関連付けられているアプリケーションを使用して開きます)。

このリスト内のドキュメントは、News セクションに表示されます。これは、このセクションが指定されたターゲット・ノード (このフラグメントのパラメータの 1 つ) であるためです (5-33 ページの「[Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース : パラメータ](#)」を参照)。

Ravenna Hosting のサイドバー製品リストは、次の部分で構成されます。

- 5-30 ページの「[Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース : Snippet](#)」
- 5-32 ページの「[Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース : アセット](#)」
- 5-33 ページの「[Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース : パラメータ](#)」

注意： このフラグメントには要素は含まれていません。これは、このフラグメントによって処理されるシステム固有ドキュメントに要素が含まれないためです。コントリビュータは、システム固有ファイルを作成したアプリケーション (Microsoft Word など) を使用してドキュメントを編集します。

5.10.1 Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース : Snippet

Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース・フラグメントには、ヘッドおよびドロップポイントの 2 つの Snippet があります。Cascading Style Sheet を含むこのようなフラグメントでは、一般的に 2 つの Snippet が必要になります。1 つは Web ページのヘッドに配置される情報用、もう 1 つは Web ページの本体に配置される情報用です。両方の Snippet は参照によって組み込まれます。

- 5-30 ページの「[組込み \(ヘッド Snippet\)](#)」
- 5-31 ページの「[表示 \(ドロップポイント Snippet\)](#)」

5.10.1.1 組込み (ヘッド Snippet)

スクリプトの、ヘッド情報を宣言する部分 (HTML <head> タグに格納される情報) は、次のヘッド Snippet に変換されています。

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="!!--$HttpRelativeFragmentsRoot-->
rvh_sidebarnews/rvh_sidebarnews.css"></link>
```

5.10.1.2 表示（ドロップポイント Snippet）

Web ページ上でスクリプトの組込みを指定するコードは、次のドロップポイント Snippet に変換されています。

```
<span style="white-space:nowrap">
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->
<!--$if SSContributor and isTrue(SSContributor) -->
  <script>generateTutorialLink('rvh_sidebarnews', 'click here to learn more about the
sidebar news dynamic list fragment');</script>
<!--$endif -->
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->
</img>
</span>

<br><br>

<!--$ssQueryText          = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
"_ssQueryText")-->
<!--$ssSortField          = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
"_ssSortField")-->
<!--$ssSortOrder          = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
"_ssSortOrder")-->
<!--$ssResultCount        = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
"_ssResultCount")-->
<!--$ssLimitScope         = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
"_ssLimitScope")-->
<!--$ssTargetNodeId       = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
"_ssTargetNodeId")-->
<!--$ssNextRow            = getValue("#active", ssFragmentInstanceId & "_NextRow")-->
<!--$ssUserSearchText     = "" -->
<!--$ssSourceSiteId       = siteId -->
<!--$ssSourceNodeId       = nodeId -->
<!--$ssWebsiteObjectType  = "" -->
<!--$ssDontShowInLists    = "true" -->

<!--$if strEquals(ssNextRow, '')-->
  <!--$ssNextRow=1-->
<!--$endif-->

<!--$QueryText=eval(ssQueryText)-->
<!--$SortField=ssSortField-->
<!--$SortOrder=ssSortOrder-->
<!--$ResultCount=ssResultCount-->
<!--$StartRow=ssNextRow-->

<!--$executeService("SS_GET_SEARCH_RESULTS")-->

<!--$if SearchResults-->

  <!--$loop SearchResults-->
    <a class="rvh_sidebarnews" href="<!--$ssUrl-->"><!--$dDocTitle--></a><br><br>
  <!--$endloop-->

  <br><a class="rvh_sidebarnews"
href="<!--$ssServerRelativeSiteRoot-->News/index.htm">More...</a>

<!--$else-->
  <div class="rvh_sidebarnews">
```

```

        No News Stories Available.
    </div>
<!--$endif-->

```

注意：このフラグメントに含まれる一部のコードは、Ravenna Hosting サイトに付随するチュートリアルへのリンクに使用されています。該当するコードはコメント・タグで囲まれています。サンプル・サイトでチュートリアルを無効にする場合は、このコードを単純に削除してください。このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。

5.10.2 Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース：アセット

Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース・フラグメントには、次の 2 つのアセットが含まれています。

- 5-32 ページの「[rvh_sidebarnews.css](#)」
- 5-32 ページの「[rvh_banner_latestnews.gif](#)」

5.10.2.1 rvh_sidebarnews.css

このフラグメントの Cascading Style Sheet により、この機能のほとんどの書式設定（フォントの色およびサイズなど）が提供されます。

```

.rvh_sidebarnews,
.rvh_sidebarnews A:link,
.rvh_sidebarnews A:visited,
{
    color:darkblue;
    text-decoration:underlined;
    font-family: arial, sans-serif;
    font-size: xx-small;
    width: 100%;
}

```

5.10.2.2 rvh_banner_latestnews.gif

このフラグメントに含まれる Latest News グラフィック（[図 5-25](#)）は、リンクの上に表示される青いヘッダーとして機能します。Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト（5-10 ページの「[Ravenna Hosting のサイドバー製品リスト](#)」を参照）におけるアセットの使用方法与類似しています。このグラフィックは、アセットとしてフラグメントとともにコンテナサーバーに格納されており、フラグメント内のコードが簡単に参照できます。

図 5-25 Latest News サイドバー・アイコン



5.10.3 Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース : パラメータ

Ravenna Hosting のサイドバー・ニュース・フラグメントには、次のパラメータが含まれています。

パラメータ名	説明
ssQueryText	<p>コンテンツ・サーバー内で実行する実際の間合せを指定するための managedquery パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は次のとおりです。</p> <pre>dDocType <Substring> `rvh_newsstory` <AND> xSearchable <Substring> `true`</pre>
ssSortField	<p>検索結果項目のソートに使用されるフィールドを変更するテキスト・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、dInDate です。</p>
ssSortOrder	<p>昇順または降順の値に基づいてリストの項目をソートするためのテキスト・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting には、このパラメータの値は含まれていません。</p>
ssResultCount	<p>特定のページに表示する項目の数を指定するための整数パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、3 です。</p>
ssLimitScope	<p>検索範囲をこの Web サイトに制限するためのプール・パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、True です。</p> <p>True に設定した場合は、このサイトに属する（「Websites」フィールドに適切な「SiteID」が含まれている）コンテンツ項目のみが検索されます。False に設定した場合は、コンテンツ・サーバーのすべての項目が検索されます。このサイトおよびコンテンツ・サーバー内のその他のサイトの項目も含まれる可能性があります。</p>
ssTargetNodeId	<p>コンテンツ項目が表示される Web サイト上のセクションを指定するための nodeid パラメータ。</p> <p>Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、9022 です。</p> <p>ニュースの「Section ID」は 9022 であるため、9020 を指定することで、リスト内のシステム固有ドキュメントをクリックしたときに News セクションが表示されます。したがって、TargetNodeId として指定されたセクションにシステム固有ファイル（またはデータファイル）が表示されるという、Site Studio の最初の規則が使用されます。</p> <p>ただし、News ページ上ではターゲット・ノードは指定されていないため、システム固有ドキュメント（またはデータファイル）はリンク元のセクションに表示されるという、Site Studio の 3 番目の規則がドキュメントによって使用されます（『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照）。</p>

注意： 各パラメータの個々の設定の詳細は、このフラグメントを Fragment Editor で開いて表示してください。

5.11 Ravenna Hosting のマネージャ

Ravenna Hosting のマネージャ・フラグメント (図 5-26) は、Site Studio に同梱されている Ravenna Hosting サイト・フラグメントの変更版です。サイト・マネージャがサイト階層を変更するための手段として、Ravenna Hosting サイトにこのフラグメントが含まれています。

図 5-26 Ravenna Hosting のマネージャ



Manage Site というサイト階層にセクションが追加され、コントリビュータ専用セクションとして指定されました (第 2 章「Ravenna Hosting のアーキテクチャ」を参照)。

そのため、このセクションはコントリビュータ・モードのみで表示されます。これにより、サイト・マネージャは、サイトにログオンしてコントリビュータ・モードを有効にし、Manage Site セクションに移動してサイト階層の変更を開始できます。セクションの追加および削除、レイアウト・ページの割当て、サイト・プロパティの変更などが可能です。

マネージャのロック・アンド・フィールドを変更するには、Ravenna Hosting のマネージャ・フラグメントを変更する必要があります。具体的には、CSS アセット・ファイルを編集する必要があります。マネージャに含まれているユーザー設定を変更するには、新しいマネージャ設定ファイルを作成し、「Site Assets」ペインを使用してプロパティを変更して、Ravenna から参照します。

5.12 Ravenna Hosting のダウンロード・リスト

Ravenna Hosting のダウンロード・リストは、動的リスト・フラグメントの1つで (図 5-27)、コンテンツ・サーバーに格納されているタイプ `rvh_download` の ZIP ファイルの問合せを実行し、ダウンロード・リンクとともに Web ページにリストを表示します。

図 5-27 Ravenna ダウンロード・リスト

Service Packs, BIOS Updates and Driver Updates
Ravenna Hosting Download - File Server Service Pack 1 (download)
Ravenna Hosting Download - Firewall Bios 2.0 (download)
Ravenna Hosting Download - Firewall Bios 2.1 (download)
Ravenna Hosting Download - Firewall Bios 3.0 (download)
Ravenna Hosting Download - Load Balancer Bios 7.0 (download)
Ravenna Hosting Download - Mail Server Service Pack 1 (download)
Ravenna Hosting Download - NIC Driver 2.7.0 (download)
Ravenna Hosting Download - NIC Driver 2.7.1 (download)
Ravenna Hosting Download - Web Server Service Pack 1 (download)
Ravenna Hosting Download - Web Server Service Pack 2 (download)

Web サイト上のその他の動的リスト・フラグメント (5-25 ページの「[Ravenna Hosting のニュース・リスト](#)」など) と同様に、このフラグメントは、コンテンツ・サーバーの組込み問合せサービスを使用して、特定のドキュメント・タイプ (`rvh_download`) と一致するファイルを検索します。問合せ結果は、リストとしてダウンロード・リンクとともに表示されます。

Ravenna Hosting のダウンロード・リストは、次の部分で構成されます。

- 5-35 ページの「[Ravenna Hosting のダウンロード・リスト: Snippet](#)」
- 5-37 ページの「[Ravenna Hosting のダウンロード・リスト: アセット](#)」
- 5-38 ページの「[Ravenna Hosting のダウンロード・リスト: パラメータ](#)」

5.12.1 Ravenna Hosting のダウンロード・リスト: Snippet

Ravenna Hosting のダウンロード・リスト・フラグメントには、ヘッドおよびドロップポイントの2つの Snippet があります。Cascading Style Sheet を含むこのようなフラグメントでは、一般的に2つの Snippet が必要になります。1つは Web ページのヘッドに配置される情報用、もう1つは Web ページの本体に配置される情報用です。両方の Snippet は参照によって組み込まれます。

- 5-7 ページの「[組込み \(ヘッド Snippet\)](#)」
- 5-7 ページの「[表示 \(ドロップポイント Snippet\)](#)」

5.12.1.1 組込み (ヘッド Snippet)

スクリプトの、ヘッド情報を宣言する部分 (HTML `<head>` タグに格納される情報) は、次のヘッド Snippet に変換されています。

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="<!--$HttpRelativeFragmentsRoot-->rvh_downloadslist/rvh_downloadslist.css"></link>
```

5.12.1.2 表示（ドロップポイント Snippet）

Web ページ上でスクリプトの組込みを指定するコードは、次のドロップポイント Snippet に変換されています。

```
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->
<!--$if SSContributor and isTrue(SSContributor) -->
    <script>generateTutorialLink('rvh_downloadslist', 'click here to learn more about
the downloads dynamic list fragment');</script>
<!--$endif -->
<!--*****-->
<!--***** TUTORIAL HYPERLINK *****-->
<!--*****-->

<!--$ssTitle           = getValue("#active", ssFragmentInstanceId & "_ssTitle")-->
<!--$ssQueryText       = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
"_ssQueryText")-->
<!--$ssSortField       = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
"_ssSortField")-->
<!--$ssSortOrder       = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
"_ssSortOrder")-->
<!--$ssResultCount     = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
"_ssResultCount")-->
<!--$ssLimitScope      = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
"_ssLimitScope")-->
<!--$ssTargetNodeId    = getValue("#active", ssFragmentInstanceId &
"_ssTargetNodeId")-->
<!--$ssNextRow         = getValue("#active", ssFragmentInstanceId & "_NextRow")-->
<!--$ssUserSearchText  = "" -->
<!--$ssSourceSiteId    = siteId -->
<!--$ssSourceNodeId    = nodeId -->
<!--$ssWebsiteObjectType = "" -->
<!--$ssDontShowInLists = "true" -->

<!--$if strEquals(ssNextRow, '')-->
    <!--$ssNextRow=1-->
<!--$endif-->

<!--$QueryText=eval(ssQueryText)-->
<!--$SortField=ssSortField-->
<!--$SortOrder=ssSortOrder-->
<!--$ResultCount=ssResultCount-->
<!--$StartRow=ssNextRow-->

<!--$executeService("SS_GET_SEARCH_RESULTS")-->

<!--$if SearchResults-->

    <!--$ssFirstHit=ssNextRow-->
    <!--$ssLastHit=ssNextRow + SearchResults.numRows - 1-->

    <table border=1 cellspacing=0 cellpadding=3>
        <tr>
            <td style="color:#ffffff; background-color:
#006699"><b><!--$ssTitle--></b></td>
        </tr>
        <!--$loop SearchResults-->
        <tr>
            <td>
                <span class="rvh_downloadslist-title"><!--$dDocTitle--></span>
                (<a class="rvh_downloadslist-link" href="<!--$HttpCgiPath-->?IdcService=
GET_FILE&dDocName=<!--$dDocName-->&Rendition=Primary&RevisionSelectionMethod=
```



```

LatestReleased">download</a>
        </td>
    </tr>
    <!--$endloop-->
</table>

<!--$ssNextRow = ssNextRow + ResultCount-->
<!--$if ssNextRow le TotalRows-->
    <a class="rvh_downloadslist" href='?<!--$ssFragmentInstanceId-->
_NextRow=<!--$ssNextRow-->'>More...</a>
    <!--$endif-->

<!--$else-->
    <div class="rvh_downloadslist">
        No Downloads Available.
    </div>
<!--$endif-->

```

注意： このフラグメントに含まれる一部のコードは、Ravenna Hosting サイトに付随するチュートリアルへのリンクに使用されています。該当するコードはコメント・タグで囲まれています。サンプル・サイトでチュートリアルを無効にする場合は、このコードを単純に削除してください。このコードには行の折り返しが含まれる場合があります。元のコードを表示したりコピー・アンド・ペーストする場合は、Fragment Editor でフラグメントを開いてください。

5.12.2 Ravenna Hosting のダウンロード・リスト：アセット

Ravenna Hosting のダウンロード・リスト・フラグメントには、1つのアセット（Cascading Style Sheet）が含まれています。

5.12.2.1 rvh_downloadslist.css

このフラグメントの Cascading Style Sheet により、この機能のほとんどの書式設定（フォントの色およびサイズなど）が提供されます。

```

.rvh_downloadslist-title,
.rvh_downloadslist-title A:link,
.rvh_downloadslist-title A:visited,
{
    color:black;
    text-decoration:none;
    font-family: arial, sans-serif;
    font-size: x-small;
}

.rvh_downloadslist-link,
.rvh_downloadslist-link A:link,
.rvh_downloadslist-link A:visited,
{
    font-family: arial, sans-serif;
    font-size: x-small;
}

.rvh_downloadslist-comment,
.rvh_downloadslist-comment A:link,
.rvh_downloadslist-comment A:visited,
{
    color:black;
    text-decoration:none;
    font-family: arial, sans-serif;
    font-size: x-small;
}

```

5.12.3 Ravenna Hosting のダウンロード・リスト : パラメータ

Ravenna Hosting のダウンロード・リスト・フラグメントには、次のパラメータが含まれています。

パラメータ名	説明
ssTitle	このリストの上にタイトルを表示するためのテキスト・パラメータ。
ssQueryText	コンテンツ・サーバー内で実行する実際の間合せを指定するための managedquery パラメータ。 Ravenna Hosting サイトに含まれている値は次のとおりです。 dDocType <Substring> `rvh_download` <AND> xSearchable <Substring> `true`
ssSortField	検索結果項目のソートに使用されるフィールドを変更するテキスト・パラメータ。 Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、dDocName です。
ssSortOrder	昇順または降順の値に基づいてリストの項目をソートするためのテキスト・パラメータ。 Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、Asc (昇順) です。
ssResultCount	特定のページに表示する項目の数を指定するための整数パラメータ。 Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、15 です。
ssLimitScope	検索範囲をこの Web サイトに制限するためのプール・パラメータ。 Ravenna Hosting サイトに含まれている値は、True です。 True に設定した場合は、このサイトに属する (「Websites」フィールドに適切な「SiteID」が含まれている) コンテンツ項目のみが検索されます。False に設定した場合は、コンテンツ・サーバーのすべての項目が検索されます。このサイトおよびコンテンツ・サーバー内のその他のサイトの項目も含まれる可能性があります。
ssTargetNodeId	コンテンツ項目が表示される Web サイト上のセクションを指定するための nodeid パラメータ。

サード・パーティ・ライセンス

この付録では、この製品に含まれるすべてのサード・パーティ製品のサード・パーティ・ライセンスを示します。

- A-2 ページの「[Apache Software License](#)」
- A-2 ページの「[W3C Software Notice and License](#)」
- A-3 ページの「[Zlib License](#)」
- A-3 ページの「[General BSD License](#)」
- A-4 ページの「[General MIT License](#)」
- A-4 ページの「[Unicode License](#)」
- A-5 ページの「その他の帰属」

A.1 Apache Software License

- * Copyright 1999-2004 The Apache Software Foundation.
- * Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the
- * "License"); you may not use this file except in compliance
- * with the License.
- * You may obtain a copy of the License at
- * <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>
- *
- * Unless required by applicable law or agreed to in writing,
- * software distributed under the License is distributed on an
- * "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND,
- * either express or implied.
- * See the License for the specific language governing
- * permissions and limitations under the License.

A.2 W3C Software Notice and License

- * Copyright 1994-2000 World Wide Web Consortium,
- * (Massachusetts Institute of Technology, Institut National de
- * Recherche en Informatique et en Automatique, Keio University).
- * All Rights Reserved. <http://www.w3.org/Consortium/Legal/>
- *
- * This W3C work (including software, documents, or other related
- * items) is being provided by the copyright holders under the
- * following license. By obtaining, using and/or copying this
- * work, you (the licensee) agree that you have read, understood,
- * and will comply with the following terms and conditions:
- *
- * Permission to use, copy, modify, and distribute this software
- * and its documentation, with or without modification, for any
- * purpose and without fee or royalty is hereby granted, provided
- * that you include the following on ALL copies of the software
- * and documentation or portions thereof, including
- * modifications, that you make:
- *
- * 1. The full text of this NOTICE in a location viewable to
- * users of the redistributed or derivative work.
- *
- * 2. Any pre-existing intellectual property disclaimers,
- * notices, or terms and conditions. If none exist, a short
- * notice of the following form (hypertext is preferred, text is
- * permitted) should be used within the body of any redistributed
- * or derivative code: "Copyright [date-of-software] World
- * Wide Web Consortium, (Massachusetts Institute of Technology,
- * Institut National de Recherche en Informatique et en
- * Automatique, Keio University). All Rights Reserved.
- * <http://www.w3.org/Consortium/Legal/>"
- *
- * 3. Notice of any changes or modifications to the W3C files,
- * including the date changes were made. (We recommend you
- * provide URIs to the location from which the code is derived.)
- *
- * THIS SOFTWARE AND DOCUMENTATION IS PROVIDED "AS IS," AND
- * COPYRIGHT HOLDERS MAKE NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES,
- * EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES
- * OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE OR
- * THAT THE USE OF THE SOFTWARE OR DOCUMENTATION WILL NOT
- * INFRINGE ANY THIRD PARTY PATENTS, COPYRIGHTS, TRADEMARKS OR
- * OTHER RIGHTS.
- *
- * COPYRIGHT HOLDERS WILL NOT BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,

* SPECIAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF ANY USE OF THE
 * SOFTWARE OR DOCUMENTATION.
 *
 * The name and trademarks of copyright holders may NOT be used
 * in advertising or publicity pertaining to the software without
 * specific, written prior permission. Title to copyright in this
 * software and any associated documentation will at all times
 * remain with copyright holders.
 *

A.3 Zlib License

* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.3,
 July 18th, 2005

Copyright (C) 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org

Mark Adler madler@alumni.caltech.edu

A.4 General BSD License

Copyright (c) 1998, Regents of the University of California
 All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

"Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

"Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

"Neither the name of the <ORGANIZATION> nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

A.5 General MIT License

Copyright (c) 1998, Regents of the Massachusetts Institute of Technology
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

A.6 Unicode License

UNICODE, INC. LICENSE AGREEMENT - DATA FILES AND SOFTWARE

Unicode Data Files include all data files under the directories

<http://www.unicode.org/Public/>, <http://www.unicode.org/reports/>, and

<http://www.unicode.org/cldr/data/> . Unicode Software includes any source code published in the Unicode Standard or under the directories <http://www.unicode.org/Public/>, <http://www.unicode.org/reports/>, and <http://www.unicode.org/cldr/data/>.

NOTICE TO USER: Carefully read the following legal agreement. BY DOWNLOADING, INSTALLING, COPYING OR OTHERWISE USING UNICODE INC.'S DATA FILES ("DATA FILES"), AND/OR SOFTWARE ("SOFTWARE"), YOU UNEQUIVOCALLY ACCEPT, AND AGREE TO BE BOUND BY, ALL OF THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS AGREEMENT. IF YOU DO NOT AGREE, DO NOT DOWNLOAD, INSTALL, COPY, DISTRIBUTE OR USE THE DATA FILES OR SOFTWARE.

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright 1991-2006 Unicode, Inc. All rights reserved. Distributed under the Terms of Use in <http://www.unicode.org/copyright.html>.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Unicode data files and any associated documentation (the "Data Files") or Unicode software and any associated documentation (the "Software") to deal in the Data Files or Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Data Files or Software, and to permit persons to whom the Data Files or Software are furnished to do so, provided that (a) the above copyright notice(s) and this permission notice appear with all copies of the Data Files or Software, (b) both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in associated documentation, and (c) there is clear notice in each modified Data File or in the Software as well as in the documentation associated with the Data File(s) or Software that the data or software has been modified.

THE DATA FILES AND SOFTWARE ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE DATA FILES OR SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in these Data Files or Software without prior written authorization of the copyright holder.

Unicode and the Unicode logo are trademarks of Unicode, Inc., and may be registered in some jurisdictions. All other trademarks and registered trademarks mentioned herein are the property of their respective owners

A.7 その他の帰属

Adobe, Acrobat, and the Acrobat Logo are registered trademarks of Adobe Systems Incorporated.

FAST Instream is a trademark of Fast Search and Transfer ASA.

HP-UX is a registered trademark of Hewlett-Packard Company.

IBM, Informix, and DB2 are registered trademarks of IBM Corporation.

Jaws PDF Library is a registered trademark of Global Graphics Software Ltd.

Kofax is a registered trademark, and Ascent and Ascent Capture are trademarks of Kofax Image Products.

Linux is a registered trademark of Linus Torvalds.

Mac is a registered trademark, and Safari is a trademark of Apple Computer, Inc.

Microsoft, Windows, and Internet Explorer are registered trademarks of Microsoft Corporation.

MrSID is property of LizardTech, Inc. It is protected by U.S. Patent No. 5,710,835. Foreign Patents Pending.

Oracle is a registered trademark of Oracle Corporation.

Portions Copyright 1994-1997 LEAD Technologies, Inc. All rights reserved.

Portions Copyright 1990-1998 Handmade Software, Inc. All rights reserved.

Portions Copyright 1988, 1997 Aladdin Enterprises. All rights reserved.

Portions Copyright 1997 Soft Horizons. All rights reserved.

Portions Copyright 1995-1999 LizardTech, Inc. All rights reserved.

Red Hat is a registered trademark of Red Hat, Inc.

Sun is a registered trademark, and Sun ONE, Solaris, iPlanet and Java are trademarks of Sun Microsystems, Inc.

Sybase is a registered trademark of Sybase, Inc.

UNIX is a registered trademark of The Open Group.

Verity is a registered trademark of Autonomy Corporation plc

索引

C

Cascading Style Sheet

- rvh_breadcrumb.css, 4-17, 4-18
- rvh_footer.css, 4-27
- rvh_kblist.css, 5-18
- rvh_mainnavigation.css, 4-6
- rvh_miniproductslist.css, 5-13
- rvh_newslislist.css, 5-28, 5-37
- rvh_productlist.css, 5-9
- rvh_searchbox.css, 4-29
- rvh_searchresults.css, 4-34
- rvh_sidebarnews.css, 5-32
- rvh_sitemap.css, 4-21
- rvh_topnavigation.css, 4-15

「Comments」メタデータ

- コントリビューション・リージョン・ファイル, 2-14
- システム固有ドキュメント, 2-14

H

HTML

- フラグメント内, 3-4
- フラグメント内での参照, 2-8

I

Idoc スクリプト

- Ravenna Hosting Web サイトでの使用, 2-10
- フラグメント内, 3-4
- フラグメント内での参照, 2-8

J

JavaScript

- フラグメント内, 3-4
- フラグメント内での参照, 2-8

JavaScript ファイル

- rvh_breadcrumb.js, 4-17
- rvh_mainnavigation.js, 4-3

K

KB リスト・フラグメント, 4-28, 5-16

- rvh_kblist.css, 5-18
- Snippet, 5-17
- ssLimitScope パラメータ, 5-19
- ssQueryText パラメータ, 5-19

ssResultCount パラメータ, 5-19

ssSortField パラメータ, 5-19

ssSortOrder パラメータ, 5-19

アセット, 5-18

パラメータ, 5-19

R

Ravenna Hosting Web サイト, 4-28

Idoc スクリプトの使用, 2-10

KB リスト・フラグメント, 5-16

検索ボックス・フラグメント, 4-28

コンテンツ・サーバーの設定, 2-9

コントリビューション, 2-11

コントリビューション・モデル, 5-1

最上部ナビゲーション・フラグメント, 4-13, 4-15

サイト階層, 2-2

サイドバー製品リスト・フラグメント, 5-10

サイドバー・ニュース・フラグメント, 5-29

サイト・マップ・フラグメント, 4-19

作成されたフラグメント, 4-1

質問 1 フラグメント, 4-36

質問 2 フラグメント, 4-37

使用されているコンテンツ・タイプ, 2-10

所在地リスト・フラグメント, 5-20

スクリプト言語の使用, 2-10

製品リスト・フラグメント, 5-6

ダウンロード・リスト・フラグメント, 5-35

問合せサービス, 2-13

ニュース・リスト・フラグメント, 5-25

パートナー・リスト・フラグメント, 5-22

フッター・フラグメント, 4-24

ブレードクラム・フラグメント, 4-16

メイン・ナビゲーション・フラグメント, 4-2

メタデータの役割, 2-13

メタデータ・モデル, 2-11

レイアウト・ページの名前, 2-7

Ravenna Hosting サイト, 5-34

rvh_breadcrumb.css, 4-17, 4-18

rvh_breadcrumb.js, 4-17

rvh_downloadslislist.css, 5-37

rvh_footer.css, 4-27

rvh_kblist.css, 5-18

rvh_knowledgebasearticle ドキュメント・タイプ, 5-16

rvh_mainnavigation.css, 4-6

rvh_mainnavigation.js, 4-3

rvh_miniproductslist.css, 5-13

rvh_newslislist.css, 5-28

rvh_productdescription, 5-6, 5-10
rvh_productslist.css, 5-9
rvh_searchbox.css, 4-29
rvh_searchresults.css, 4-34
rvh_sidebarnews.css, 5-32
rvh_sitemap.css, 4-21
rvh_topnavigation.css, 4-15

S

Snippet

KB リスト・フラグメント, 5-17
検索結果フラグメント, 4-31
検索ボックス・フラグメント, 4-28
最上部ナビゲーション・フラグメント, 4-13
サイドバー製品リスト・フラグメント, 5-11
サイドバー・ニュース・フラグメント, 5-30
サイト・マップ・フラグメント, 4-20
質問 1 フラグメント, 4-37
質問 2 フラグメント, 4-38
所在地リスト・フラグメント, 5-21
製品リスト・フラグメント, 5-7
説明, 3-4
ダウンロード・リスト・フラグメント, 5-35
ニュース・リスト・フラグメント, 5-26
パートナ・リスト・フラグメント, 5-23
フッター・フラグメント, 4-26
ブレッドクラム・フラグメント, 4-16
メイン・ナビゲーション・フラグメント, 4-3
ssClassName パラメータ, 4-35, 4-36
ssDisplayField パラメータ, 4-35
ssHoverColor パラメータ, 4-35
ssLimitScope パラメータ, 4-35, 5-10, 5-15, 5-19, 5-29, 5-33, 5-38
ssQueryText パラメータ, 4-35, 5-9, 5-15, 5-19, 5-28, 5-33, 5-38
ssResultCount パラメータ, 4-35, 5-9, 5-15, 5-19, 5-28, 5-33, 5-38
ssResultsPage パラメータ, 4-30
ssSortField パラメータ, 4-35, 5-9, 5-15, 5-19, 5-28, 5-33, 5-38
ssSortOrder パラメータ, 4-35, 5-9, 5-15, 5-19, 5-28, 5-33, 5-38
ssSubmitButtonGraphic パラメータ, 4-30
ssTextColor パラメータ, 4-35
ssTitle パラメータ, 5-38
Stellent Dynamic Converter, 5-25
Stellent Site Studio コンポーネント, 2-8

T

「Title」メタデータ
コントリビューション・リージョン・ファイル, 2-14
システム固有ドキュメント, 2-14
「Type」メタデータ
コントリビューション・リージョン・ファイル, 2-13
システム固有ドキュメント, 2-13

W

WebsiteObjectType メタデータ, 2-14
「Websites」メタデータ, 2-14
WYSIWYG 要素, 5-3, 5-23

X

XML

フラグメント内のコード, 3-4
フラグメント・ライブラリ用ファイル, 2-8, 3-4

あ

アセット

KB リスト・フラグメント, 5-18
検索結果フラグメント, 4-34
検索ボックス・フラグメント, 4-29
サイドバー製品リスト・フラグメント, 5-13
サイドバー・ニュース・フラグメント, 5-32
サイト・マップ・フラグメント, 4-21
製品リスト・フラグメント, 5-9
説明, 3-5
ダウンロード・リスト・フラグメント, 5-37
ニュース・リスト・フラグメント, 5-28
フッター・フラグメント, 4-27
ブレッドクラム・フラグメント, 4-17
メイン・ナビゲーション・フラグメント, 4-3

か

カスタム要素, 5-5
カスタム要素を使用したコントリビューション・リージョン, 5-5

け

検索結果フラグメント, 4-30, 4-31
rvh_searchresults.css, 4-34
Snippet, 4-31
ssClassName パラメータ, 4-35, 4-36
ssDisplayField パラメータ, 4-35
ssHoverColor パラメータ, 4-35
ssLimitScope パラメータ, 4-35
ssQueryText パラメータ, 4-35
ssResultCount パラメータ, 4-35
ssSortField パラメータ, 4-35
ssSortOrder パラメータ, 4-35
ssTextColor パラメータ, 4-35
アセット, 4-34
問合せ, 4-31
パラメータ, 4-35
検索ボックス・フラグメント, 4-28
rvh_searchbox.css, 4-29
Snippet, 4-28
アセット, 4-29
パラメータ, 4-30, 4-40

こ

コンテンツ

レイアウト・ページへ直接追加, 3-2

コンテンツ ID

コントリビューション・リージョン・ファイル, 2-13
レイアウト・ページ, 2-6, 2-13

コンテンツ・サーバー

Ravenna Hosting Web サイト用の設定, 2-9
格納されるフラグメント・ライブラリ, 2-8
システム固有ドキュメントの問合せ, 5-25

問合せサービス, 2-13, 5-6, 5-16, 5-25, 5-35
コンテンツ・タイプ
Ravenna Hosting Web サイトでの使用, 2-11
コントリビューション・モデル, 5-1
設定, 5-4
コントリビューション・リージョン, 5-2
WYSIWYG 要素, 5-3
レイアウト・ページへのコンテンツの追加, 3-4
コントリビューション・リージョン・ファイル
「Comments」メタデータ, 2-14
「Title」メタデータ, 2-14
「Type」メタデータ, 2-13
コンテンツ ID, 2-13

さ

最上部ナビゲーション・フラグメント
Snippet, 4-13
アセット, 4-15
サイト階層, 4-2
計画, 2-2
最上部ナビゲーション, 4-13
サイト・マップ・フラグメント, 4-19
セクションの作成, 2-5
サイトのアーキテクチャおよびレイアウト・ページ, 2-5
サイトの管理, 5-34
サイドバー製品リスト・フラグメント, 5-10
Snippet, 5-11
アセット, 5-13
パラメータ, 5-15
サイドバー・ニュース・フラグメント, 5-29
rvh_sidebarnews.css, 5-32
Snippet, 5-30
ssLimitScope パラメータ, 5-33
ssQueryText パラメータ, 5-33
ssResultCount パラメータ, 5-33
ssSortField パラメータ, 5-33
ssSortOrder パラメータ, 5-33
アセット, 5-32
パラメータ, 5-33
サイト・マップ・フラグメント, 4-19
Snippet, 4-20
アセット, 4-21
再利用可能レイアウト・ページ, 2-5

し

システム固有ドキュメント
「Comments」メタデータ, 2-14
「Title」メタデータ, 2-14
「Type」メタデータ, 2-13
コンテンツ・サーバーでの問合せ, 5-25
質問 1 フラグメント, 4-36
Snippet, 4-37
質問 2 フラグメント, 4-37
Snippet, 4-38
所在地リスト・フラグメント, 5-20
Snippet, 5-21
要素, 5-22

す

スクリプト言語, 2-10

せ

静的リスト
説明, 5-20
フラグメント, 5-20, 5-22
製品リスト・フラグメント, 5-6
rvh_productslist.css, 5-9
Snippet, 5-7
ssLimitScope パラメータ, 5-10, 5-15, 5-19, 5-29, 5-33, 5-38
ssQueryText パラメータ, 5-9
ssResultCount パラメータ, 5-9
ssSortField パラメータ, 5-9
ssSortOrder パラメータ, 5-9
アセット, 5-9
パラメータ, 5-9
セカンダリ・ページ, 説明, 2-5
セクション, 作成, 2-5

た

ダウンロード・リスト・フラグメント, 5-35
rvh_downloadslist.css, 5-37
Snippet, 5-35
ssTitle パラメータ, 5-38
アセット, 5-37
パラメータ, 5-38

と

問合せ, 5-10
システム固有ドキュメント, 5-25
問合せサービス, 5-6, 5-16
動的リスト
セカンダリ・ページ, 5-26
フラグメント, 5-6, 5-10, 5-16, 5-25, 5-29, 5-35

な

ナビゲーション
最上部ナビゲーション・フラグメント, 4-15
サイト・マップ・フラグメント, 4-19
メイン・ナビゲーション・フラグメント, 4-2
レイアウト・ページ的设计, 3-2
ナレッジ・ベース・フラグメント, 「KB リスト・フラグメント」を参照

に

ニュース・リスト・フラグメント, 5-25
rvh_newslist.css, 5-28
Snippet, 5-26
ssLimitScope パラメータ, 5-29, 5-38
ssQueryText パラメータ, 5-28, 5-38
ssResultCount パラメータ, 5-28, 5-38
ssSortField パラメータ, 5-28, 5-38
ssSortOrder パラメータ, 5-28, 5-38
アセット, 5-28
パラメータ, 5-28

は

パートナ・リスト・フラグメント, 5-22
Snippet, 5-23
要素, 5-24
パラメータ
KB リスト・フラグメント, 5-19
ssClassName, 4-35, 4-36
ssDisplayField, 4-35
ssHoverColor, 4-35
ssLimitScope, 4-35, 5-10, 5-15, 5-19, 5-29, 5-33, 5-38
ssQueryText, 4-35, 5-9, 5-15, 5-19, 5-28, 5-33, 5-38
ssResultCount, 4-35, 5-9, 5-15, 5-19, 5-28, 5-33, 5-38
ssResultsPage, 4-30
ssSortField, 4-35, 5-9, 5-15, 5-19, 5-28, 5-33, 5-38
ssSortOrder, 4-35, 5-9, 5-15, 5-19, 5-28, 5-33, 5-38
ssSubmitButtonGraphic, 4-30
ssTextColor, 4-35
ssTitle, 5-38
サイドバー・ニュース・フラグメント, 5-33
製品リスト・フラグメント, 5-9
説明, 3-5
ダウンロード・リスト・フラグメント, 5-38
ニュース・リスト・フラグメント, 5-28

ふ

フッター・フラグメント, 4-24
rvh_footer.css, 4-27
Snippet, 4-26
アセット, 4-27
プライマリ・ページ, 説明, 2-5
フラグメント, 5-16
KB リスト, 4-28, 4-30
Snippet, 3-4
アセット, 2-8, 3-4, 3-5
検索結果, 4-30
検索ボックス, 4-28
最上部ナビゲーション, 4-13, 4-15
サイドバー・ニュース, 5-29
サイト・マップ, 4-19
質問 1, 4-36
質問 2, 4-37
製品リスト, 5-6
ダウンロード・リスト, 5-35
動的リスト, 5-6, 5-35
パラメータ, 3-5
フッター, 4-24
ブレッドクラム, 4-16
メイン・ナビゲーション, 4-2
要素, 3-5
ライブラリ, 2-8
レイアウト・ページへのコンテンツの追加, 3-3
フラグメント・ライブラリ
XML ファイル, 2-8
zip ファイル, 2-8
作成, 2-8
説明, 2-8, 3-4

フラグメント・ライブラリ用 zip ファイル, 2-8
ブレッドクラム・フラグメント, 4-16
rvh_breadcrumb.css, 4-17, 4-18
rvh_breadcrumb.js, 4-17
Snippet, 4-16
アセット, 4-17

ま

マネージャ, 5-34

み

ミニ製品リスト・フラグメント
rvh_miniproductslist.css, 5-13
ssLimitScope パラメータ, 5-15
ssQueryText パラメータ, 5-15
ssResultCount パラメータ, 5-15
ssSortField パラメータ, 5-15
ssSortOrder パラメータ, 5-15

め

メイン・ナビゲーションのグラフィック, 4-12
メイン・ナビゲーション・フラグメント, 4-2
rvh_mainnavigation.css, 4-6
rvh_mainnavigation.js, 4-3
Snippet, 4-3
アセット, 4-3
グラフィック, 4-12
メタデータ, 役割, 2-13

よ

要素
WYSIWYG, 5-3, 5-23, 5-24
イメージ, 5-22
カスタム, 5-5
説明, 3-5
プレーン・テキスト, 5-22

れ

レイアウト・ページ, 2-5
Ravenna Hosting Web サイトに使用されている名前, 2-7
コンテンツ ID, 2-6, 2-13
コンテンツを直接追加, 3-2
コントリビューション, 5-1
コントリビューション・リージョンでのコンテンツの追加, 3-4
再利用, 2-5
再利用可能のメリット, 2-5
設計, 3-1
ナビゲーション, 3-2
ネーミング規則, 2-6
複数のメリット, 2-5
複数または再利用可能, 2-5
フラグメントでのコンテンツの追加, 3-3
レイアウト・ページの再利用, メリットとデメリット, 2-5
レイアウト・ページのネーミング規則, 2-6